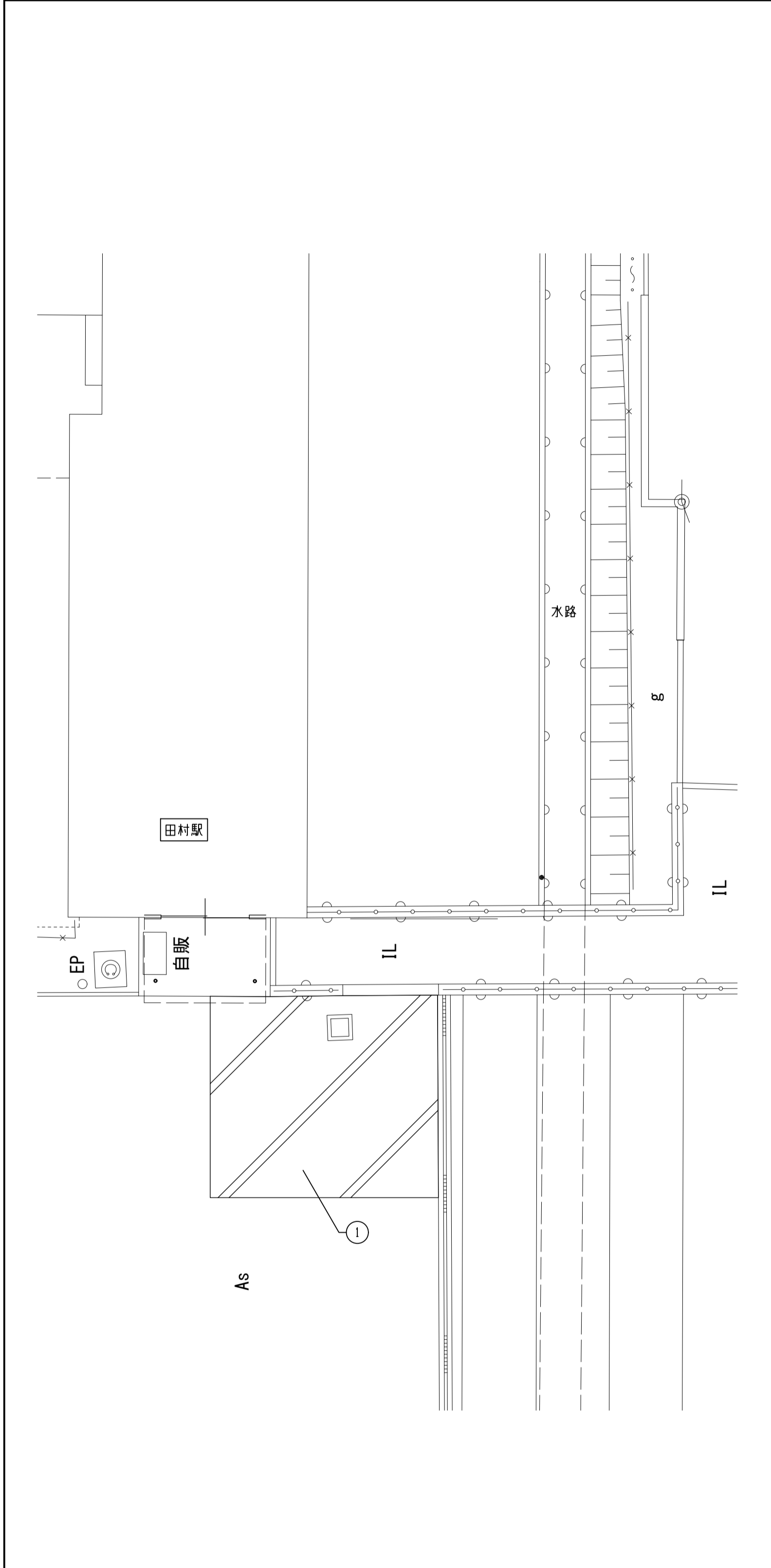
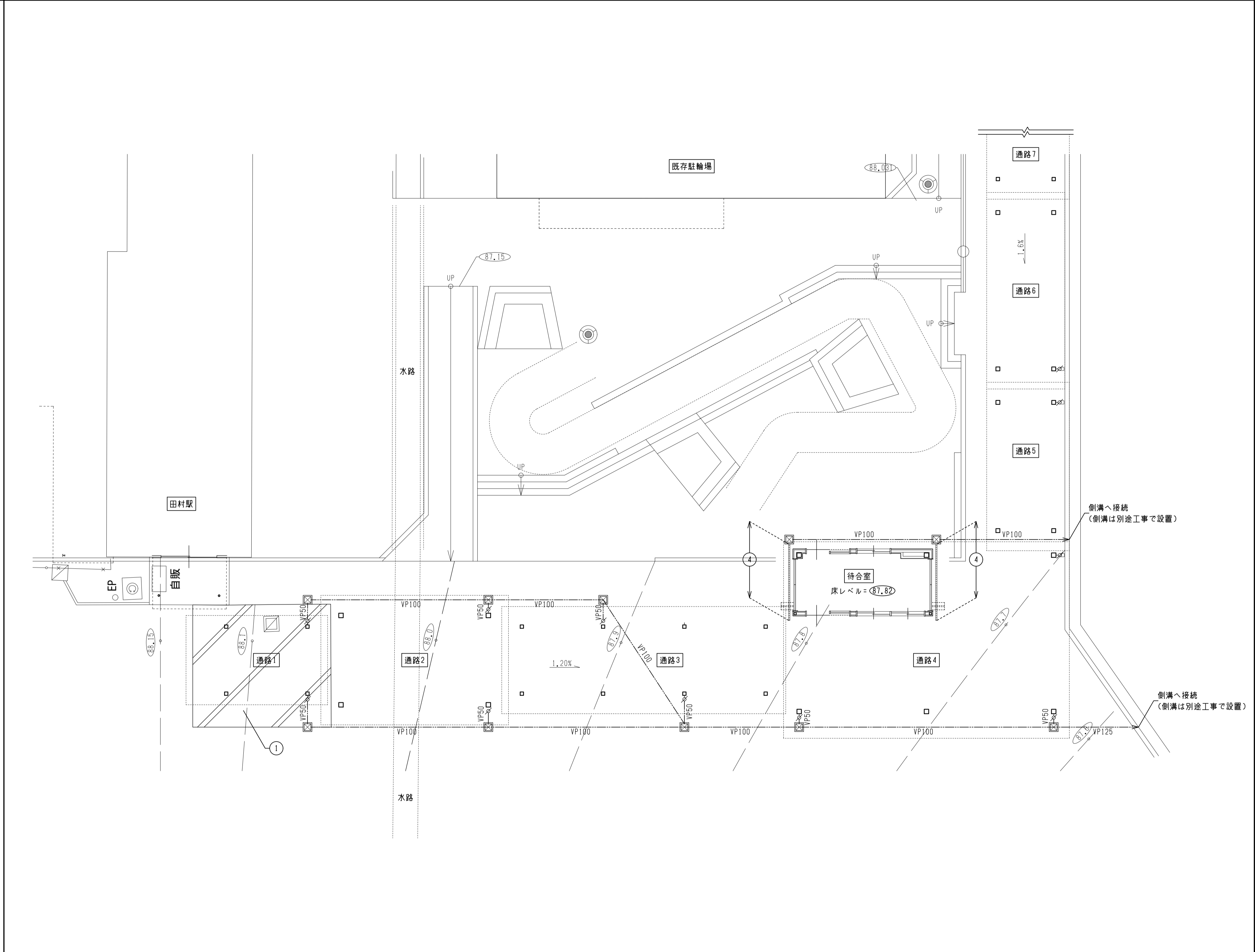


外構工事図-解体

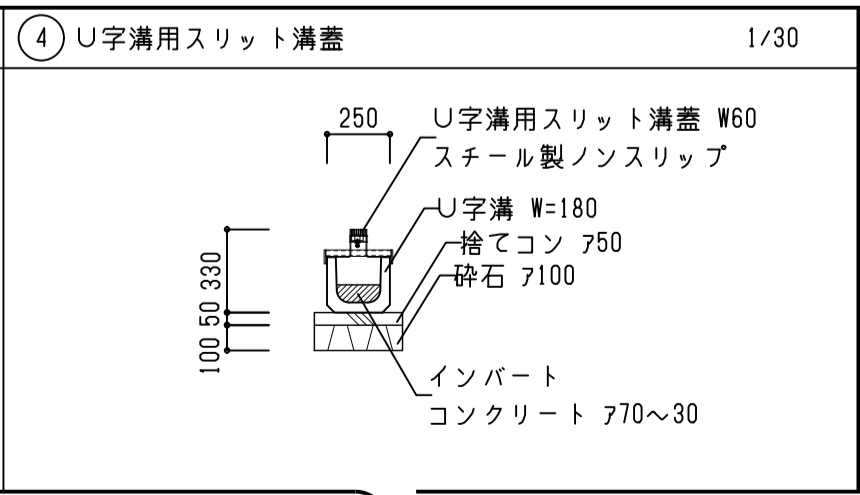
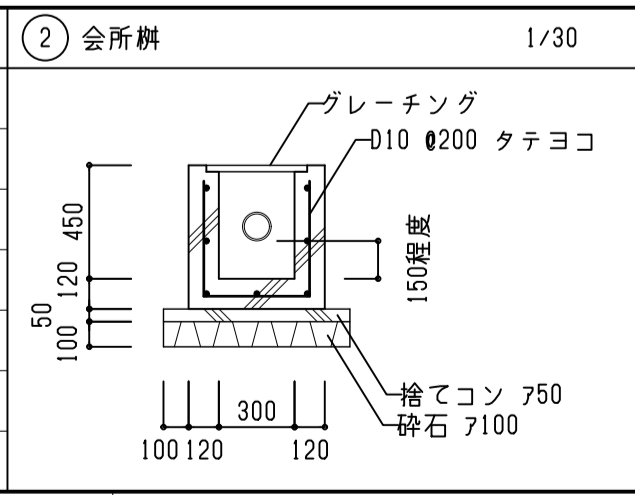


外構工事図-改修



解体工事リスト	
①	アスファルト舗装解体 周囲カッター切り共

改修工事リスト	
①	アスファルト舗装 密粒度アスファルト 750 プライムコート、砕石 7150
②	現場打コンクリート会所 300×300×H450
③	埋設排水管 VP 50、100、125
④	U字溝用スリット溝蓋 W60 スチール製ノンスリップ、U字溝 W180



特記事項	方位
<ul style="list-style-type: none"> ・ ④8.15 は仕上り地盤レベル (参考値) を示す。 ・ 舗装、外構工作物の設置高さ等は監督員、別途外構工事と協議の上、決定する事。 	

<p>株式会社 豊建築設計事務所</p> <p>滋賀県長浜市神門町696-5 TEL 0749 62 3151 FAX 0749 64 1438</p>	工事名称 田村駅東口シェルター新築工事 図面名称 外構工事図	SCALES A1: 1/100 A3: 1/200 APPR'D CHECK'D DRAWN 00-00-00 CHARGE SEAL DRAWING NO A 20 / 20
	1級建築士登録 第75764 村田武夫	
	22-018	

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) 2021年度版

1-1 基本事項

§1 一般事項

1. 使用材料、工法等は構造特記仕様による。
2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書1-2-4に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS5(2018)」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。
3. 本標準図は異形鉄筋を対象とし、 d は呼び名に用いた数値とする。
4. 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

1-2 その他

§2 共通事項

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	呼び径 d	最外径 D
D10	11	14
D13	14	18
D16	18	21
D19	21	25
D22	25	28
D25	28	33
D29	33	36
D32	36	40
D35	40	43
D38	43	46
D41	46	50

- ・フックのない場合
- ・フックのある場合
- ・本数に差がある場合
- ・機械式継手表示
- ・ガス圧接、溶接継手表示

2-2 鉄筋の折り曲げ

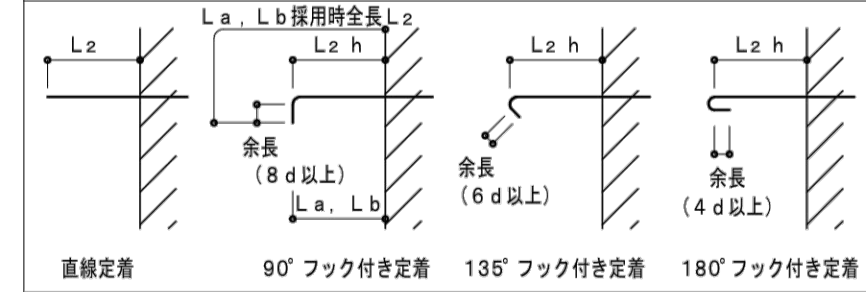
柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法直径 (D)
180°		柱・梁主筋	SD295	D16以下	3d以上
		基礎主筋	SD345	D19~D41	4d以上
135°		あばら筋	SD390	D41以下	5d以上
		スライバル筋	SD490	D25以下	5d以上
90°		スラブ筋	SD490	D29~D41	6d以上

2-3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ「JASS5(2018)」に準拠

鉄筋の種類	コンクリートの設計強度 f_{cd} (N/mm^2)	重ね継手の長さ			
		一般	小梁・床スラブ	定着の長さ	
SD295 SD345 ()はSD345を 表示。	18	45d (50d)	40d	1.5d	L _s = 20d L _s h = 10d
		35d	30d	(2.0d)	
		40d (45d)	35d		
		30d	25d		
		35d (40d)	30d (35d)		
		25d (30d)	20d (25d), 15 (20) d		
	21	35d	30d	1.5d	L _s = 10d L _s h = 10d
		30d	25d		
		40d (45d)	35d		
		30d	25d		
		35d (40d)	30d (35d)		
		20d (25d)	15d (20d), 15d		
SD390 SD490 (-)は適用外	21	50d (+)	40d (+)	2.0d	SD490 は適用外
		35d (+)	30d (+), 20d (+)	(-)	
		45d (55d)	40d (45d)		
		35d (45d)	30d (35d), 20 (25) d		
		40d (50d)	35d (40d)		
		30d (35d)	25d (30d), 20 (25) d		
30~36	21	40d (50d)	35d (40d)	1.5d	(-)
		30d (35d)	25d (30d), 15 (20) d		
		40d (45d)	35d (40d)		
		35d (40d)	30d (35d)		
		35d (40d)	30d (35d)		
		25d (30d)	20d (25d), 15 (20) d		
39~45	21	50d (+)	40d (+)	2.0d	SD490 は適用外
		35d (+)	30d (+), 20d (+)	(-)	
		45d (55d)	40d (45d)		
		35d (45d)	30d (35d), 20 (25) d		
		40d (50d)	35d (40d)		
		30d (35d)	25d (30d), 20 (25) d		
48~60	21	50d (+)	40d (+)	2.0d	SD490 は適用外
		35d (+)	30d (+), 20d (+)	(-)	
		45d (55d)	40d (45d)		
		35d (45d)	30d (35d), 20 (25) d		
		40d (50d)	35d (40d)		
		30d (35d)	25d (30d), 20 (25) d		

一般定着の直線 L_2 またはフック付きの L_2 h , L_a , L_b の図

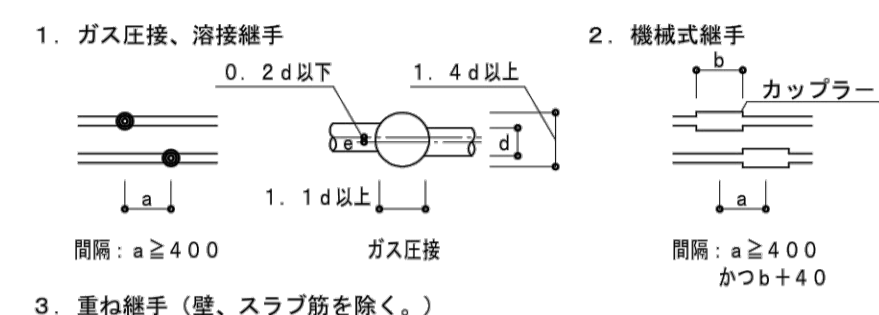


1. 重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離、又、フック付きの L_2 は仕口面から鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。
2. 軽量コンクリートを使用する場合は、上記の数値に5dを加算する。

2-4 継手一般

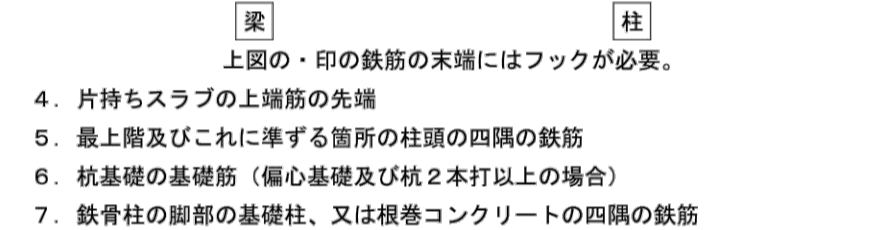
3. 構造特記仕様書2-2で政令第73条とした場合、主筋又は耐力壁の鉄筋の重ね継手長さは左下表しかつ40d (軽量コンクリートを使用する場合は50d)とする。
4. 構造特記仕様書2-2でJASS5(2018)、RC規程2018とした場合、主筋又は、耐力壁の鉄筋の重ね継手長さは設計図によるが、参考値として左下表JASS5(2018)に L_1 , L_2 を示す。

ガス圧接継手、溶接継手、機械式継手に関する事項は、標準仕様書および施工要領ならびに鉄筋継手工事特記仕様書(2019年版)共に公益社団法人日本鉄筋継手協会編に準拠。



2-5 鉄筋のフック

1. 下記の1.~7. に示す鉄筋の末端にはフックをつける。
1. あばら筋及び帯筋
2. 煙突の鉄筋
3. 柱及び梁 (基礎を除く) の出隅部分の鉄筋 (下図参照)



2-6 鉄筋のあき

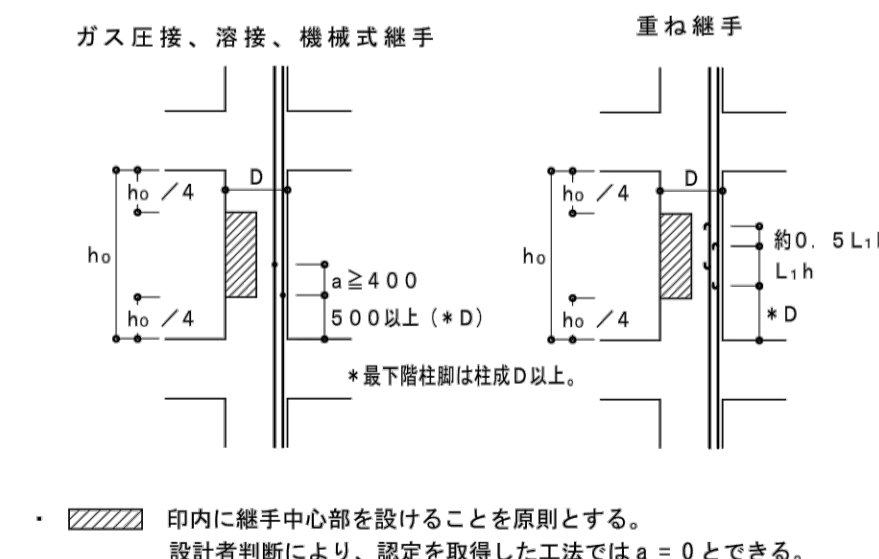
- ・鉄筋のあき a は原則として下記による。
- 呼び名の数値 d の1.5倍以上
- 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上
- かつ25以上
- かつ $D/4$ 以上
- かつ $L_2/4$ 以上
- かつ $L_2/6$ 以上
- かつ $L_2/8$ 以上
- かつ $L_2/10$ 以上
- かつ $L_2/12$ 以上
- かつ $L_2/15$ 以上
- かつ $L_2/20$ 以上
- かつ $L_2/25$ 以上
- かつ $L_2/30$ 以上
- かつ $L_2/40$ 以上
- かつ $L_2/50$ 以上
- かつ $L_2/60$ 以上
- かつ $L_2/75$ 以上
- かつ $L_2/100$ 以上

2-7 かぶり厚さ

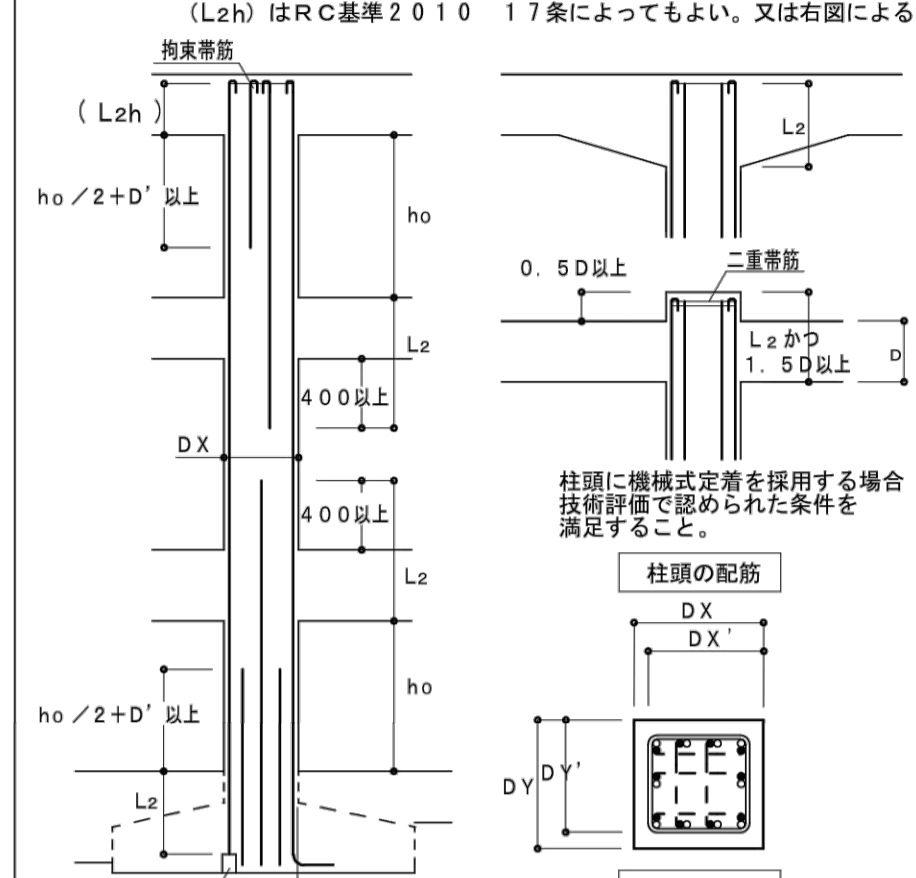
部位	かぶり厚さ	
	仕上りあり	仕上りなし
土に接しない部分	屋根スラブ	30 (20)
	床スラブ	30 (20)
	非耐力壁	30 (20)
	耐力壁	40 (30)
土に接する部分	柱	40 (30)
	梁	40 (30)
	基礎	50 (40)
	壁	50 (40)

1. () 内の数値は最小かぶり厚さを示す。
2. 仕上りありとは、鉄筋の耐久性上有効な仕上りのある場合とする。
3. *1 品質・施工法に応じ、工事監理者の承認で10割の値とすることができる。
4. *2 軽量コンクリートの場合は、これに1.0加算する。
5. 柱・梁の主筋のかぶり厚さは主筋径の1.5倍以上とする。

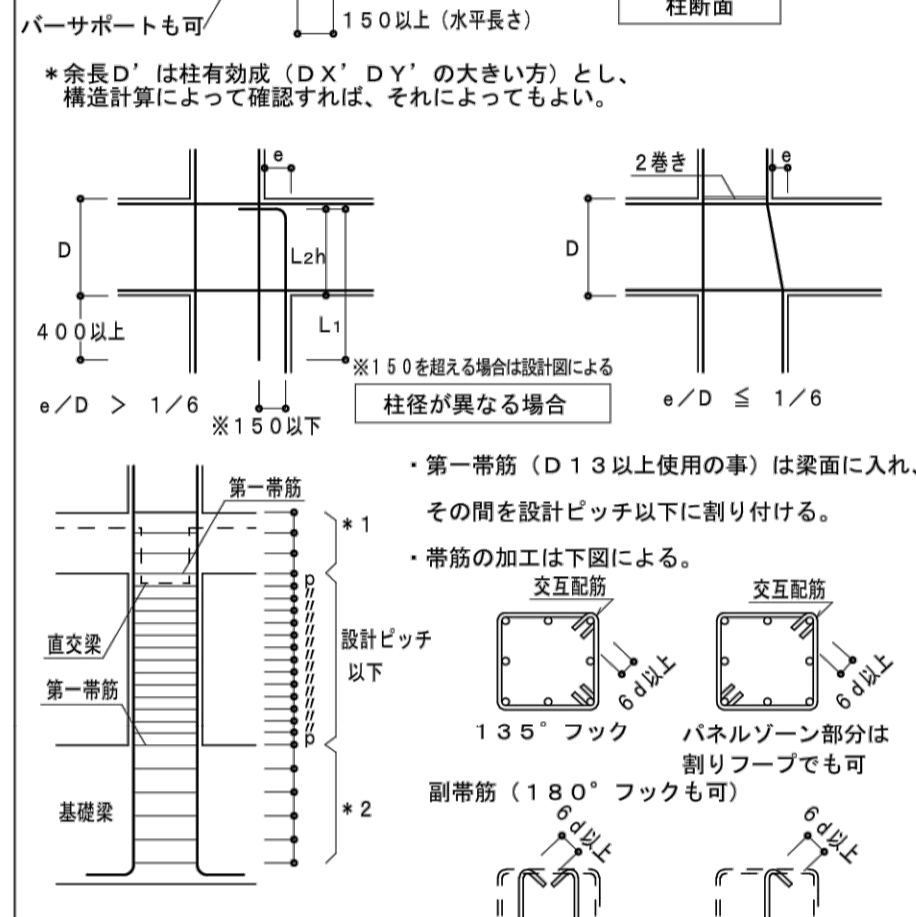
§3 柱



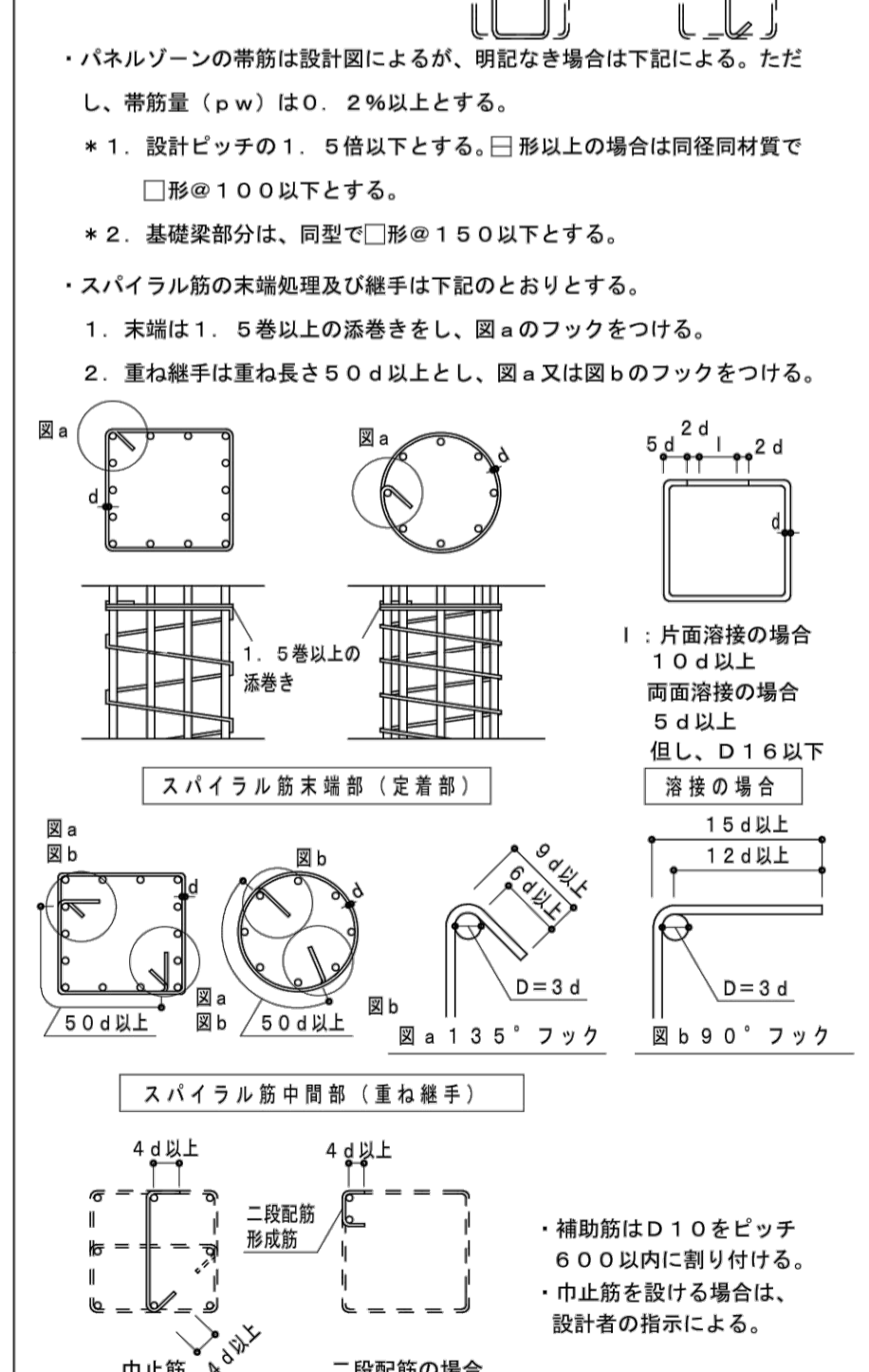
3-2 主筋の定着



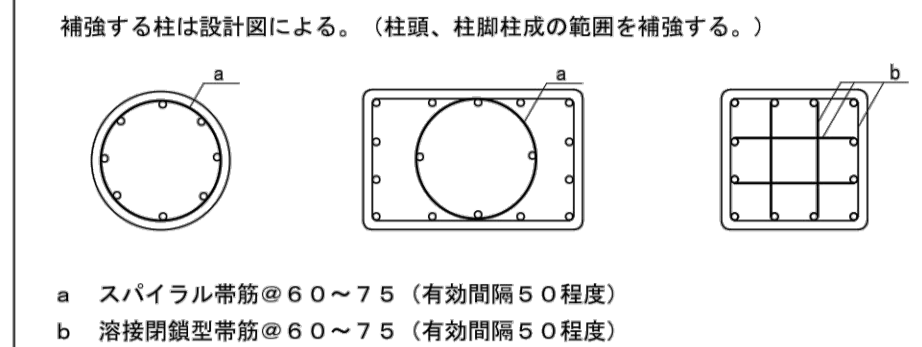
3-3 帯副帯筋



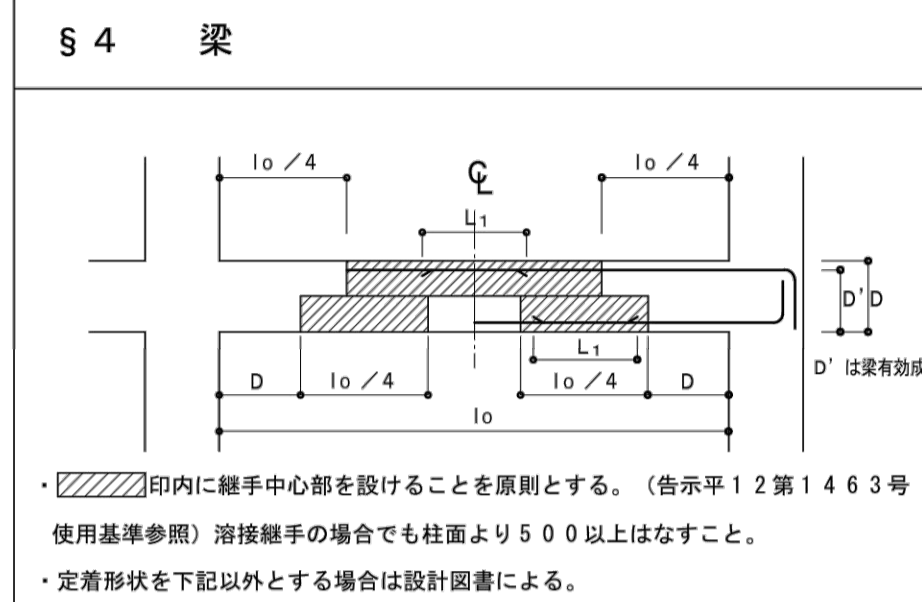
3-4 補助筋



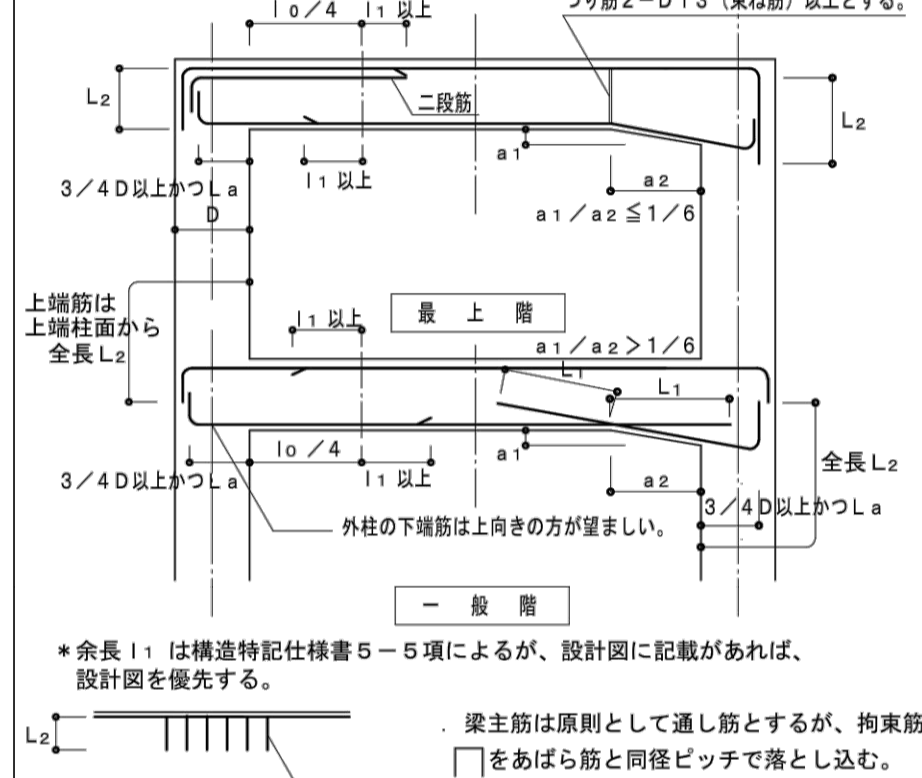
3-5 柱のコンファインド補強



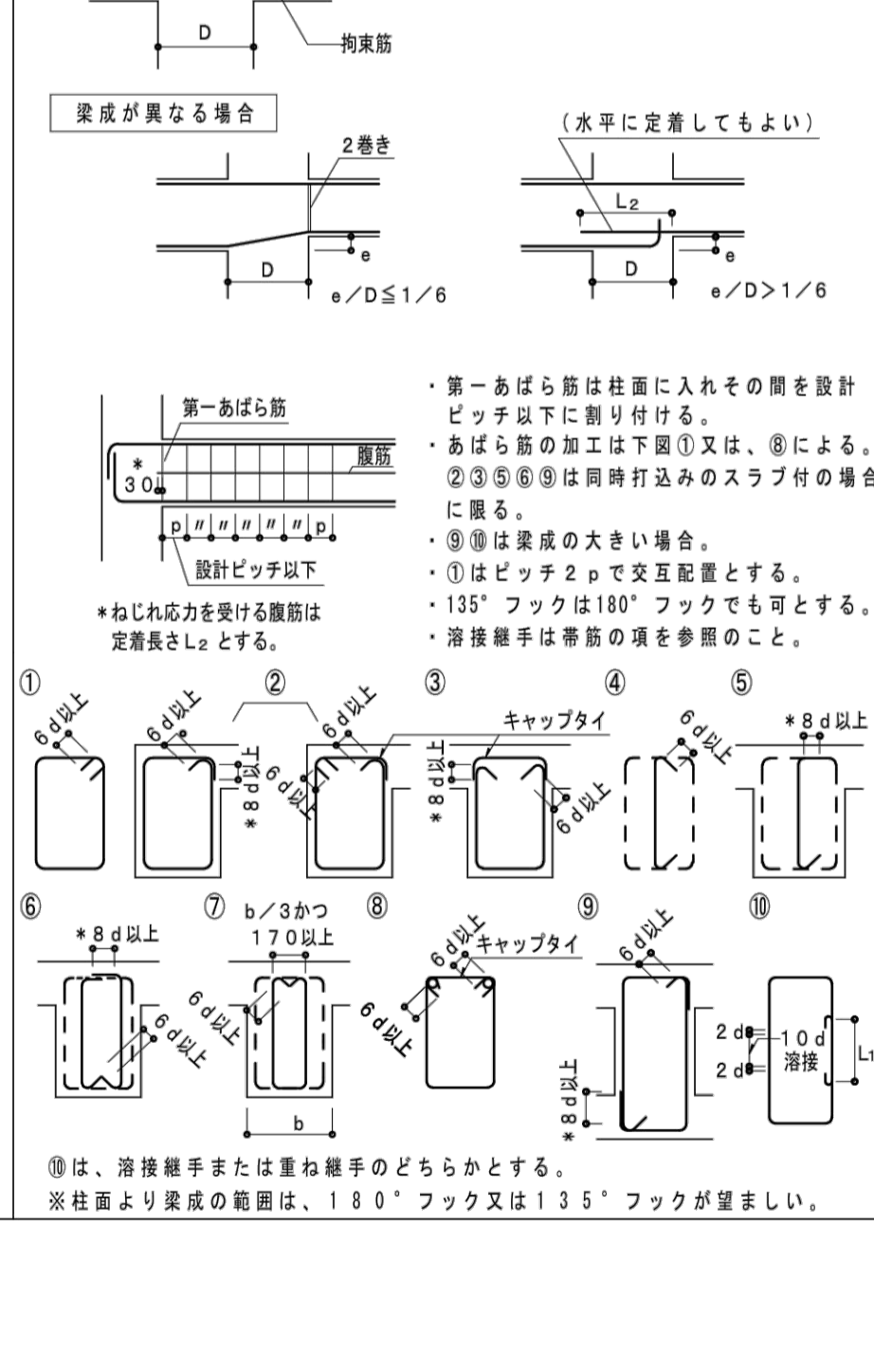
4-1 主筋の継手



4-2 主筋の定着及び余長



4-3 あばら筋副あばら筋



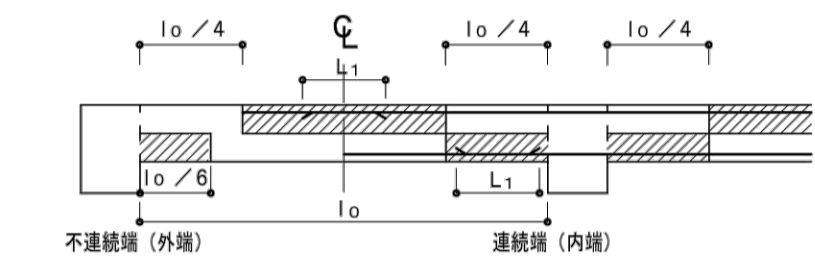
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2) 2021年度版

4-4 補助筋

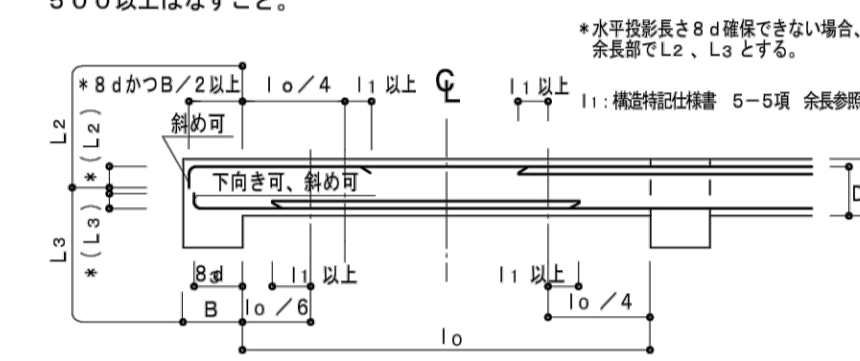


4-5 小梁及び片持梁

a) 小梁継手



定着

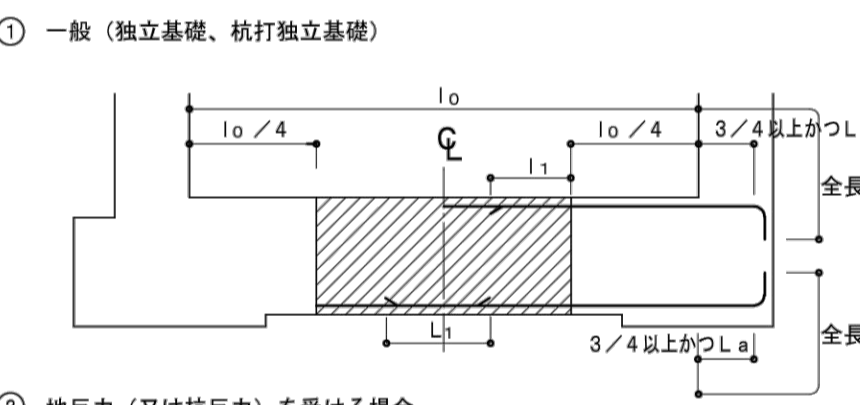


b) 片持梁定着

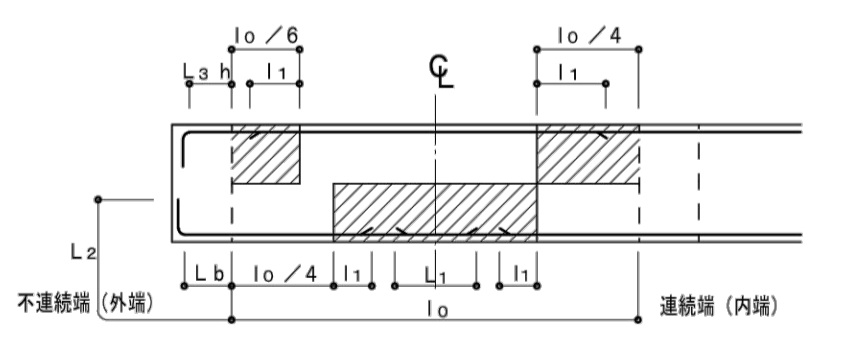
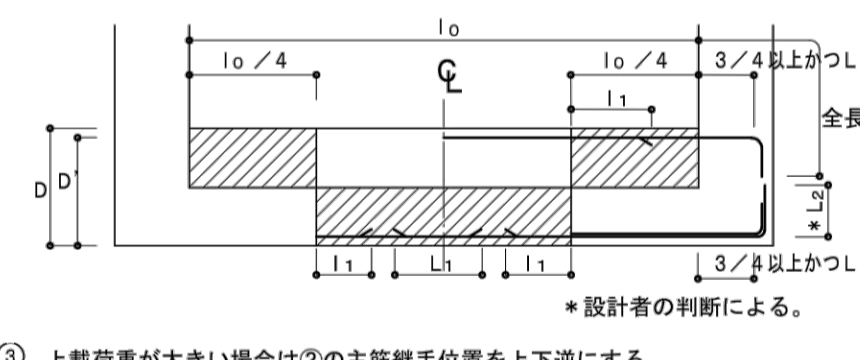


4-6 基礎梁及び基礎小梁

a) 基礎梁の継手及び定着

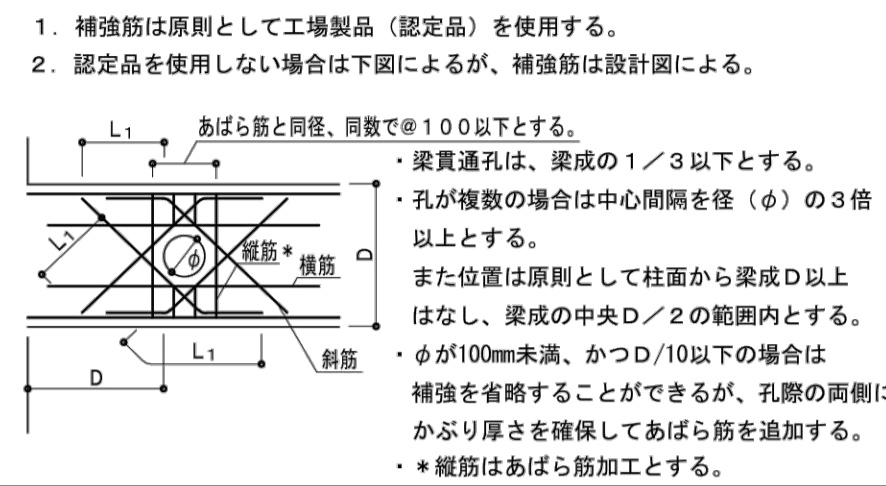


b) 基礎小梁の継手及び定着

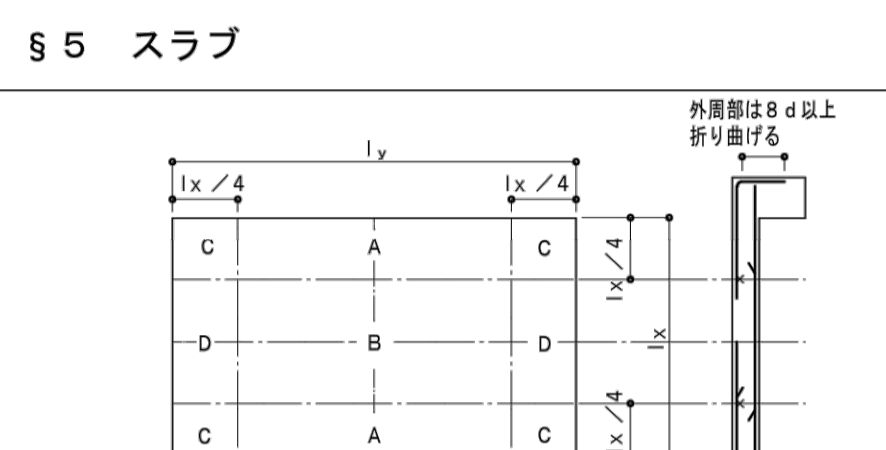


印内に継手中心部を設けることを原則とする。ただし溶接継手の場合は柱面(基礎小梁の場合は梁面)より500以上はなすこと。Lbとれない場合4-5a定着によつてよい。

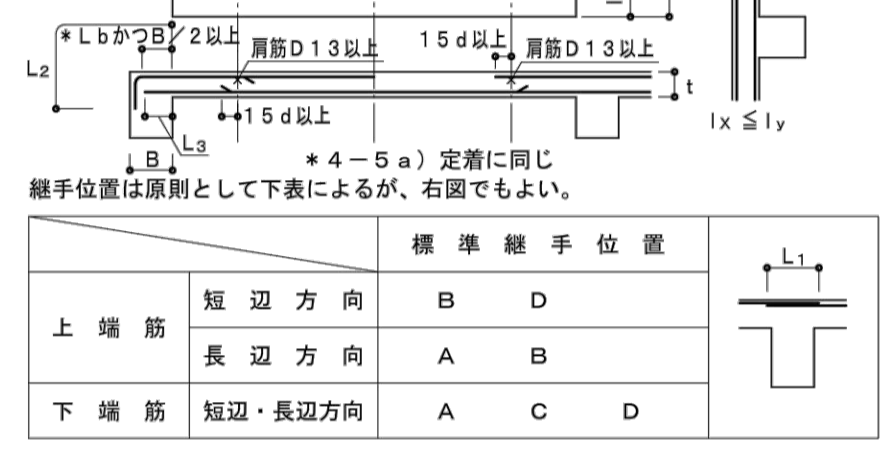
4-7 梁の貫通補強



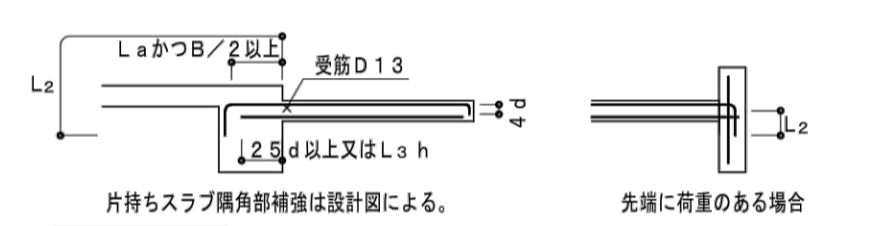
5-1 鉄筋の折り曲げ及び定着



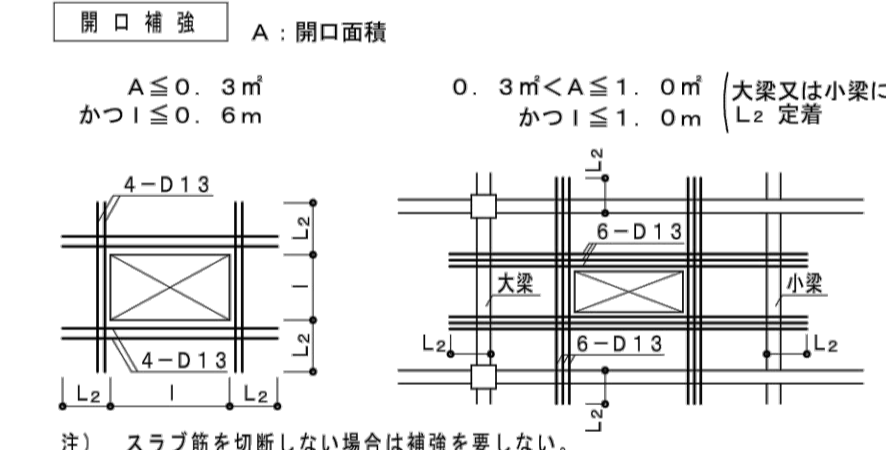
5-2 継手



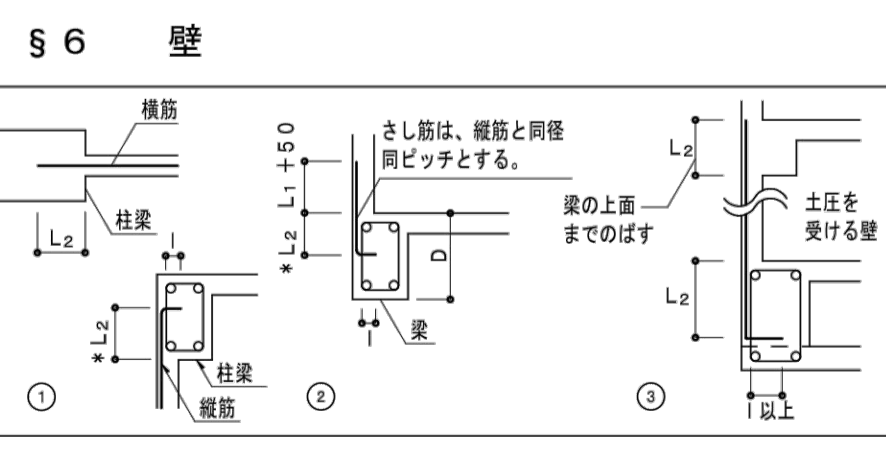
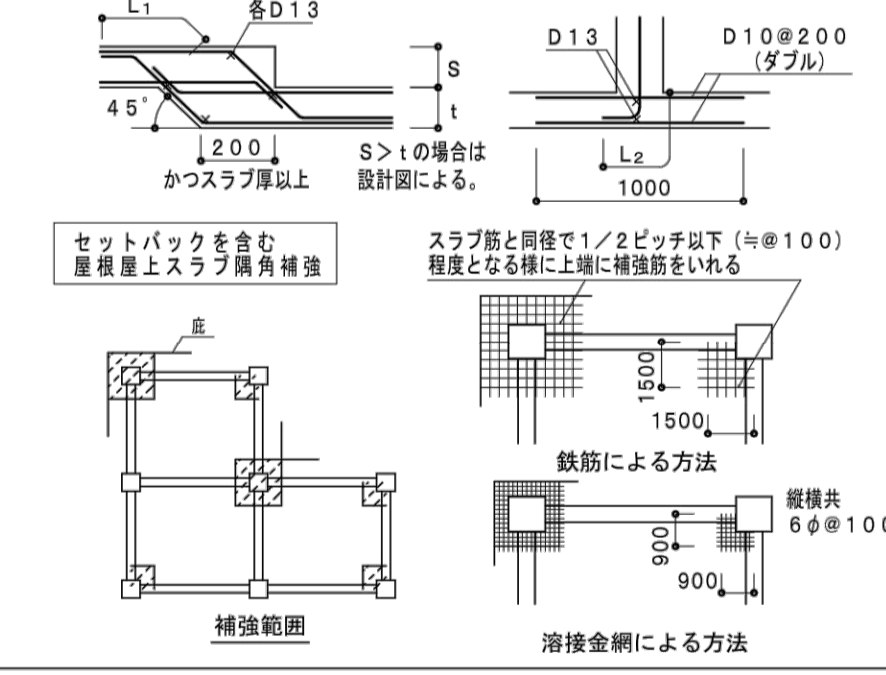
5-3 片持ちスラブ



5-4 補強筋

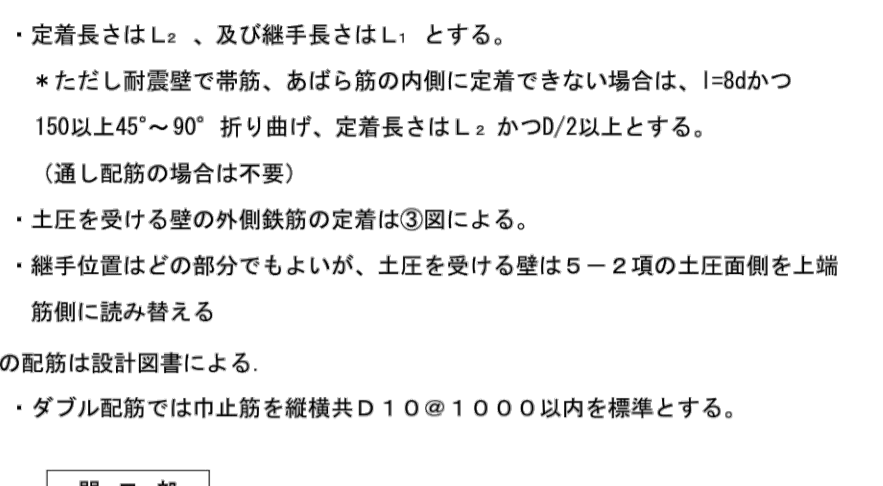


6-1 定着及び継手



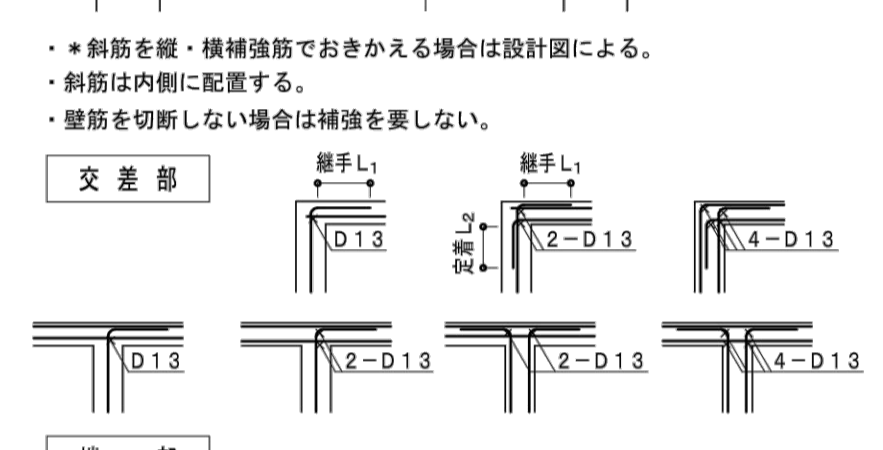
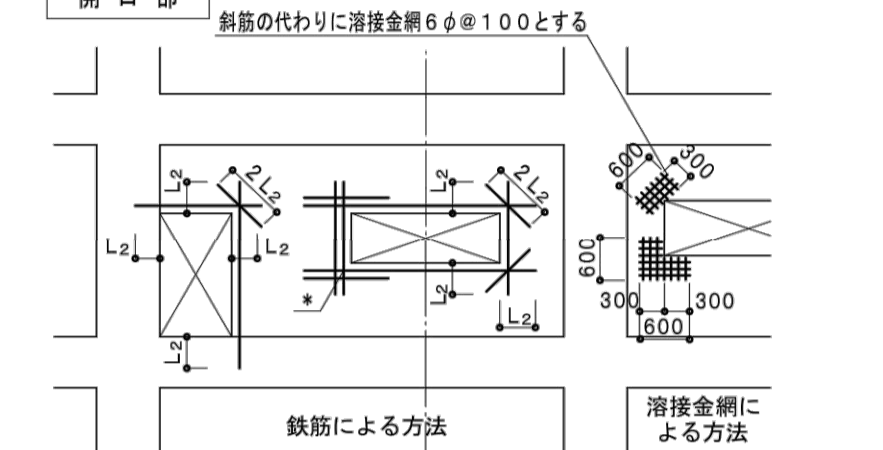
6-2 壁配筋

6-3 補強筋

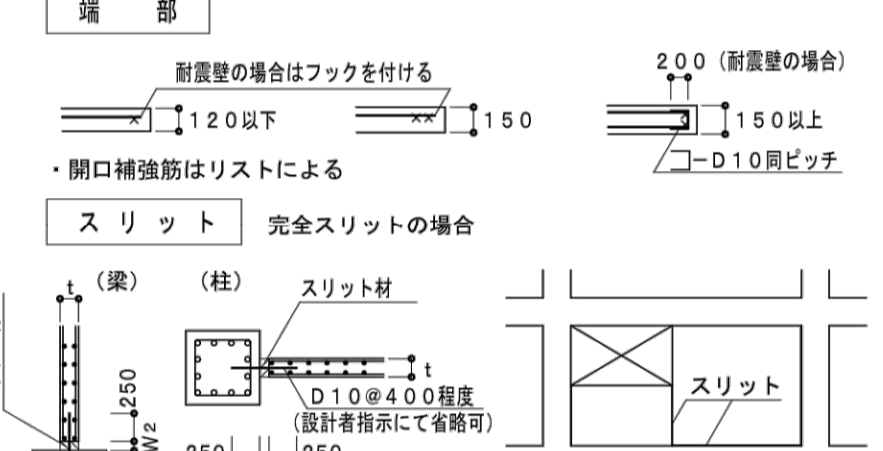


7-1 独立基礎

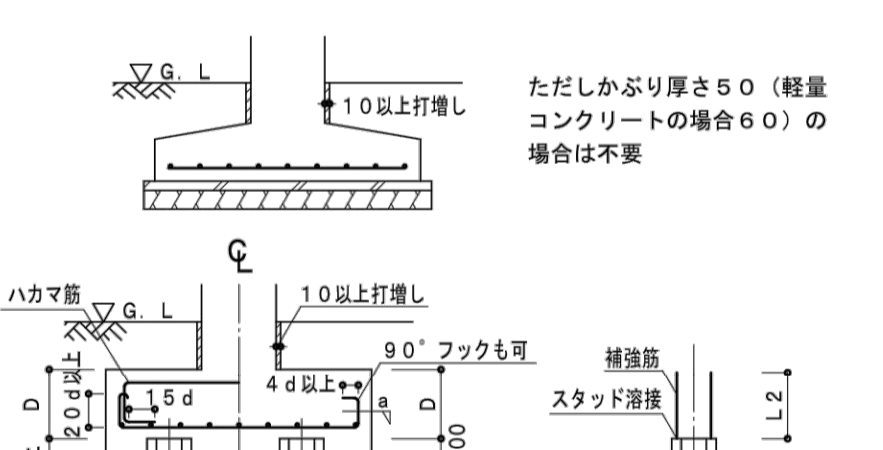
7-2 杭基礎



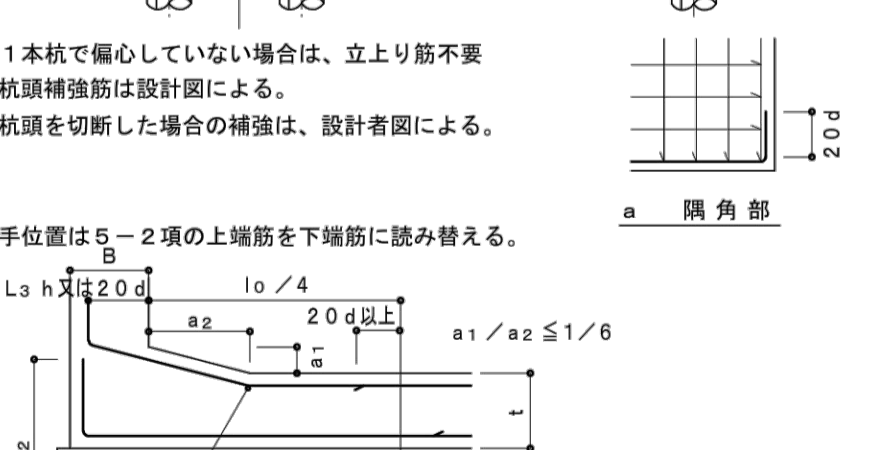
7-3 べた基礎継手及び定着



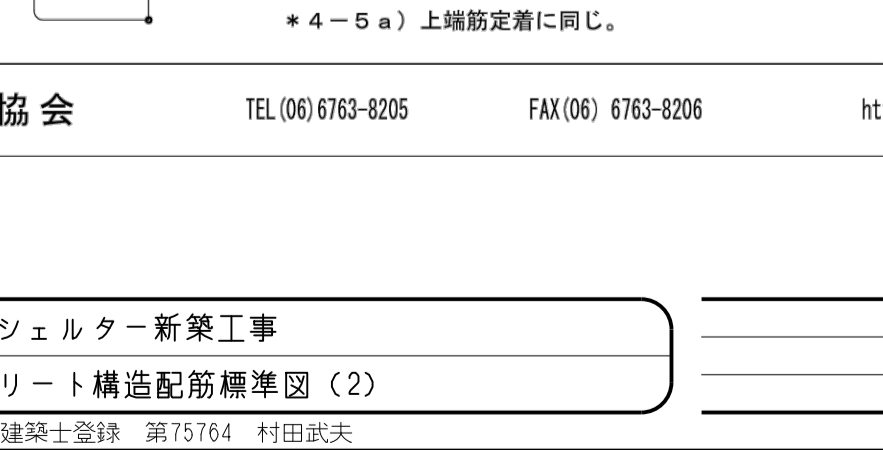
7-4 基礎と基礎梁



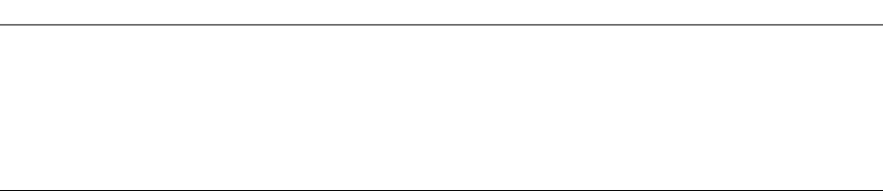
8-1 階



8-2 土間コンクリート



8-3 打増し補強

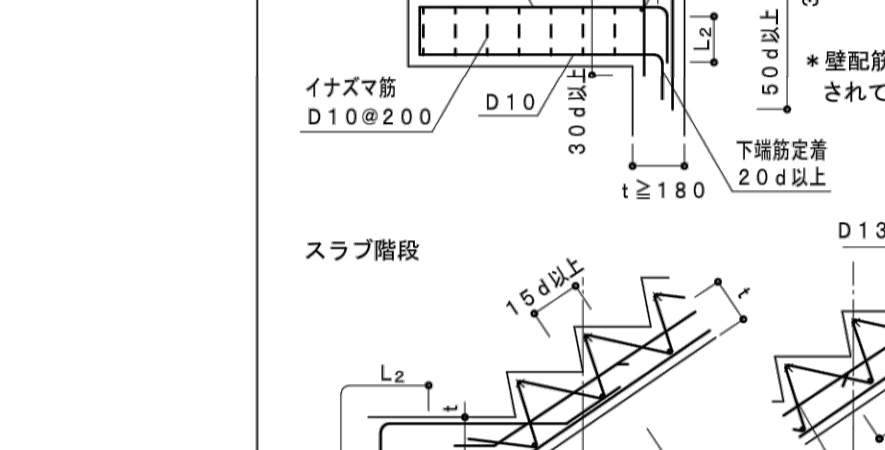


8-4 増築予定

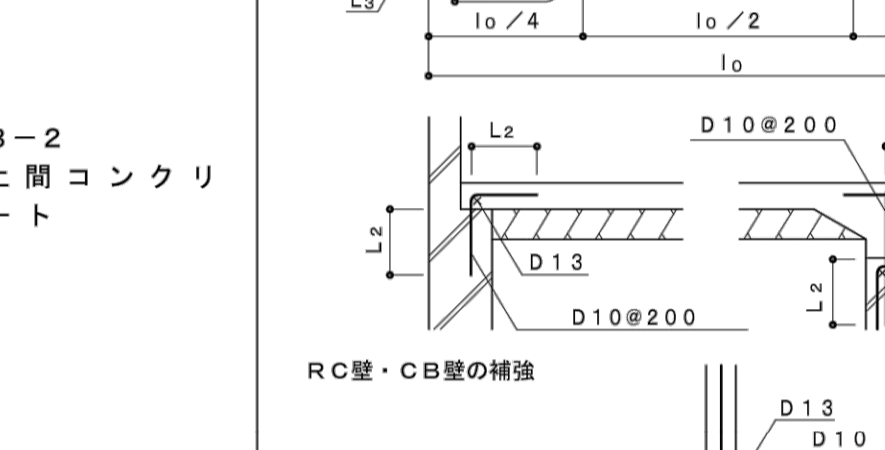
8-1 階



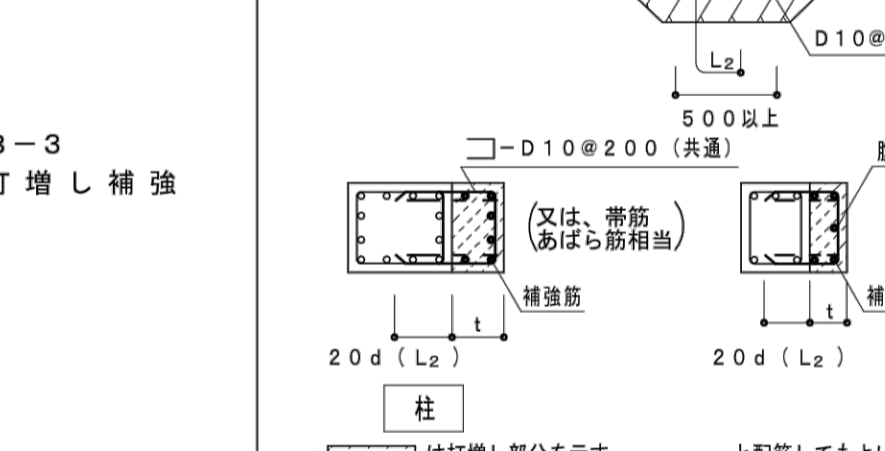
8-2 土間コンクリート



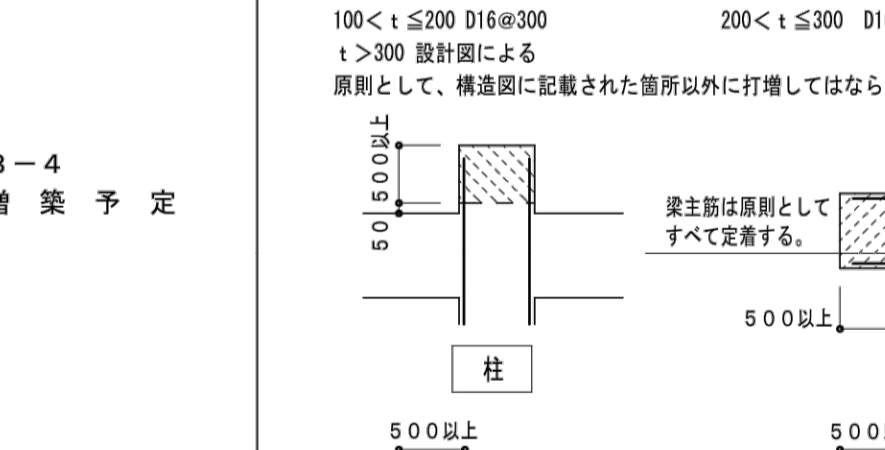
8-3 打増し補強



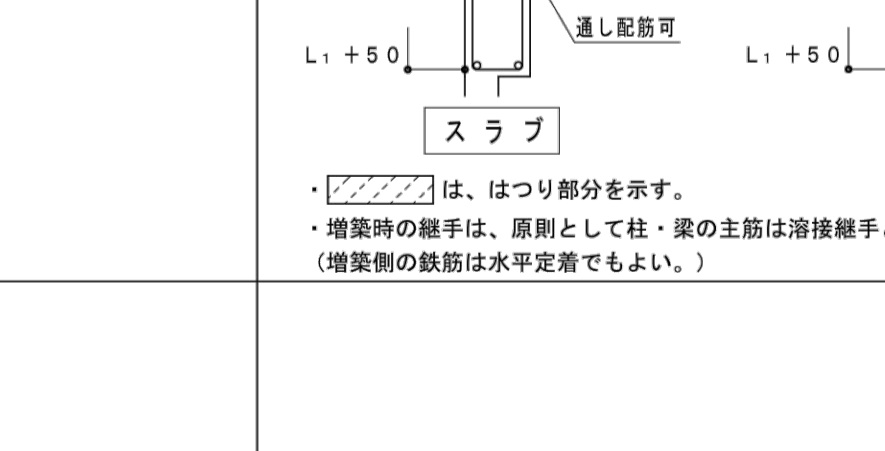
8-4 増築予定



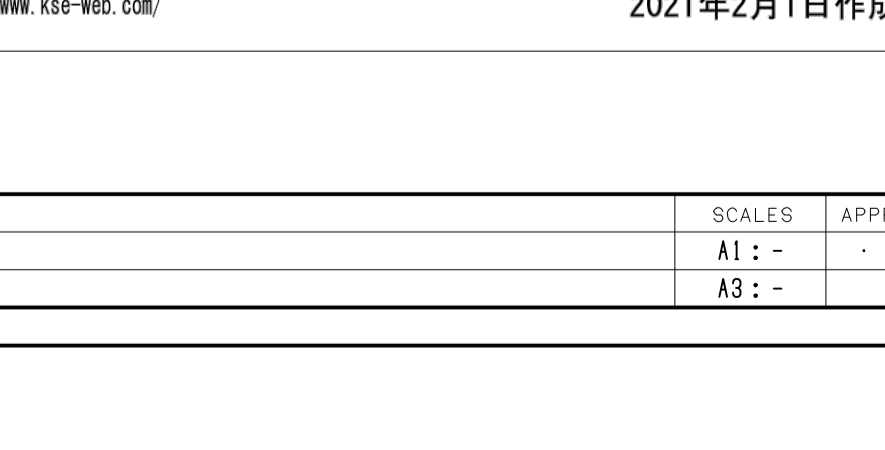
RC壁・CB壁の補強



柱



梁

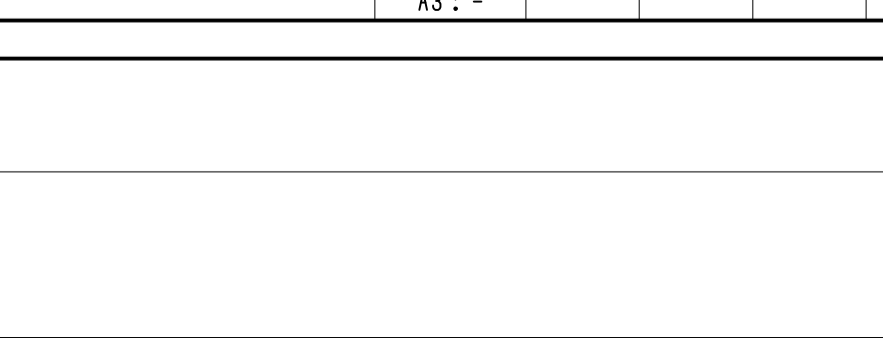
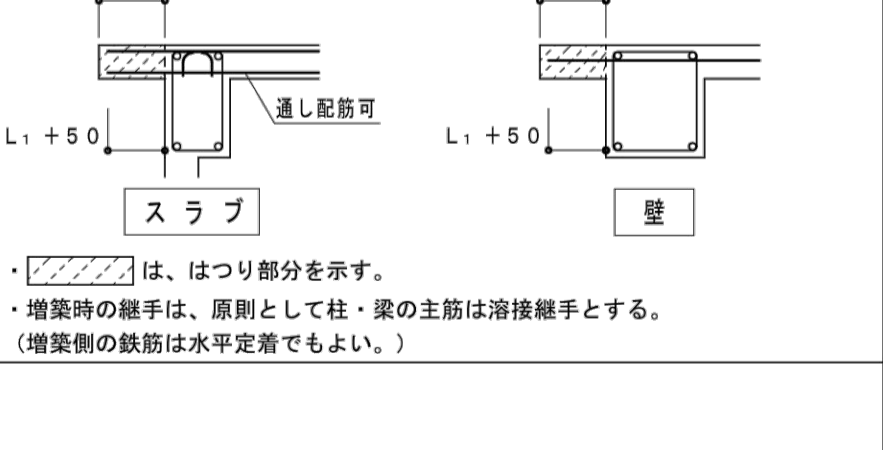
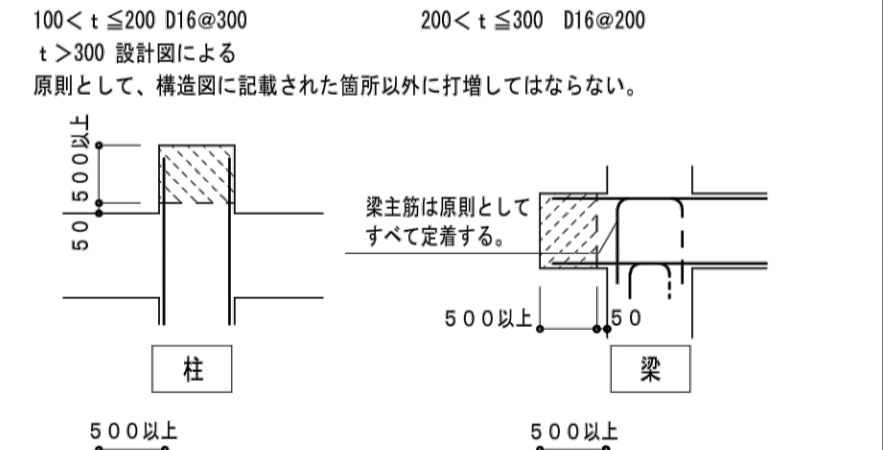
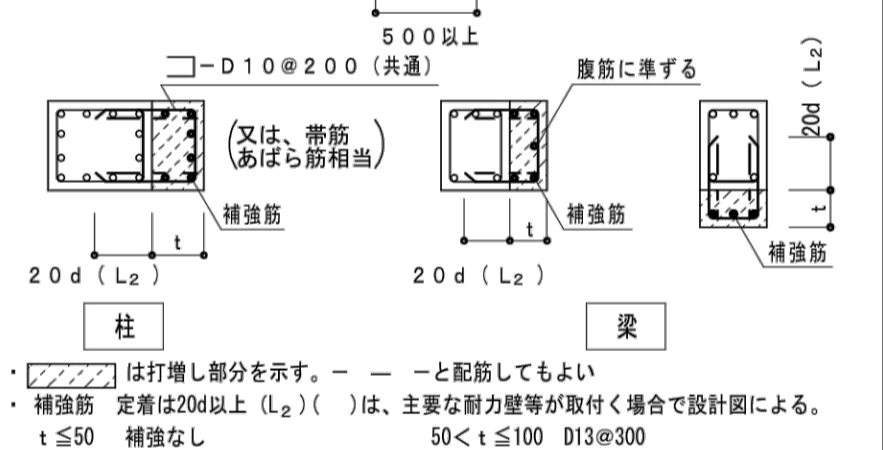
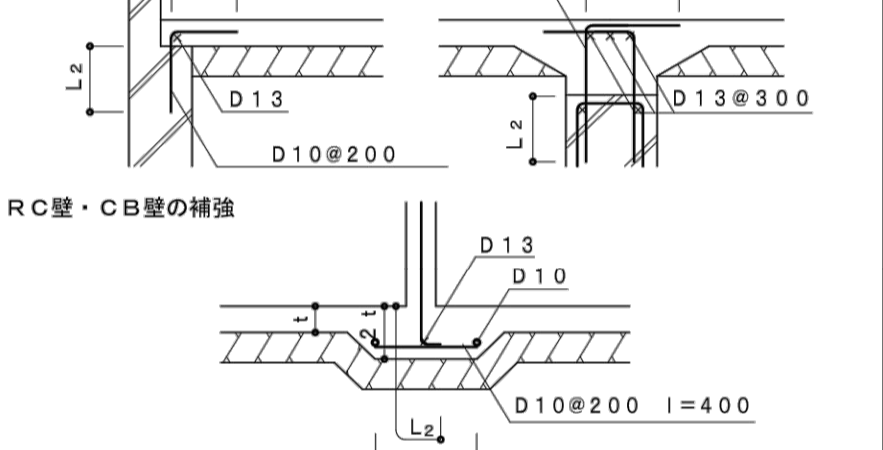
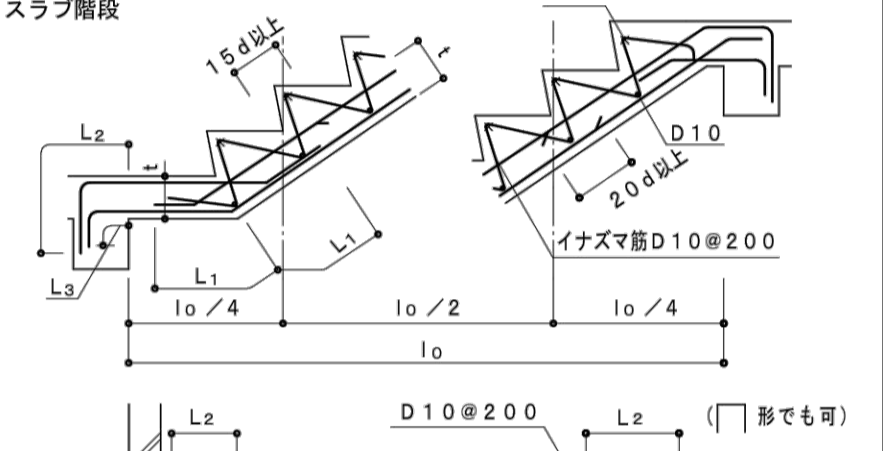
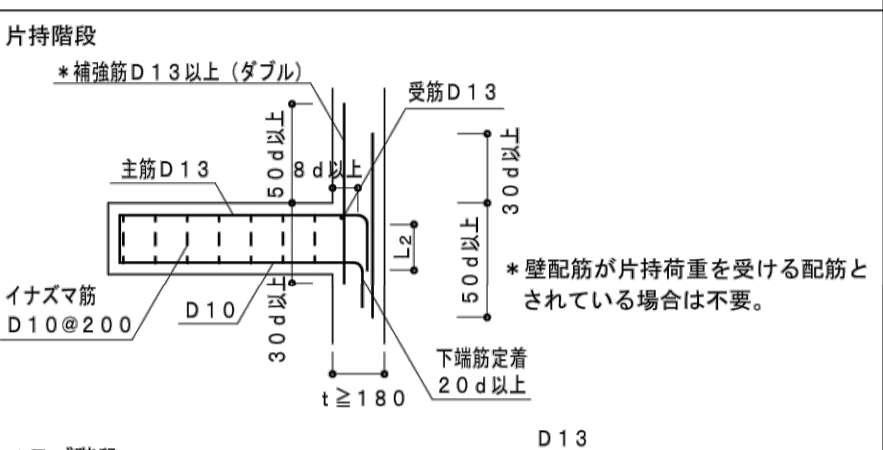


スラブ



壁

§8 その他



は打増し部分を示す。---と配筋してもよい。
補強筋 定着は20d以上(L2)()は、主要な耐力壁等が取付場合で設計図による。
t ≤ 50 補強なし 50 < t ≤ 100 D13@300
100 < t ≤ 200 D16@300 200 < t ≤ 300 D16@200
t > 300 設計図による
原則として、構造図に記載された箇所以外に打増しは行わない。

鉄骨工作標準図(1) 2021年度版

§1 一般事項

1) 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
 2) 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
 また本標準図に明記なき場合は、構造特記仕様書 1-2-4、5 に指定した共通仕様書および標準仕様書による。
 3) 製作精度等に関しては、JASS6 の付則 6 「鉄骨精度検査基準」による。
 4) 本標準図に示す単位は特記なき限りすべて mm とする。

§2 共通事項

・ AB	アンカーボルト	・ BH	組立てH形鋼
・ BPL	ベースプレート	・ CHPL	チェッカープレート
・ DFPL	ダイヤフラム	・ FB	フラットバー
・ FPL	フランジプレート	・ GPL	ガセットプレート
・ HTB	高力ボルト	・ RPL	ガセットプレート
・ SPL	スプライスプレート	・ TB	ターンバックル
・ WPL	ウェブプレート	・ W ₁₀₀	溶接記号 (§4 参照)

§3 ボルト接合

ボルトの長さ

ボルトの呼び径	締付け長さに加える長さ	
	F8T, F10T	S10T
M16	30	25
M20	35	30
M22	40	35
M24	45	40

- 特記以外はすべて S10T (トルシア形高力ボルト、上図) 又は、F10T とする。
- 本図に使用するボルトと、仮締めボルトの取用はしてはならない。
- ボルトの接合面の処理は、締め付け摩擦面を平グライダー掛け等を行い、黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ショットブラスト等を行った場合はこの限りでない。
締付けは1次締付け後、マーキングを入れてから本締めをする。
- 差船メッキボルトの場合は、すべて F8T とする。

呼び径	M16				M20				M22				M24			
	標準		P		標準		P		標準		P		標準		P	
はしあき	6.0		6.0		6.0		7.0		6.0		6.0		6.0		6.0	
最小線径距離	2.8		3.4		3.8		4.4		2.8		2.6		2.8		3.2	

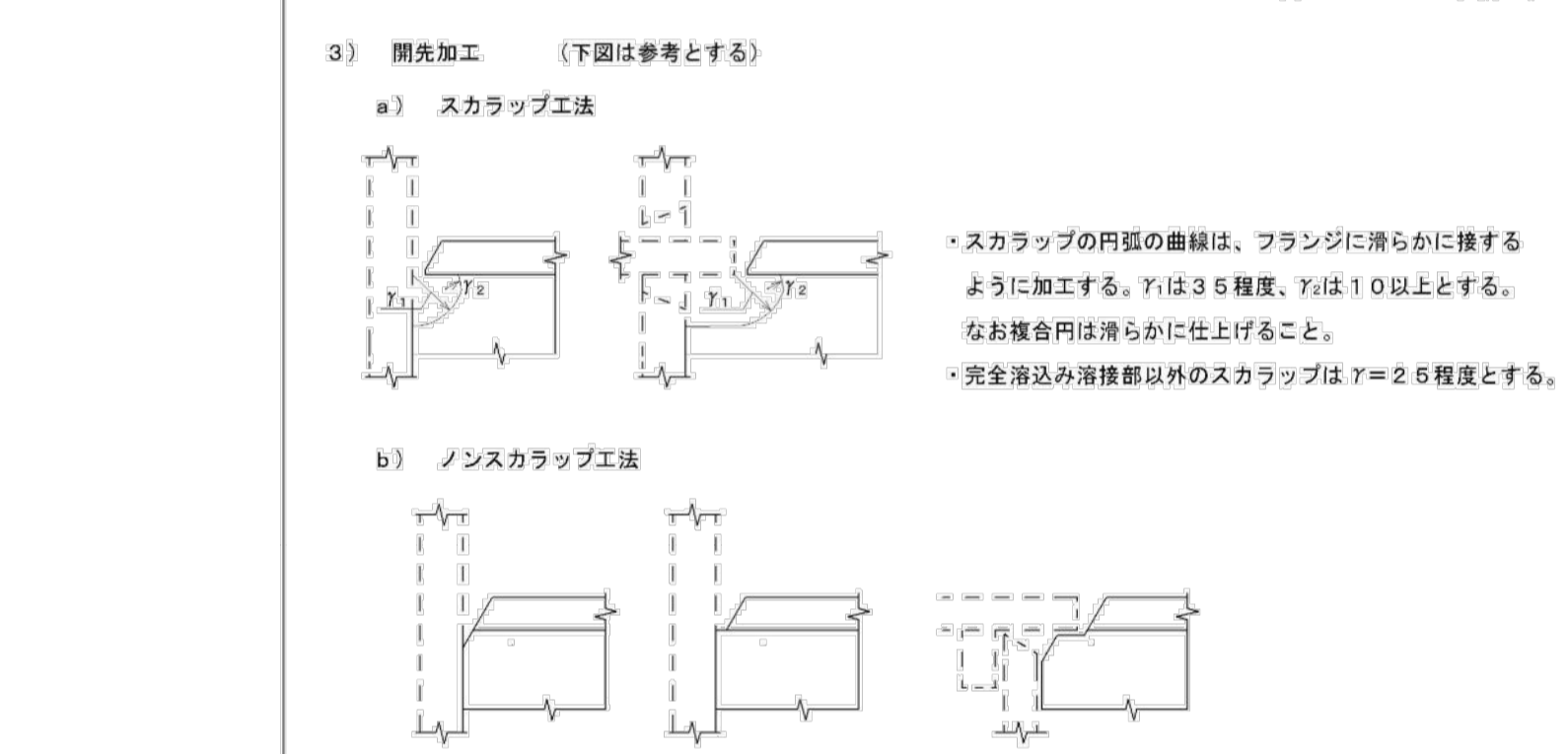
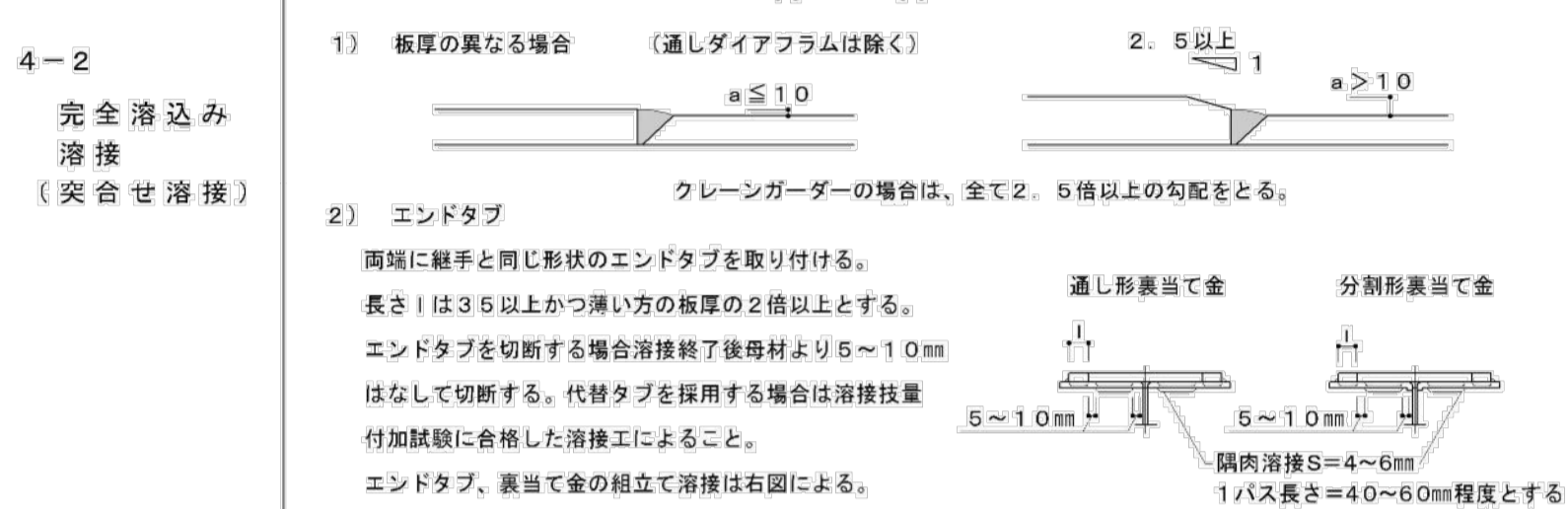
() 内はボルトが応力方向に3本以上並ばない場合を示す。

呼び径	千鳥打ちのピッチ b	
	M16, 20, 22	M24
35	50	65
40	45	60
55	25	45

形鋼のゲージ

A or B	g ¹	g ²	最大軸径	B	g ¹	g ²	最大軸径	B	g ¹	g ²	最大軸径
50	30	16	100	60	16	50	30	16	50	30	16
60	35	16	125	75	16	65	35	20	65	35	20
70	40	20	150	90	22	70	40	20	70	40	20
80	45	22	175	105	22	75	40	22	75	40	22
90	50	24	200	120	24	80	45	22	80	45	22
100	55	24	250	150	24	90	50	24	90	50	24
125	60	35	300	180	24	100	55	24	100	55	24
150	65	40	350	210	24	110	60	24	110	60	24
175	70	45	400	240	24	120	65	24	120	65	24
200	75	50	450	270	24	130	70	24	130	70	24

* B=300 は千鳥打ちとする。
 * *印の線の g¹ 及び最大軸径の値は強度上支障がないとき
 最小線径距離の規定にかかわらず用いることができる。

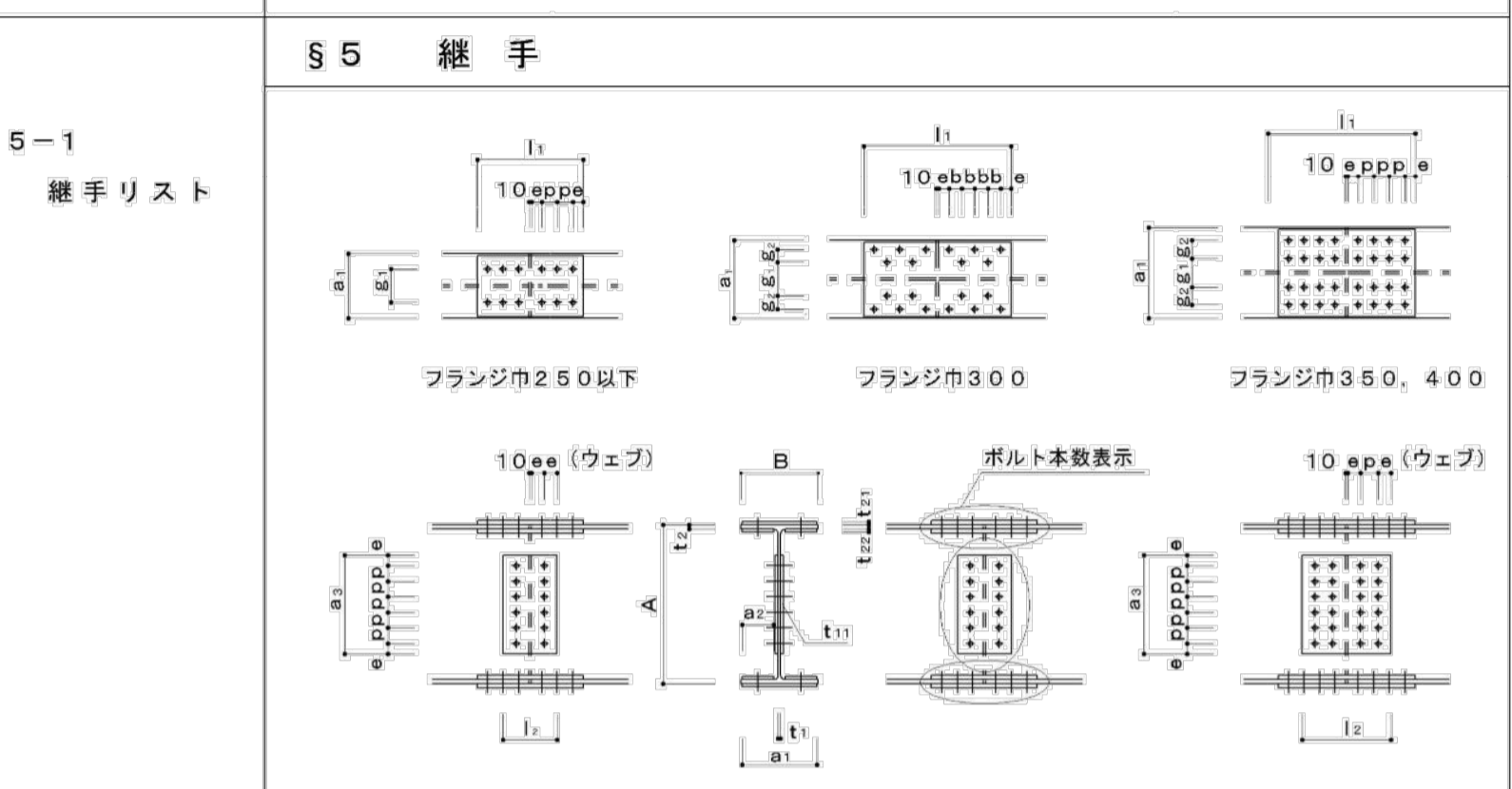
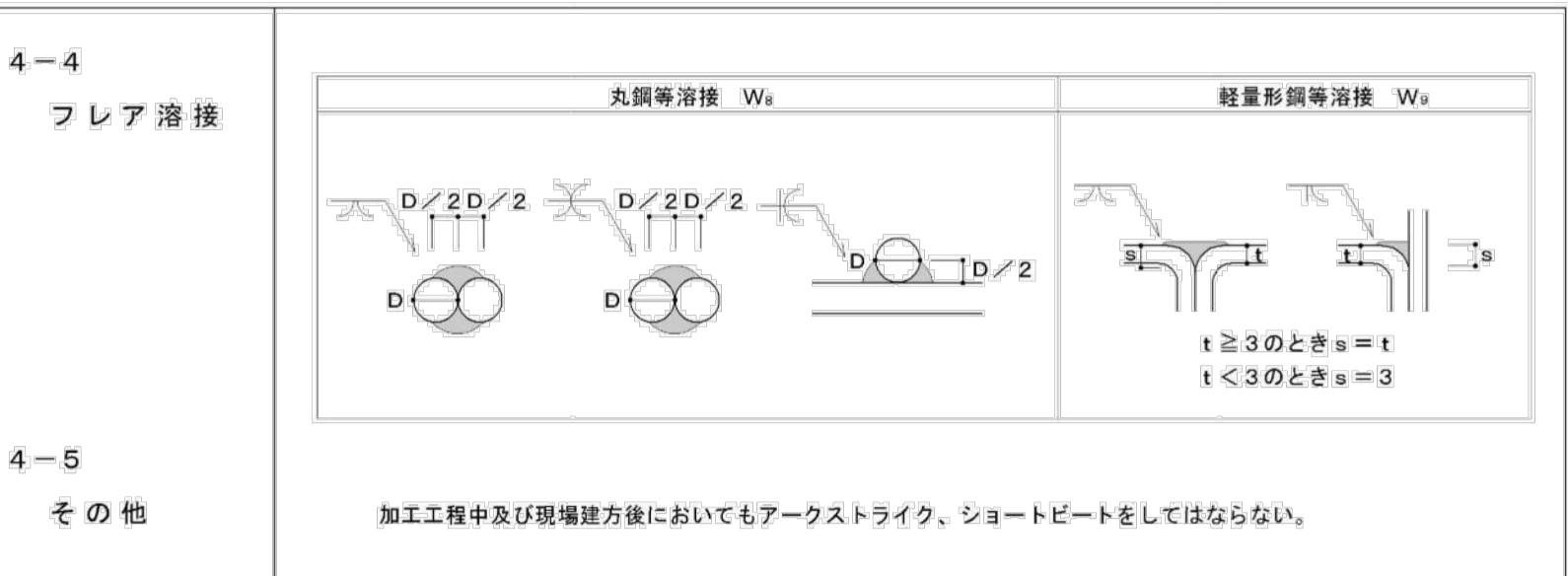
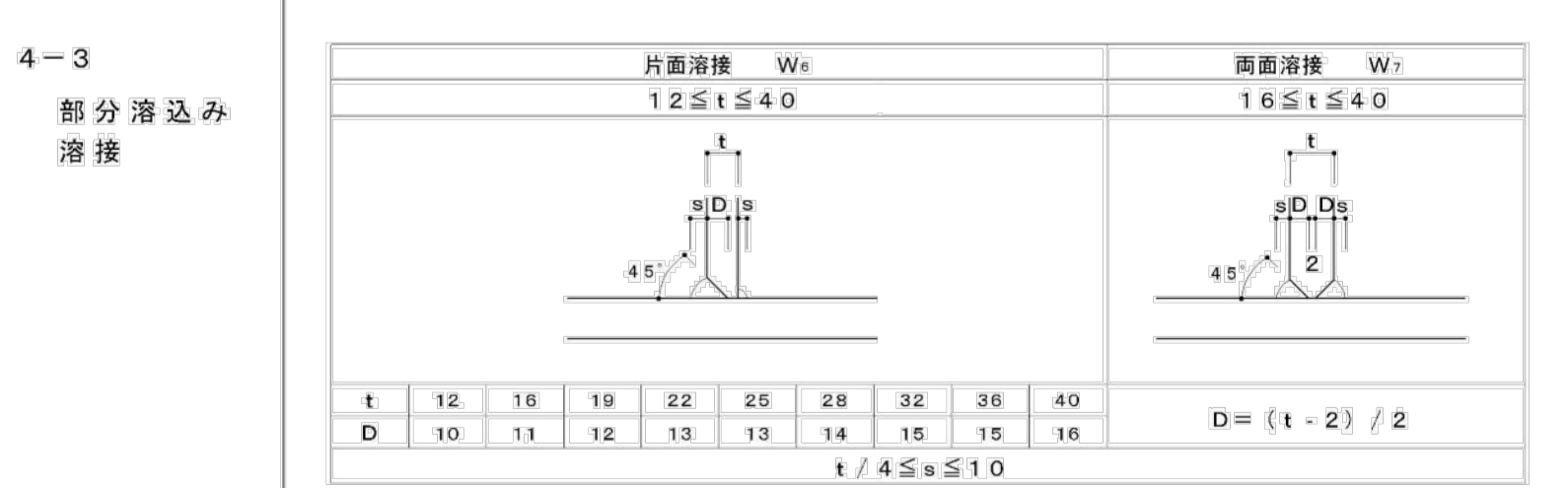


4) 開先形状

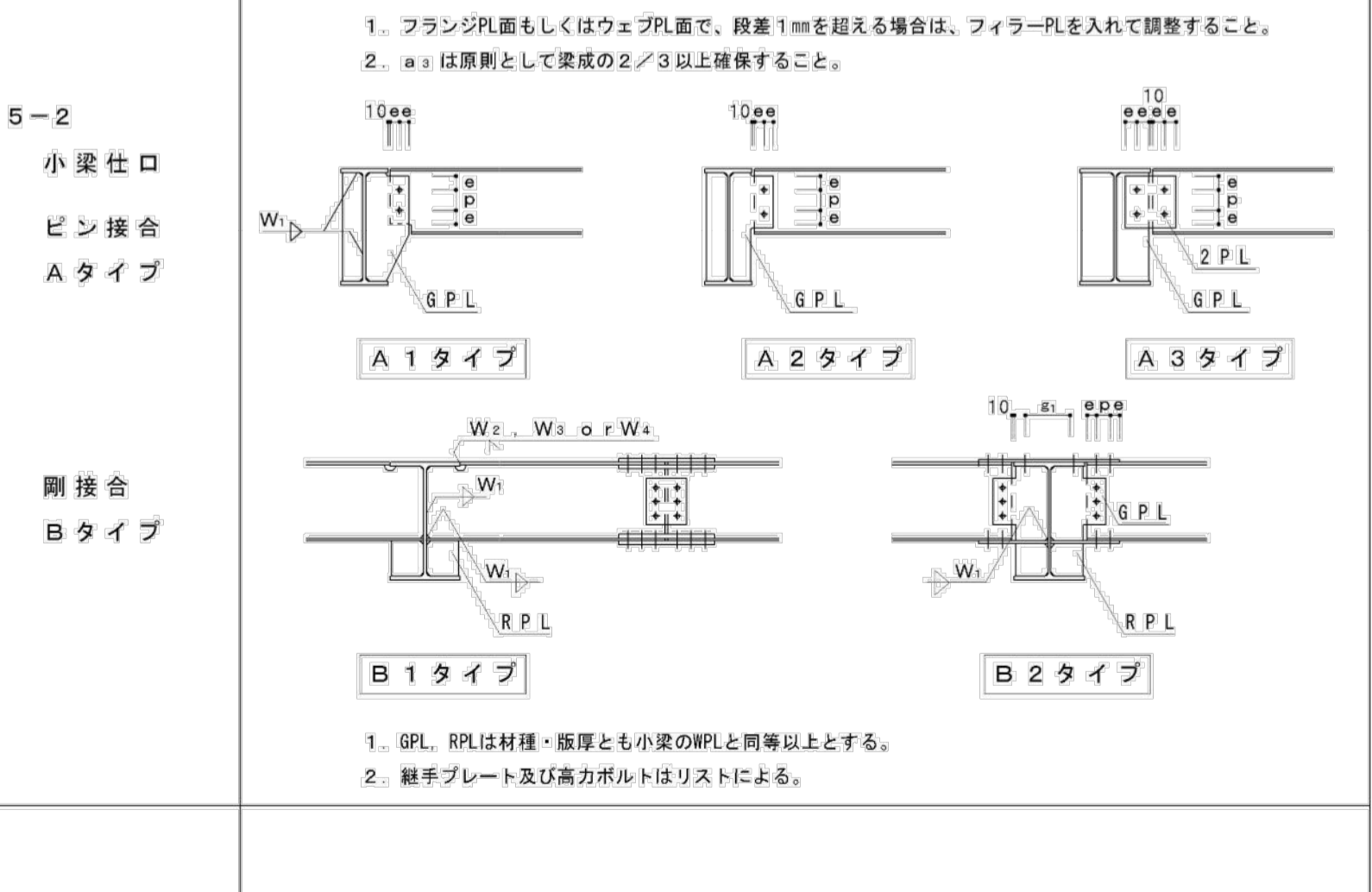
小文字は管理記号 () は形状記号を示す ※十分な品質管理を行う

記号	形状	溝角	溝深	
			G	R
W ₂ MC-BL-1B GC-BL-1B		6°	G 0.25 (1.5)	R 0.25 (1.5)
			G 0.5 (3.0)	R 0.5 (3.0)
W ₃ MC-BL-2 GC-BL-2		6°	G 0.25 (1.5)	R 0.25 (1.5)
			G 0.5 (3.0)	R 0.5 (3.0)
W ₄ MC-BK-2 GC-BK-2		15°	G 0.25 (1.5)	R 0.25 (1.5)
			G 0.5 (3.0)	R 0.5 (3.0)
W ₅ MC-BI-1B GC-BI-1B		3~6°	G T (1.5)	R T (1.5)
			G T (1.5)	R T (1.5)

MC... はアーク手溶接 GC... はガスシールドアーク溶接・セルシールドアーク溶接の記号を示す。

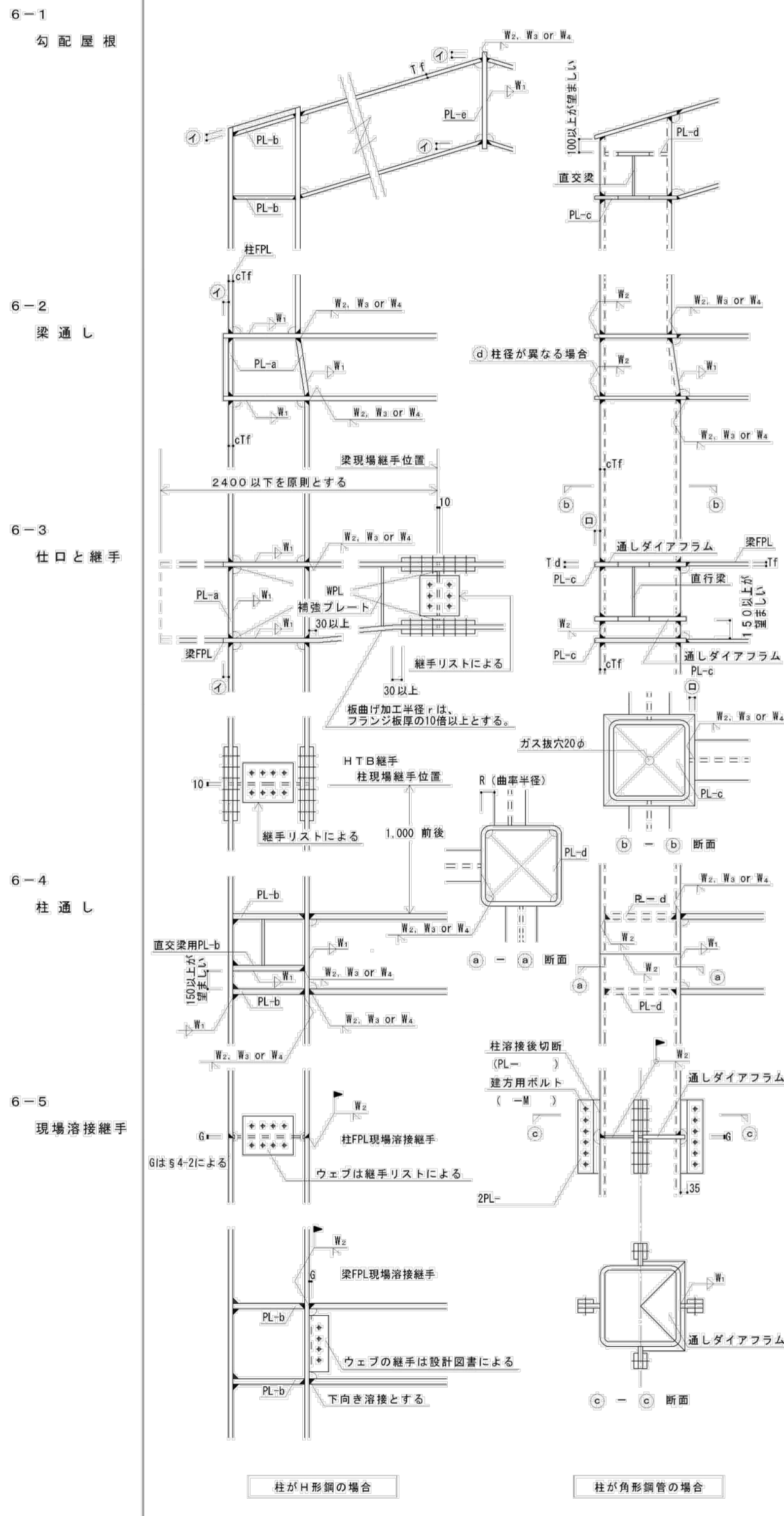


材種	主材	高力ボルト種	フランジ		ウェブ	添板	ピッチ
			外側添板	内側添板			
	H-A × B × t ₁ × t ₂ BH-A × B × t ₁ × t ₂		2P L-	4P L-	ボルト本数 t ₁ × a ₁ × l ₁ t ₂ × a ₂ × l ₂	2P L-	t ₁ × a ₁ × l ₁ t ₂ × a ₂ × l ₂
H-	×	×	×	×	×	×	×
H-	×	×	×	×	×	×	×
H-	×	×	×	×	×	×	×
H-	×	×	×	×	×	×	×
H-	×	×	×	×	×	×	×
H-	×	×	×	×	×	×	×
H-	×	×	×	×	×	×	×
H-	×	×	×	×	×	×	×
H-	×	×	×	×	×	×	×
H-	×	×	×	×	×	×	×
H-	×	×	×	×	×	×	×
H-	×	×	×	×	×	×	×
H-	×	×	×	×	×	×	×
H-	×	×	×	×	×	×	×
H-	×	×	×	×	×	×	×
H-	×	×	×	×	×	×	×
H-	×	×	×	×	×	×	×



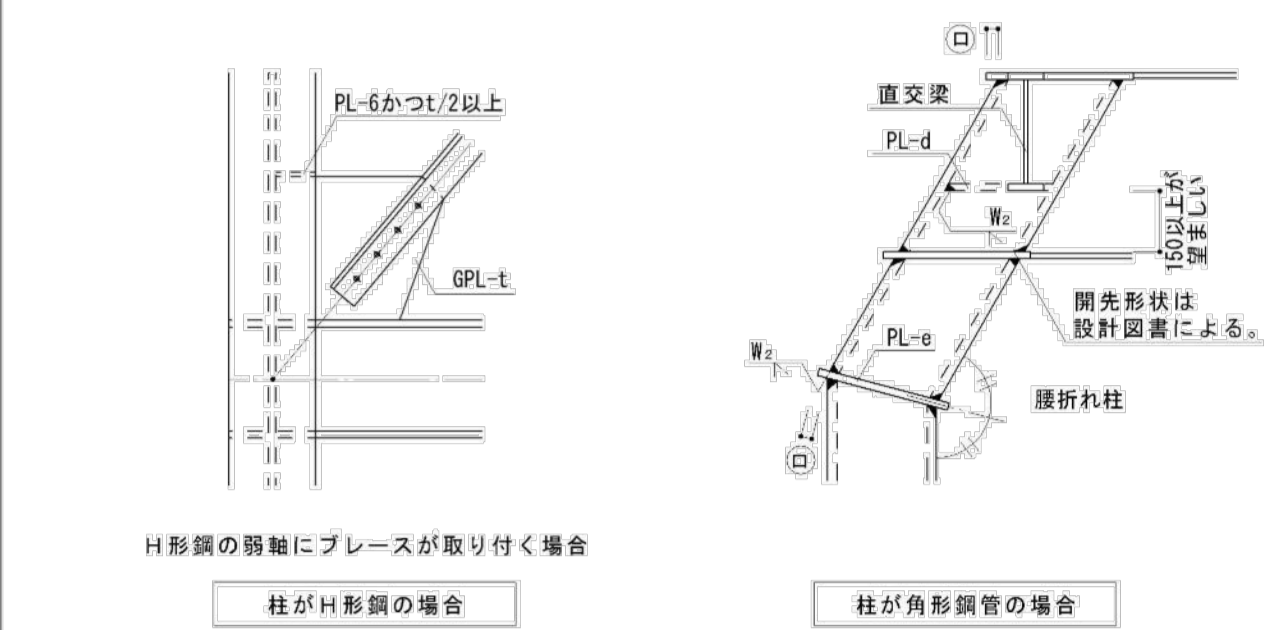
鉄骨工作標準図(2) 2021年度版

§ 6 柱梁接合部及び継手



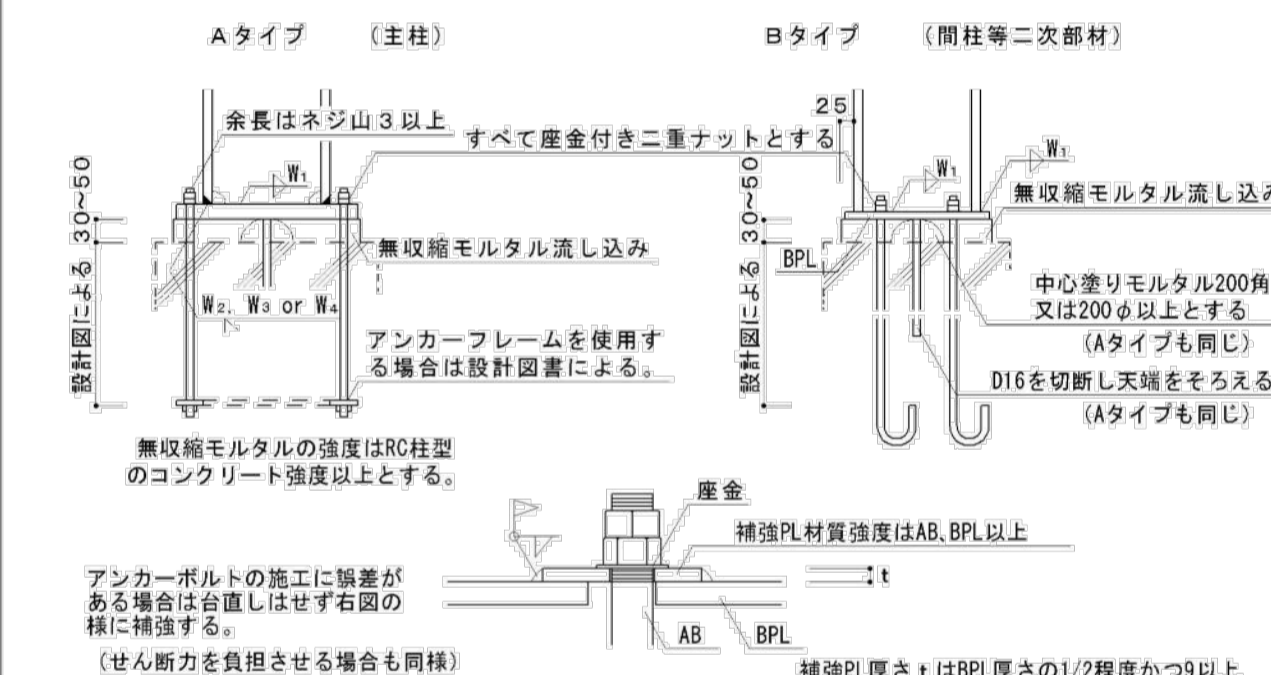
(販売元) 一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会 <http://fasa-net.jp>

6-6 その他

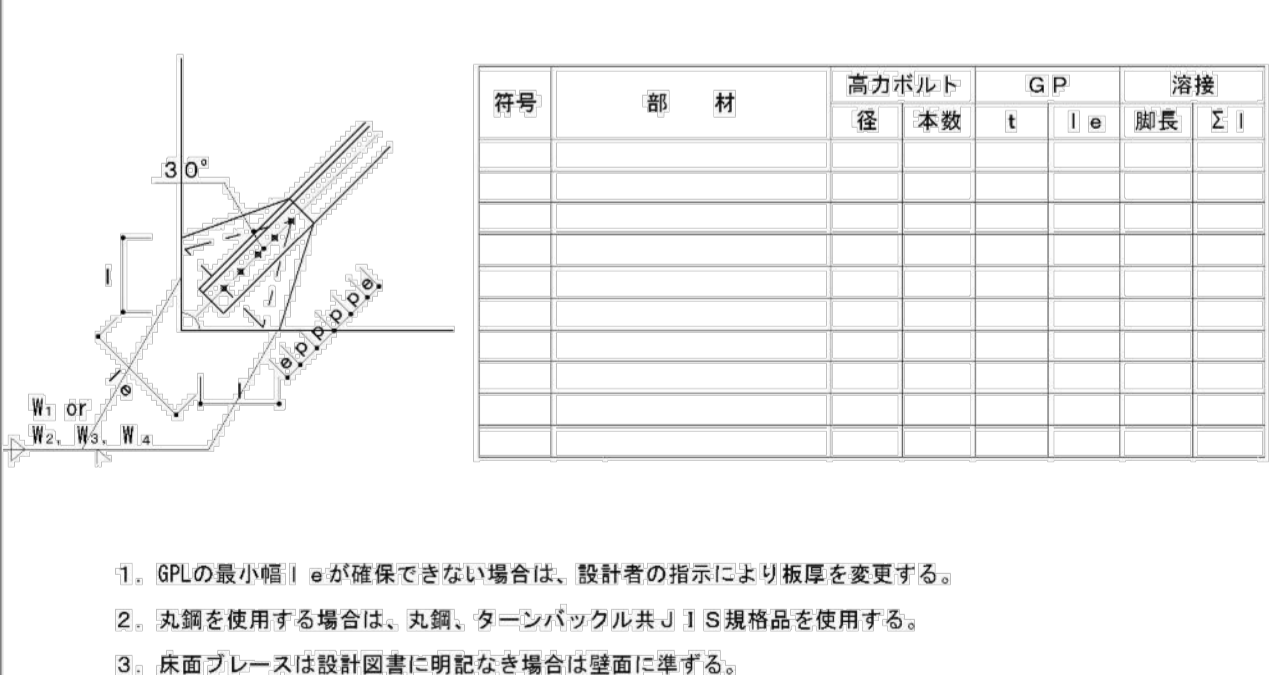


- 1) パネルゾーンのRの厚さ
 - 1. PL-a (鉛直スチフナ) 上下柱のFPLの厚い方より1サイズUP以上
 - 2. PL-b (水平スチフナ) 仕口部に集結する梁の最大FPLより1サイズUP以上
 - 3. PL-c (通しダイヤフラム) 仕口部に集結する梁の最大FPLより1サイズUP以上かつ柱のFPL以上
 - 4. PL-d (内ダイヤフラム) 仕口部に集結する梁の最大FPLより1~2サイズUP以上
 - 5. PL-e (折れ曲がり部) 梁(柱)のFPLより1サイズUP以上
- 2) 出寸法
 - ① 25mmかつt以上
 - ② cTd ≤ 25の場合 25
 - ③ cTd ≥ 28の場合 30
- 3) 注記
 1. ダイヤフラムの材質は特記仕様による。特記なき場合は、接続する柱及び梁の1ランク上質とする。また接続する柱及び梁の強度及び材質の異なる場合は、強度は大きい方に同じとし、材質は上の方の1ランク上質とする。
 2. (d) (6-2項) 上下階で柱径が異なる場合の板厚は上下階柱の厚い方、材質は上下階柱と同材質以上とし、折れ曲げ加工又は溶接加工とする。
 3. ハンチ部でFPLを折曲げる場合はR ≥ 10tとし補強プレートを入れる。ただし、勾配のゆるい場合(1/6程度)は不要。
 4. ダイヤフラムと梁フランジの溶接部は、梁フランジはダイヤフラムの厚みの内部で溶接すること。(告示1464)
 5. 現場溶接を行なう場合は工事監督者の承認を得、養生に十分配慮して行うこと。

§ 7 柱脚



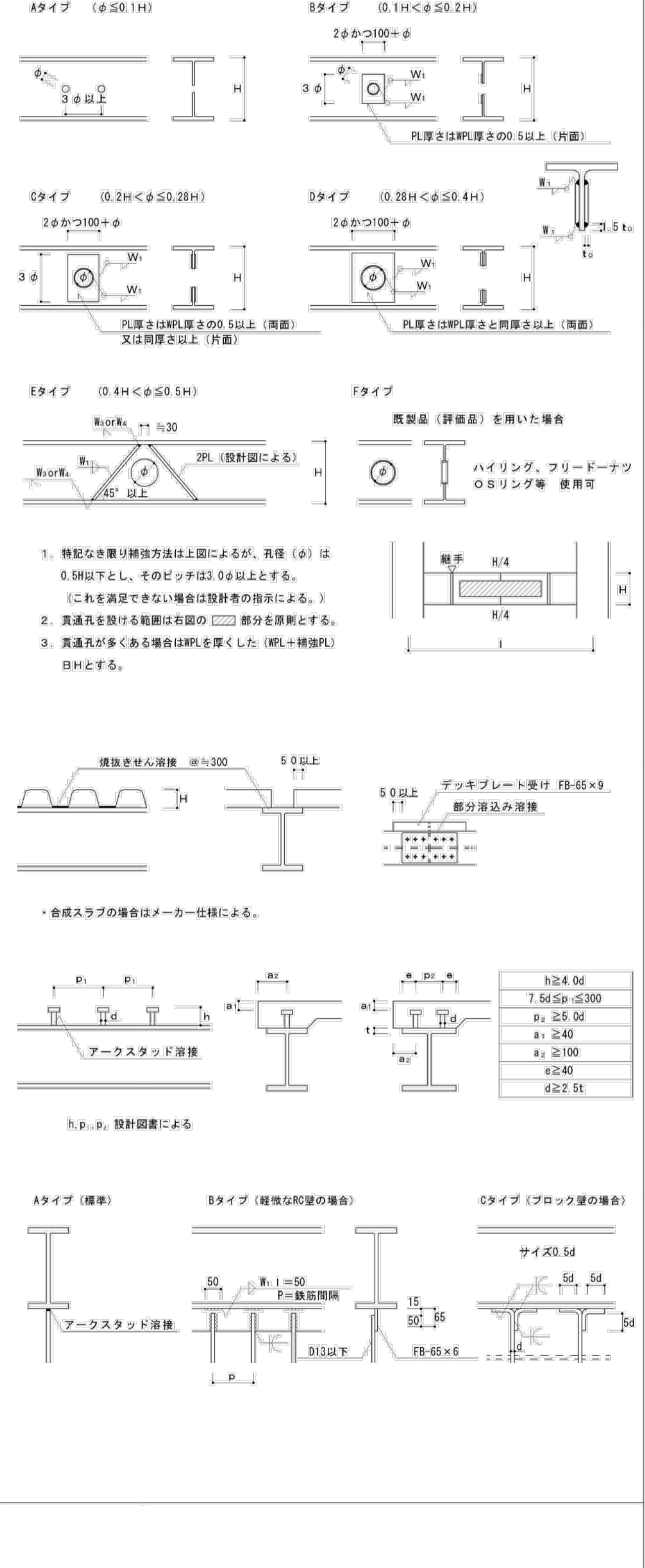
§ 8 壁面ブレース



7-1 一般柱脚

8-1 ブレースリスト

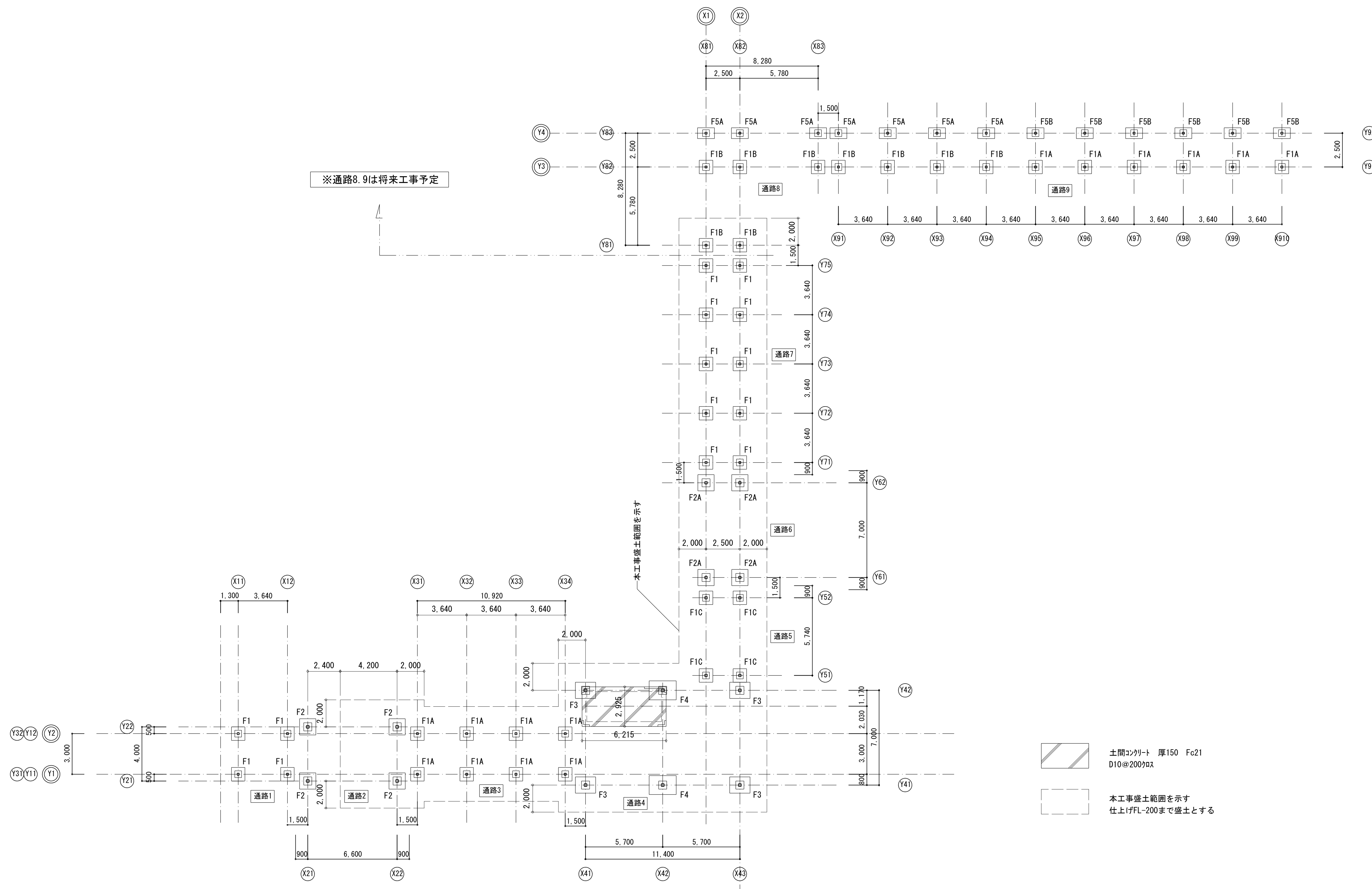
§ 9 その他



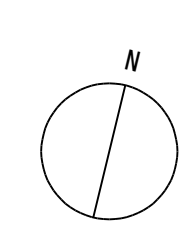
(発行元) 一般社団法人関西建築構造設計事務所協会 <http://www.ksa-web.com/> 2021年2月1日作成 (不許複製)

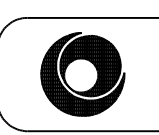
株式会社 豊建築設計事務所
 工事名称 田村駅東口シェルター新築工事
 図面名称 鉄骨工作標準図(2)
 遊賀県長浜市神明町696-5 TEL 0749 62 3151 FAX 0749 64 1438 1級建築士登録 第75764 村田武夫

SCALE	APPR'D	CHECK'D	DRAWN	CHARGE	SEAL	DRAWING NO
A1: -	00-00-00	C 5
A3: -



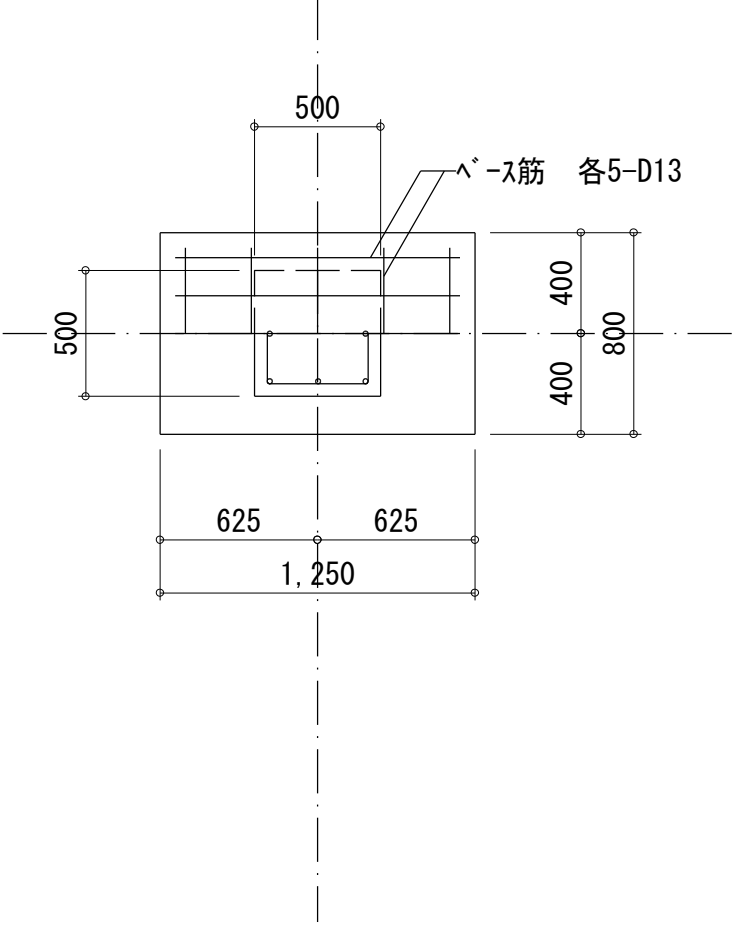
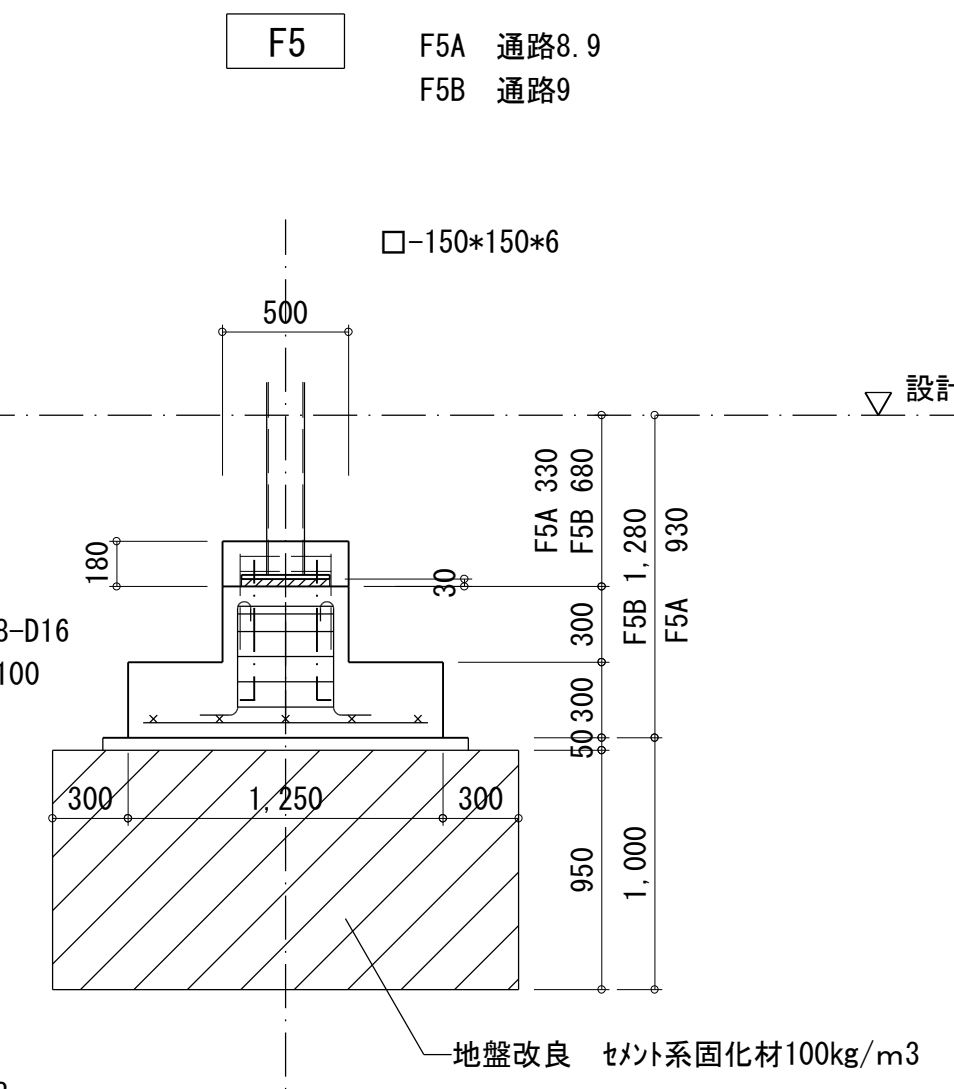
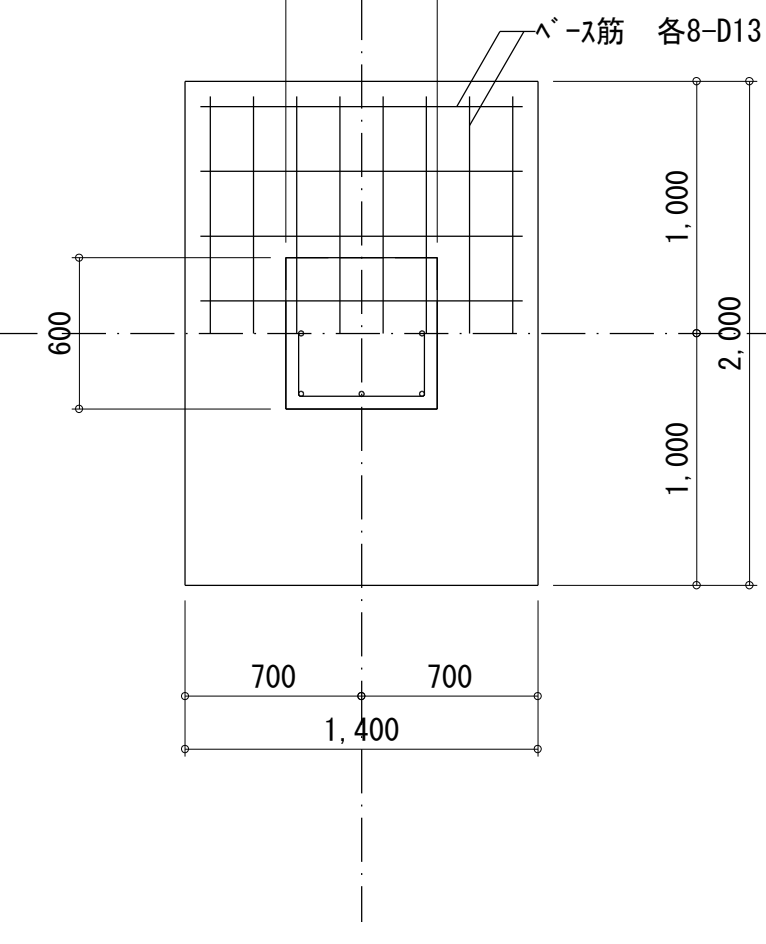
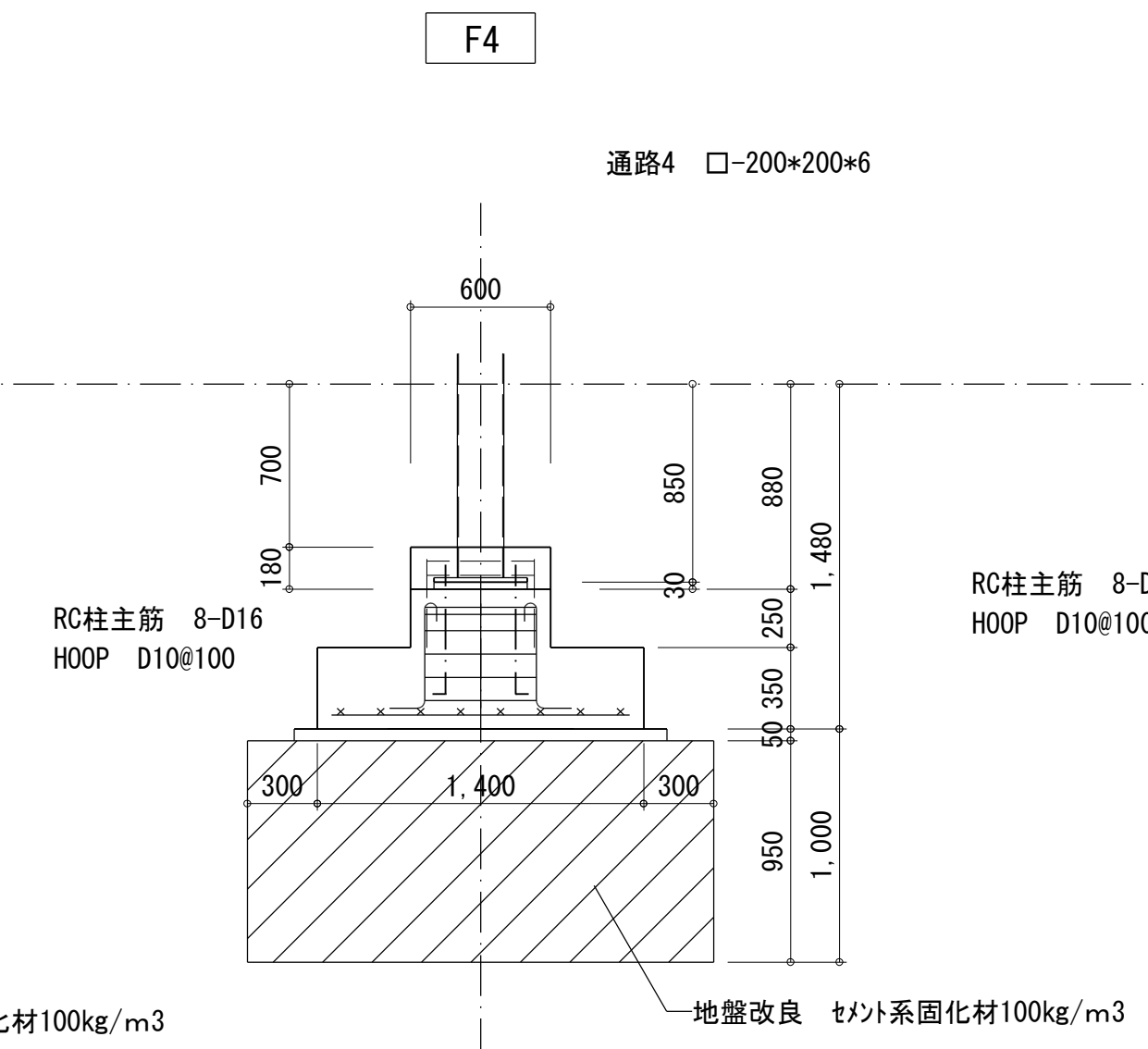
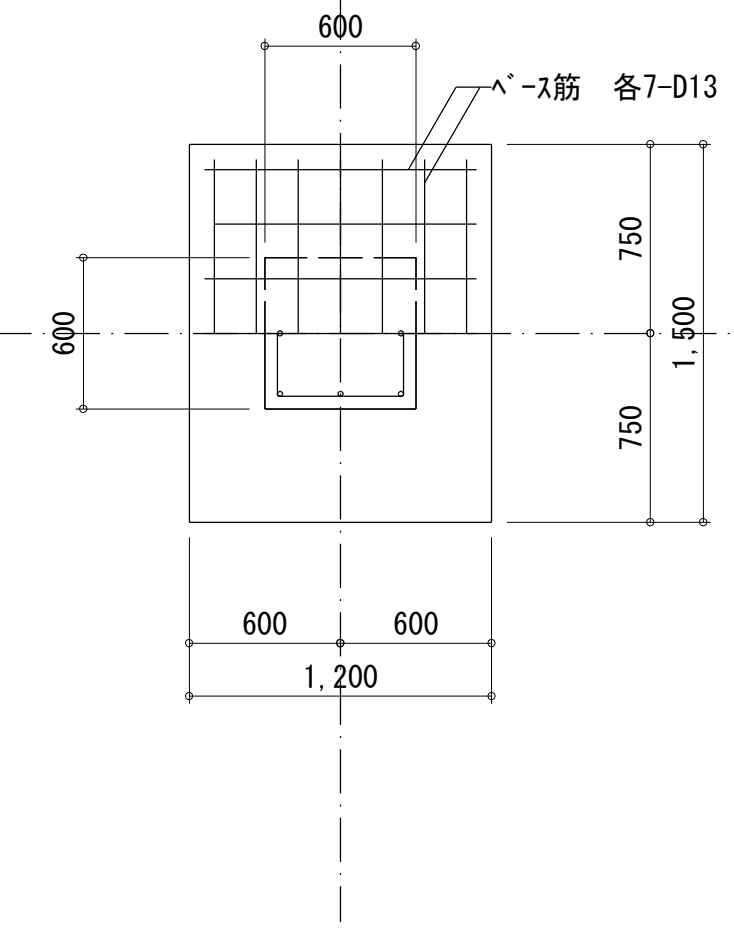
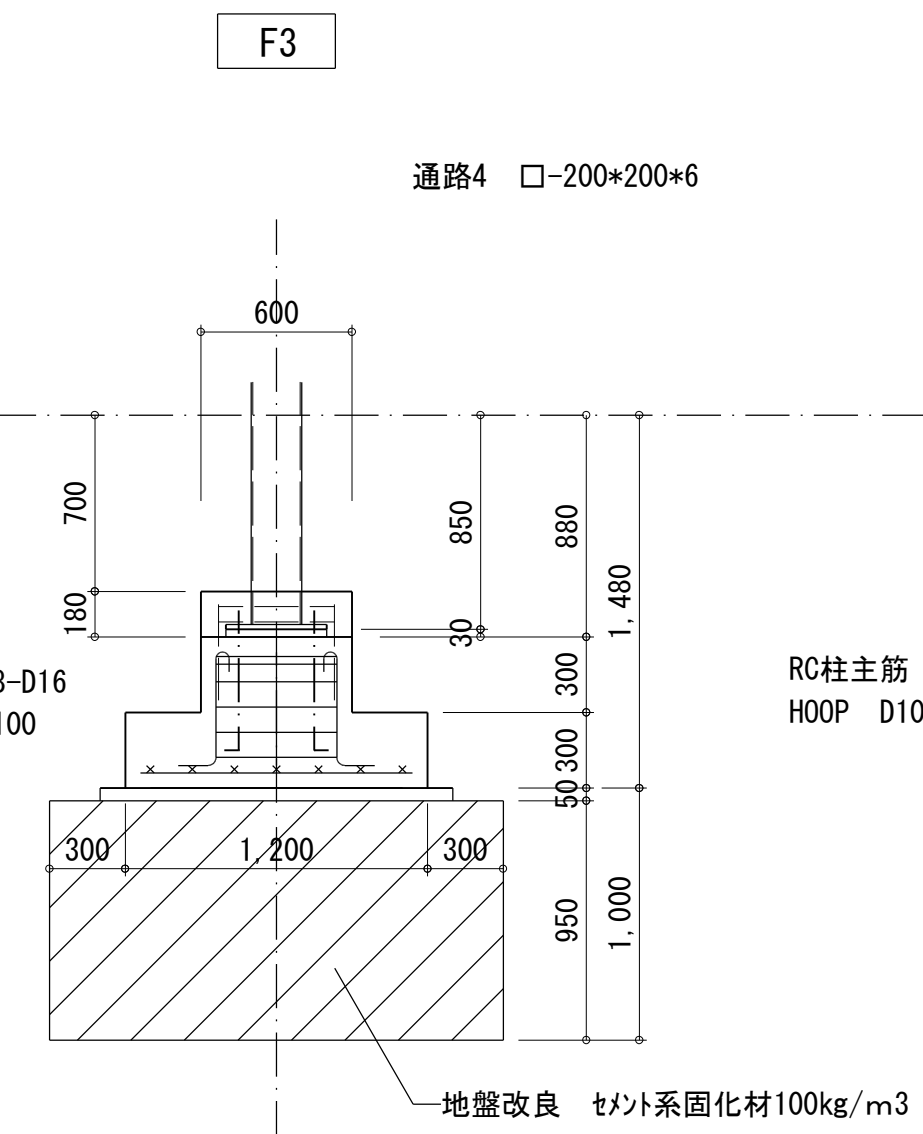
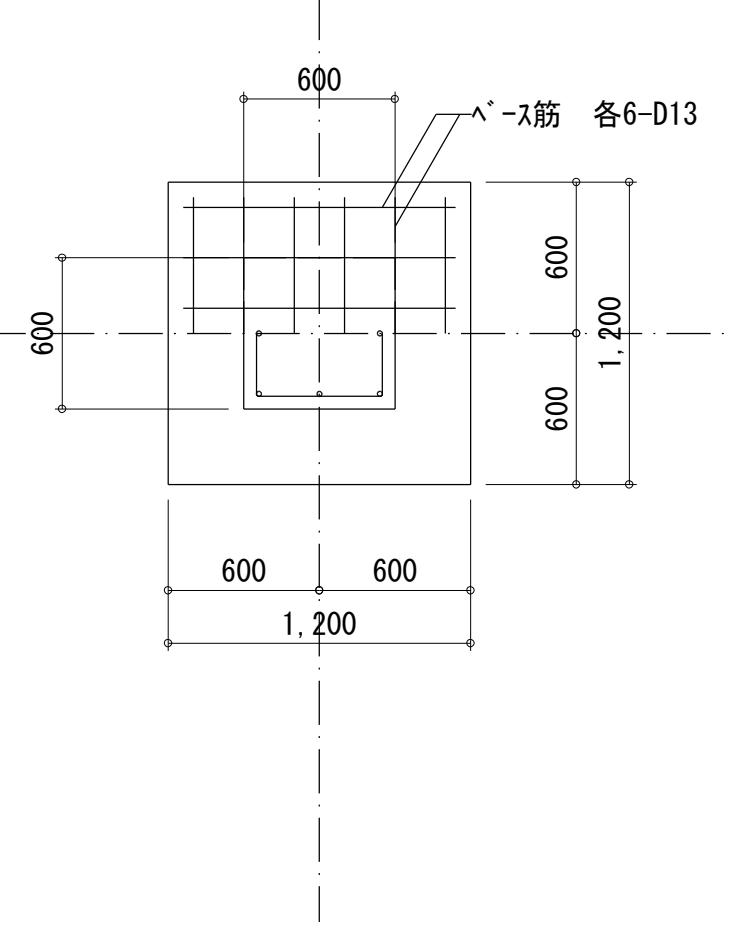
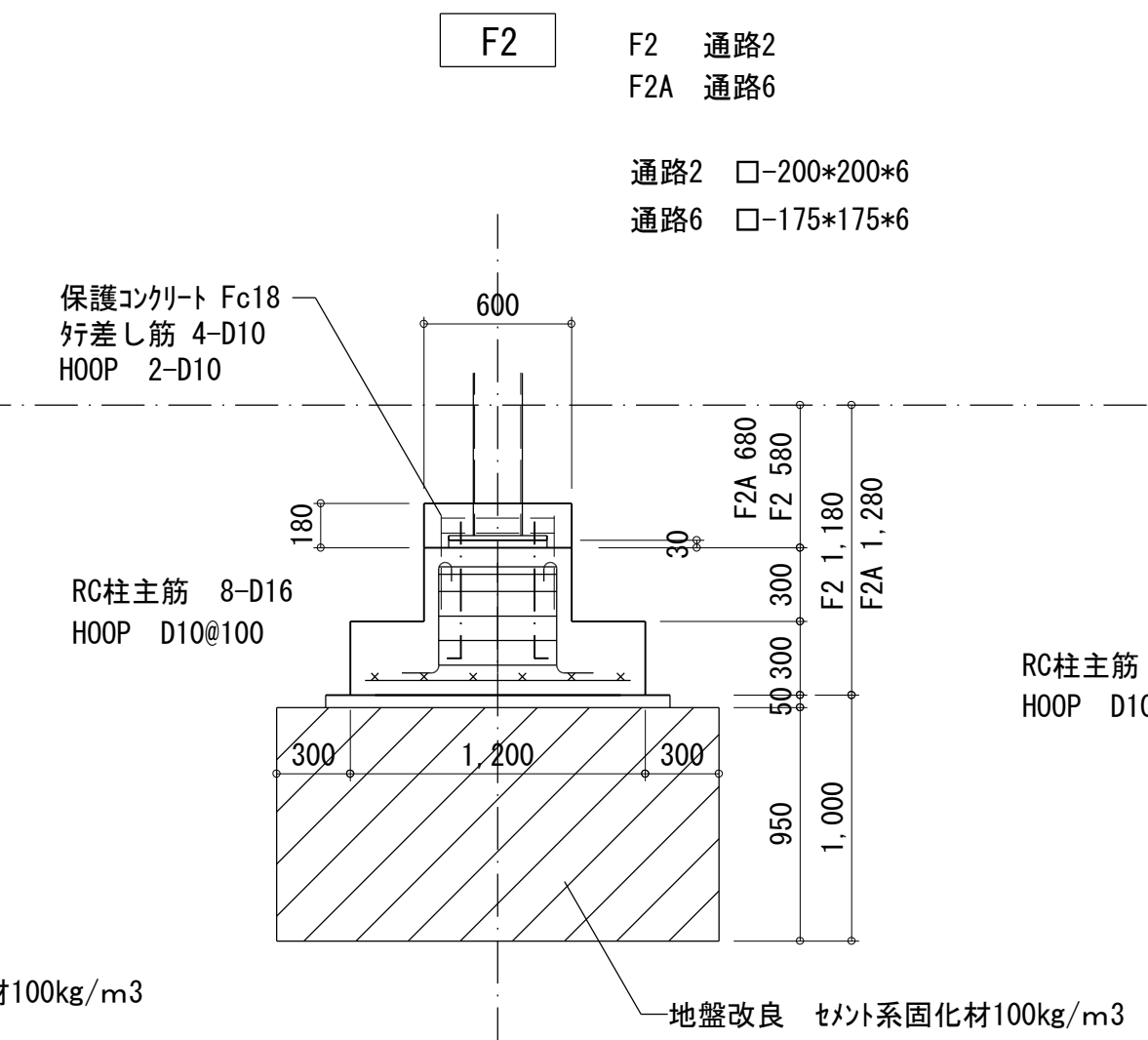
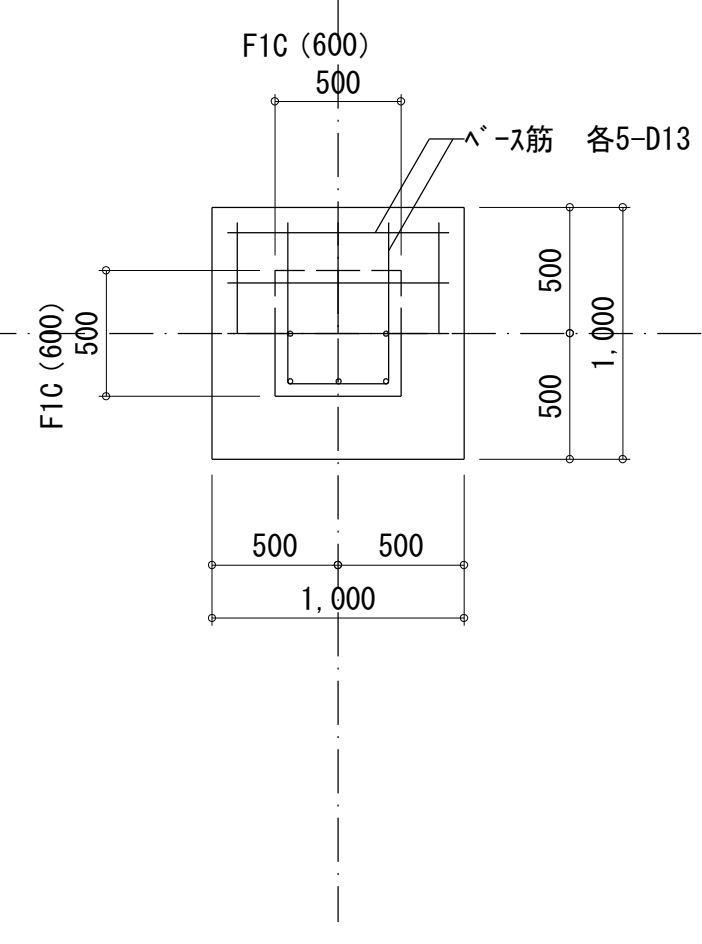
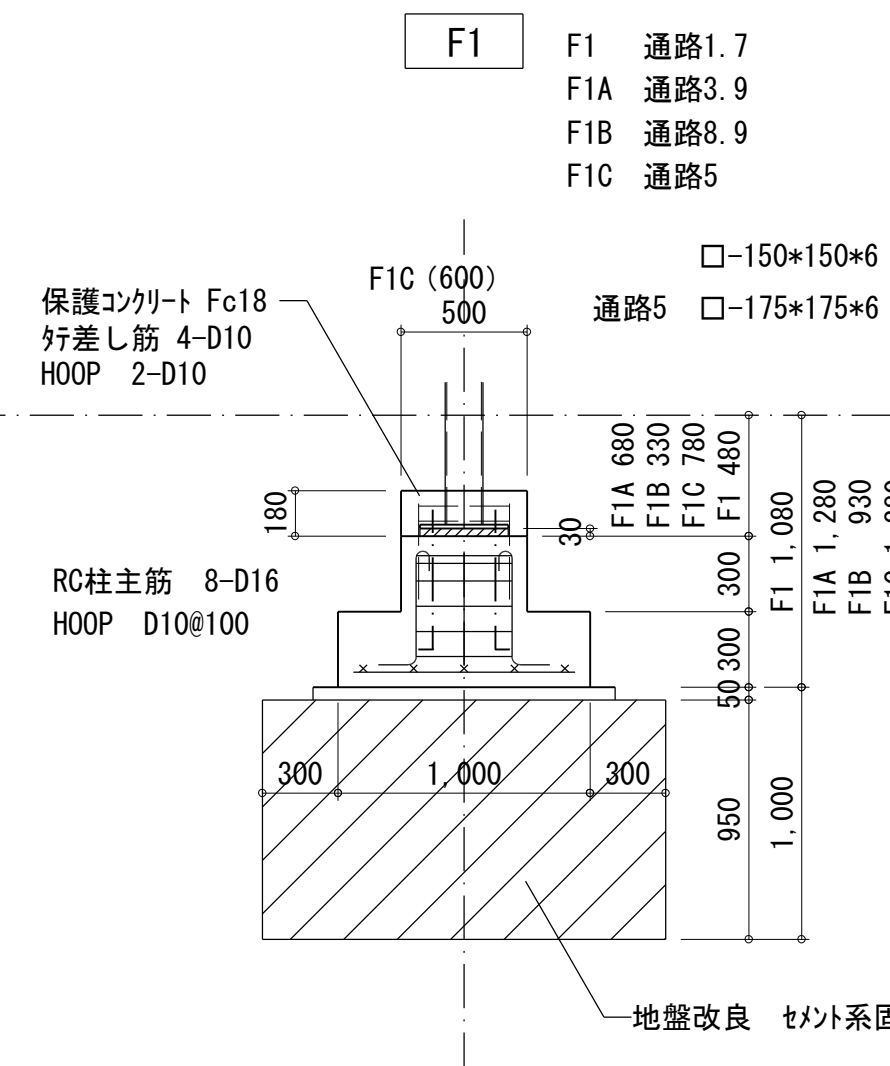
 土間コンクリート 厚150 Fc21
D10@200mm
 本工事盛土範囲を示す
仕上げFL-200まで盛土とする

特記事項										方位	
											
SCALES	APPR'D	CHECK'D	DRAWN	CHARGE	SEAL	DRAWING NO					
A1: 1/150	23 04.07	..		C	7				
A3: 1/300											


豊建築設計事務所

株式会社
 豊建築設計事務所
 滋賀県長浜市神照町696-5 TEL 0749 62 3151 FAX 0749 64 1438 1級建築士登録 第75764 村田武夫

工事名称 田村駅東口シェルター新築工事
 図面名称 基礎 伏図

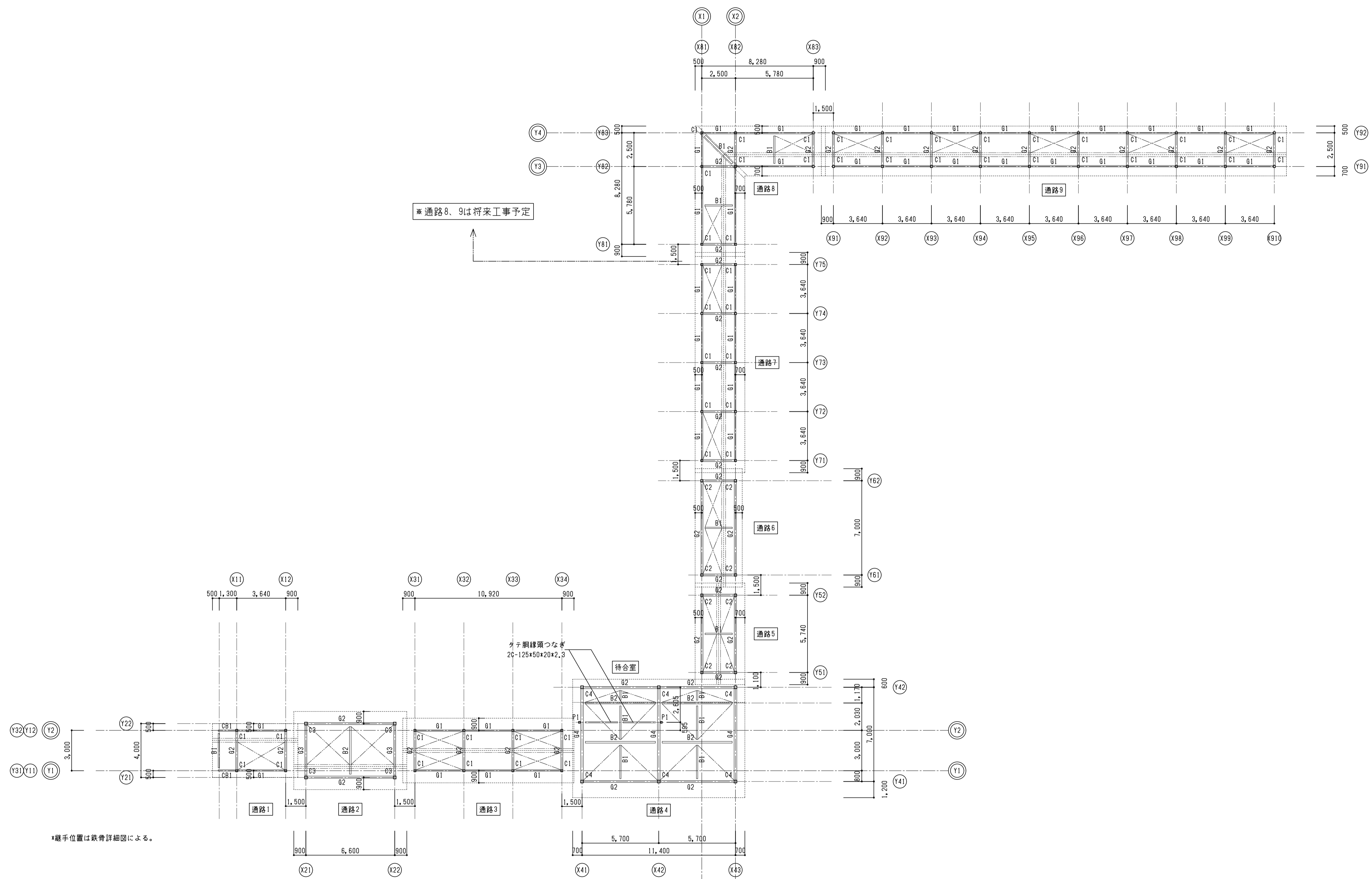


豊建築設計事務所 株式会社

工事名称 田村駅東口シェルター新築工事
図面名称 基礎 詳細図

遊覧県長浜市神照町696-5 TEL 0749 62 3151 FAX 0749 64 1438 1級建築士登録 第75764 村田武夫

SCALES	APPR'D	CHECK'D	DRAWN	CHARGE	SEAL	DRAWING NO
A1: 1/30 A3: 1/60			23-04-07		C	8



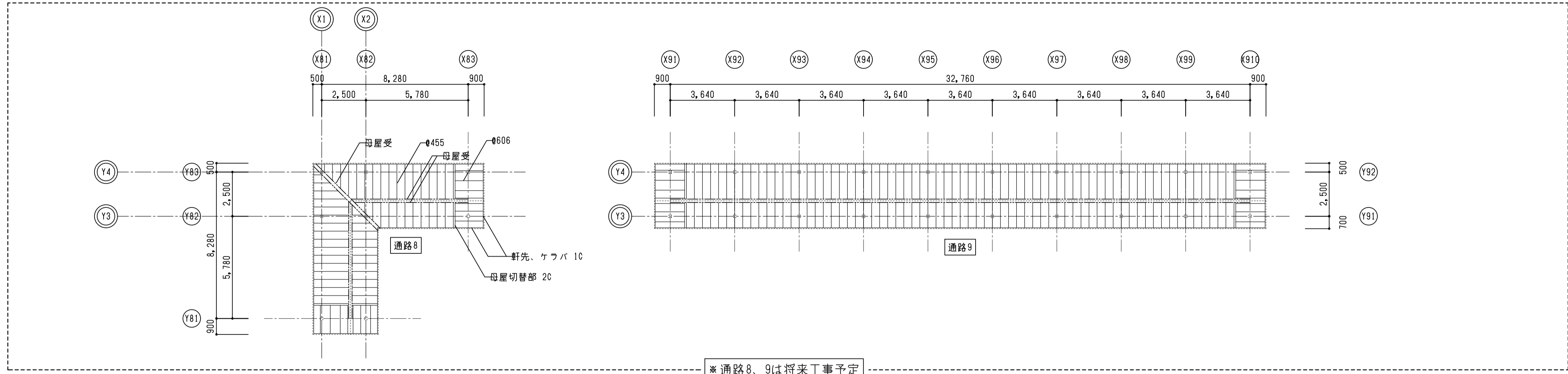
部 材 リ ス ト	C1	□-150×150×6	(STKR400)	G1	H-200×100×5.5×8	(SS400)	B1	H-200×100×5.5×8	(SS400)											
	C2	□-175×175×6	(STKR400)	G2	H-194×150×6×9	(SS400)	B2	H-250×125×6×9	(SS400)											
	C3	□-200×200×6	(BCR295)	G3	H-300×150×6.5×9	(SS400)														
	C4	□-200×200×9	(BCR295)	G4	H-294×200×8×12	(SS400)	CB1	H-200×100×5.5×8	(SS400)											
							ブレース	M16 ターンバックル付	(SNR400)											

特 記 事 項	* 通路8、9は将来工事予定であり、今回は工事を行わない。										方位

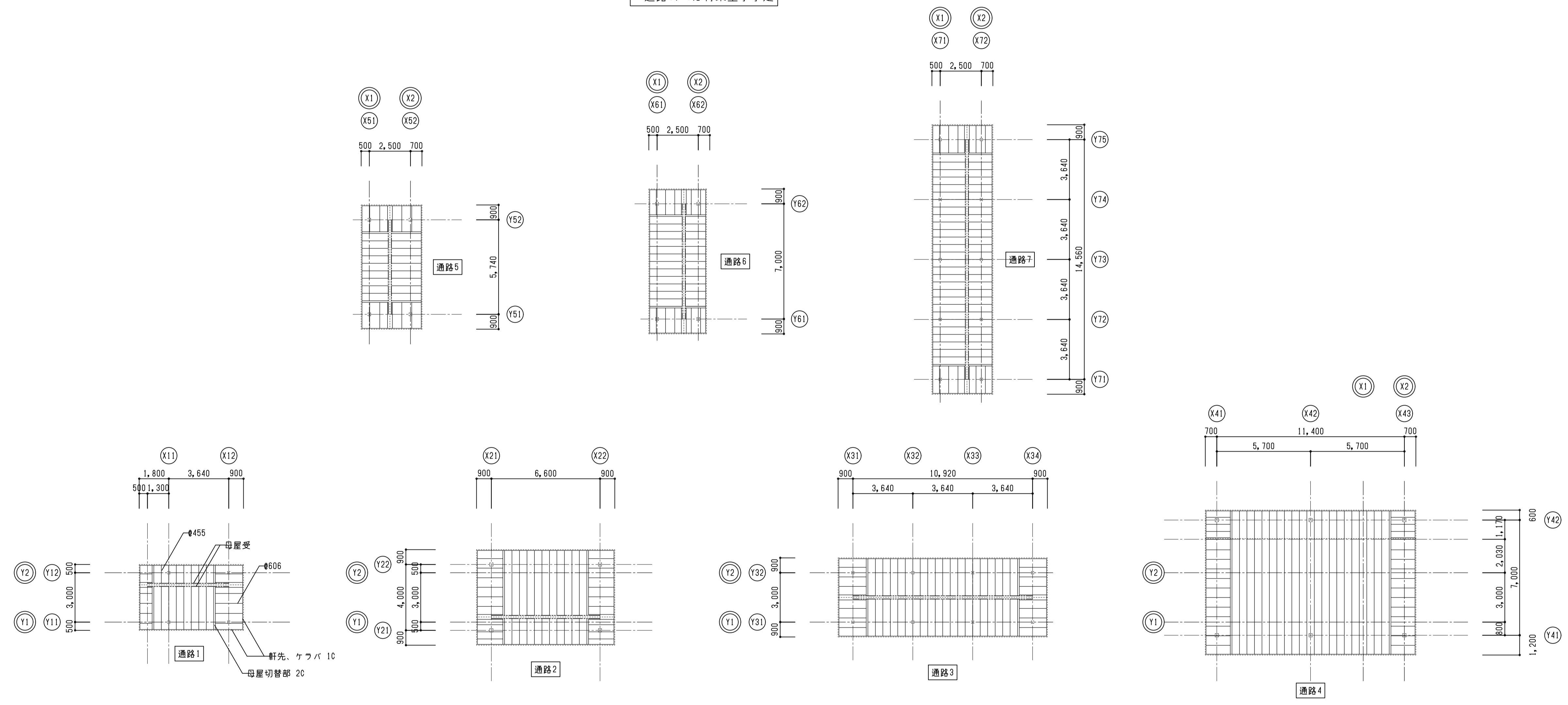
豊建築設計事務所

 工事名称 田村駅東口シェルター新築工事
 図面名称 梁伏図

SCALES	APPR'D	CHECK'D	DRWN	CHARGE	SEAL	DRAWING NO
A1: 1/150 A3: 1/300	23-01-30	..		C 9

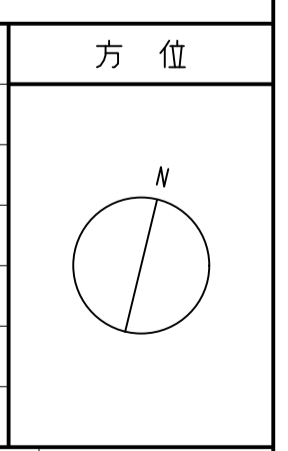


※ 通路8、9は将来工事予定



部 材 リ ス ト	母屋	通路2、通路4	C-100*50*20*2.3 (φ1820毎に20)	PL-6 BT2-M12	(SSC400)
		その他通路、待合	C-75*45*15*2.3 (φ1820毎に20)	PL-6 BT2-M12	(SSC400)
	母屋受	□-125*125*3.2	2PL-6 BT2-M16		(STKR400)

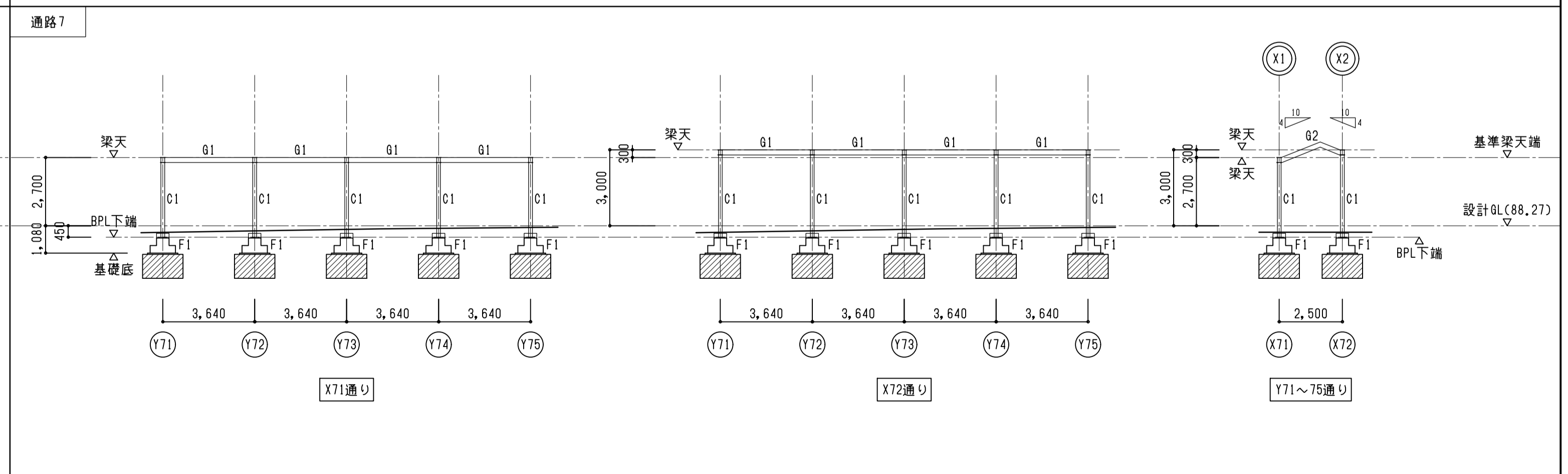
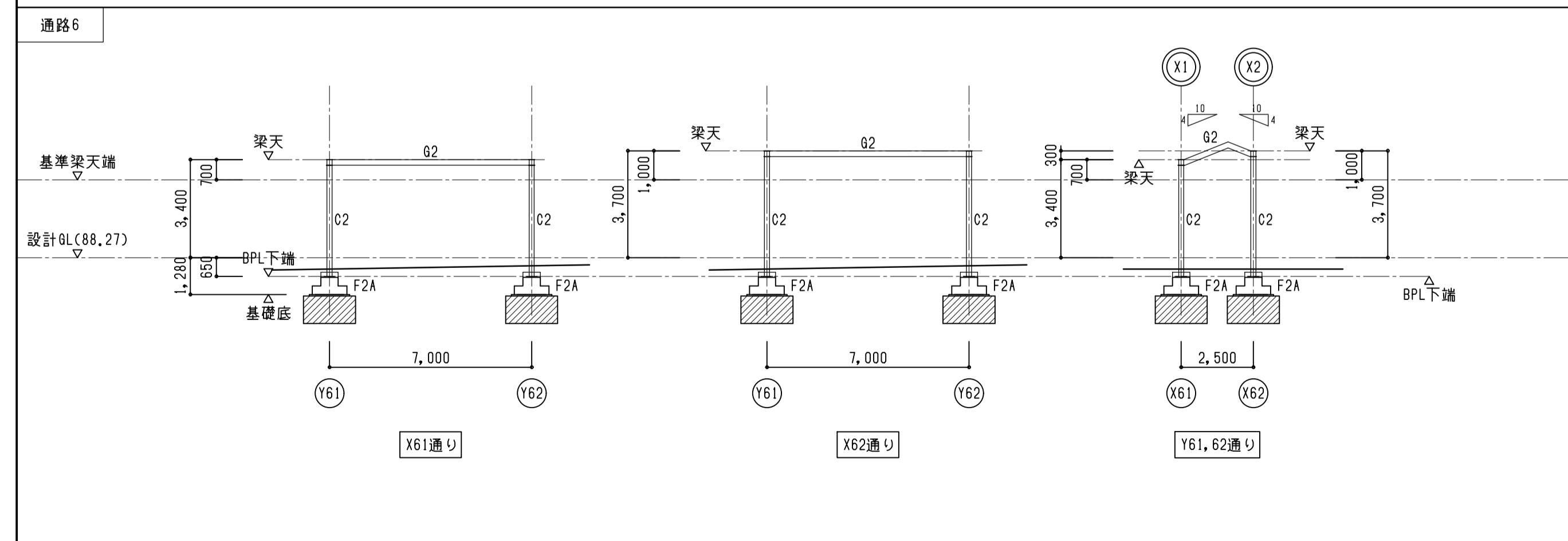
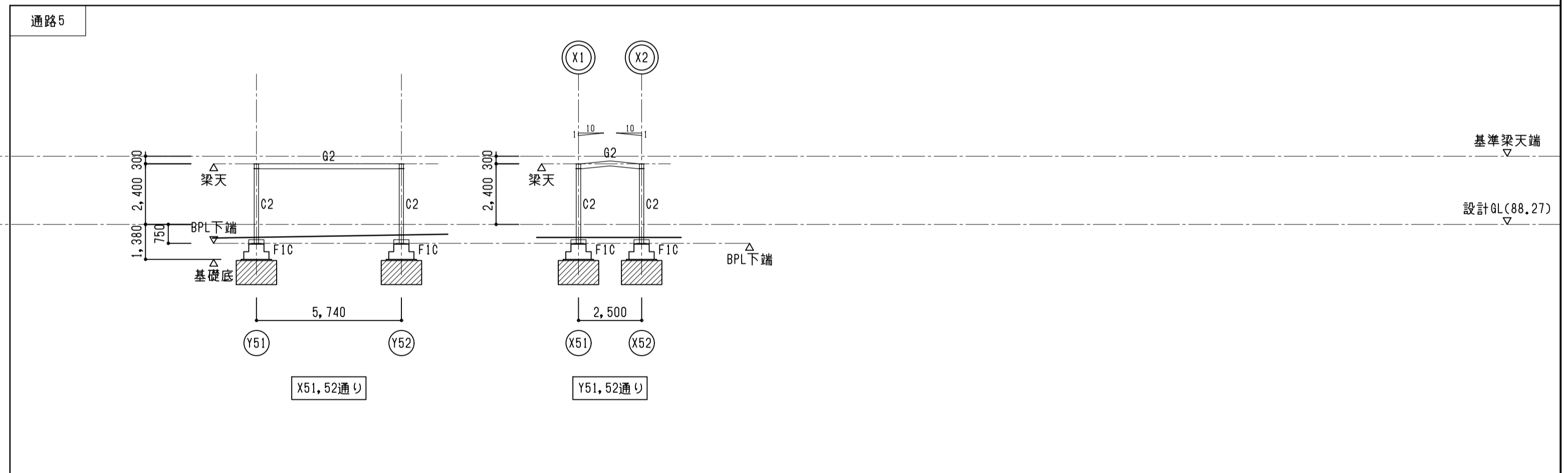
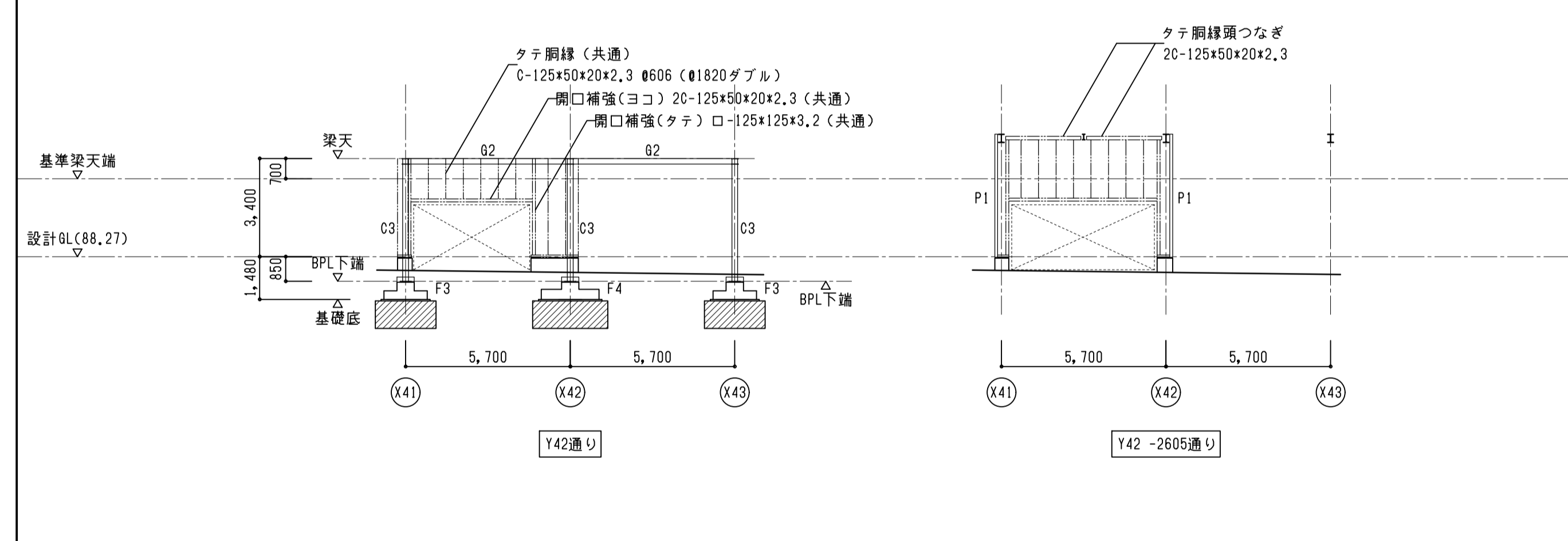
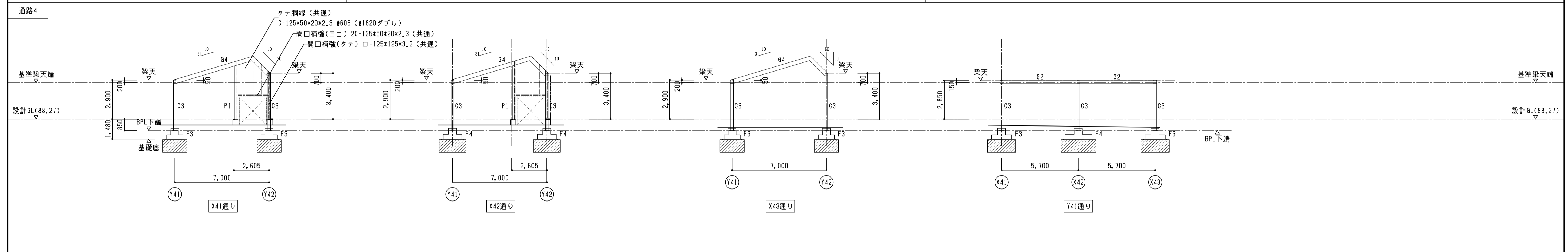
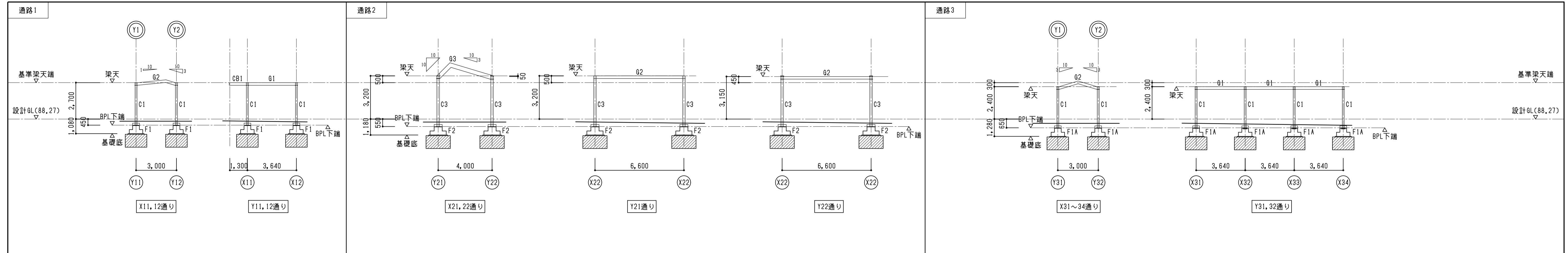
特 記 事 項	・通路8、9は将来工事予定であり、今回は工事を行わない。




豊建築設計事務所
 株式会社

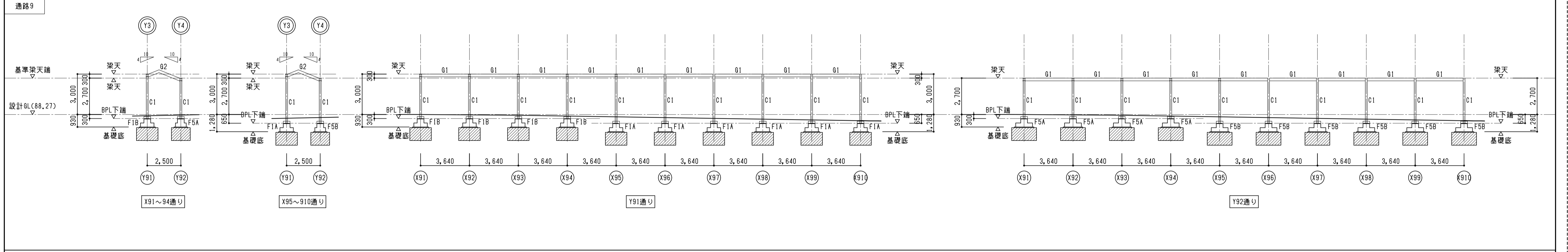
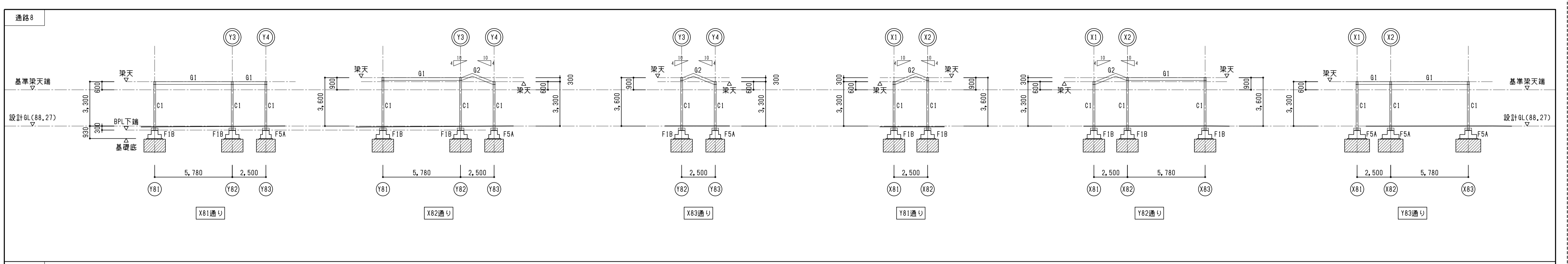
工事名称 田村駅東口シェルター新築工事
 図面名称 母屋伏図

SCALES	APPR'D	CHECK'D	DRWN	CHARGE	SEAL	DRAWING NO
A1 : 1/150 A3 : 1/300	23-01-30	..		C 10



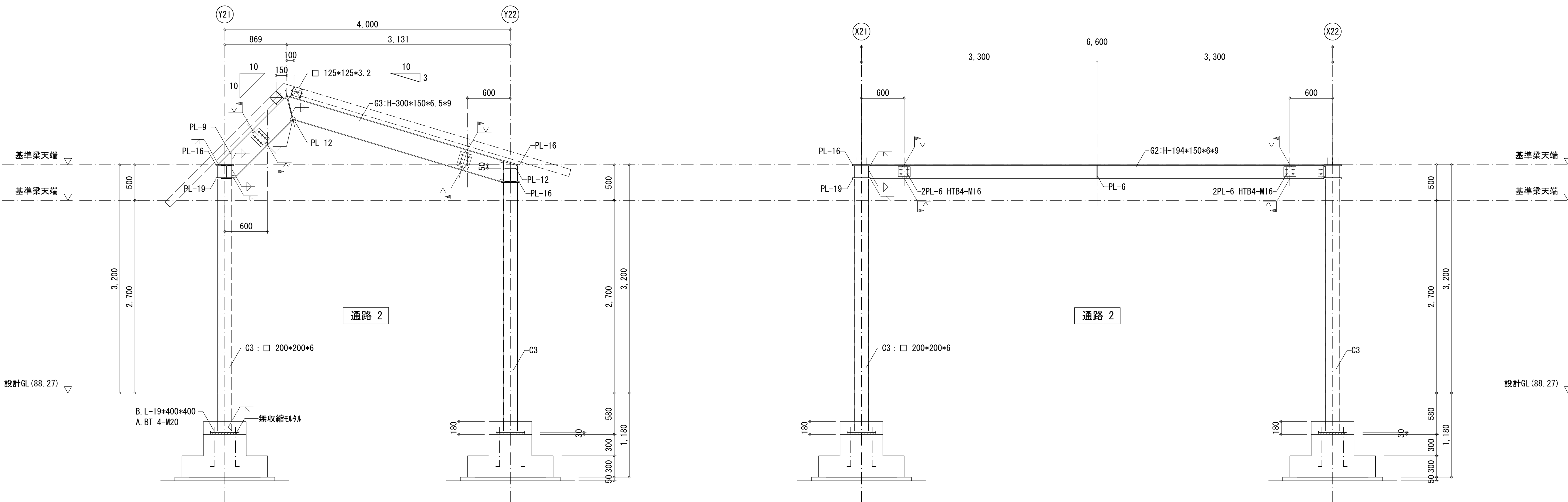
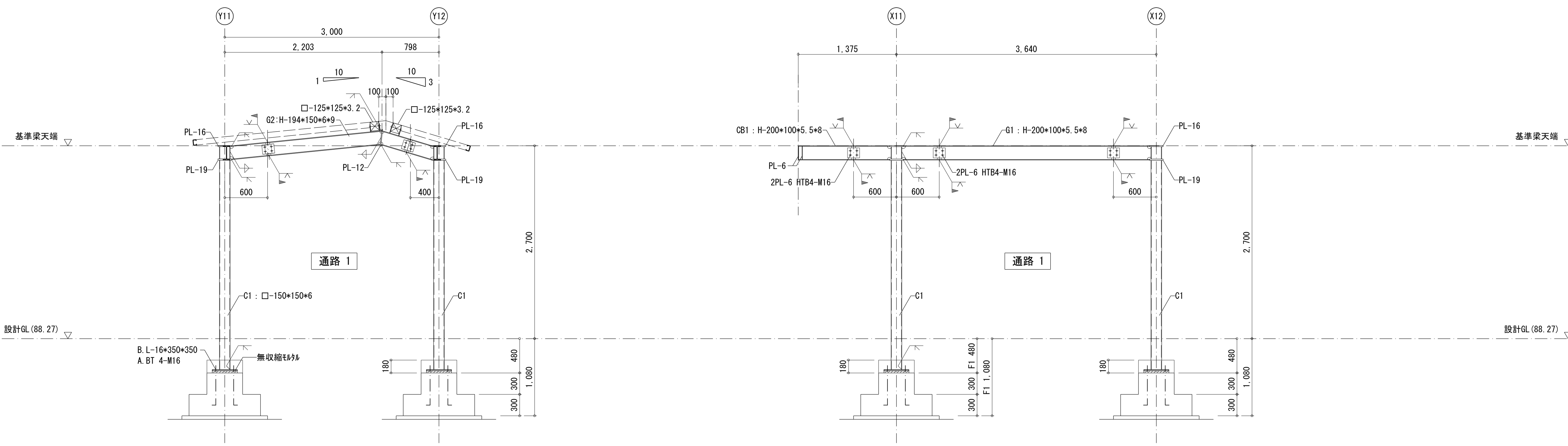

株式会社 豊建築設計事務所
 工事名称 田村駅東口シェルター新築工事
 図面名称 軸組図(1)


SCALES	APPR'D	CHECK'D	DRWN	CHARGE	SEAL	DRAWING NO
A1: 1/150 A3: 1/300			23-01-30		C	11

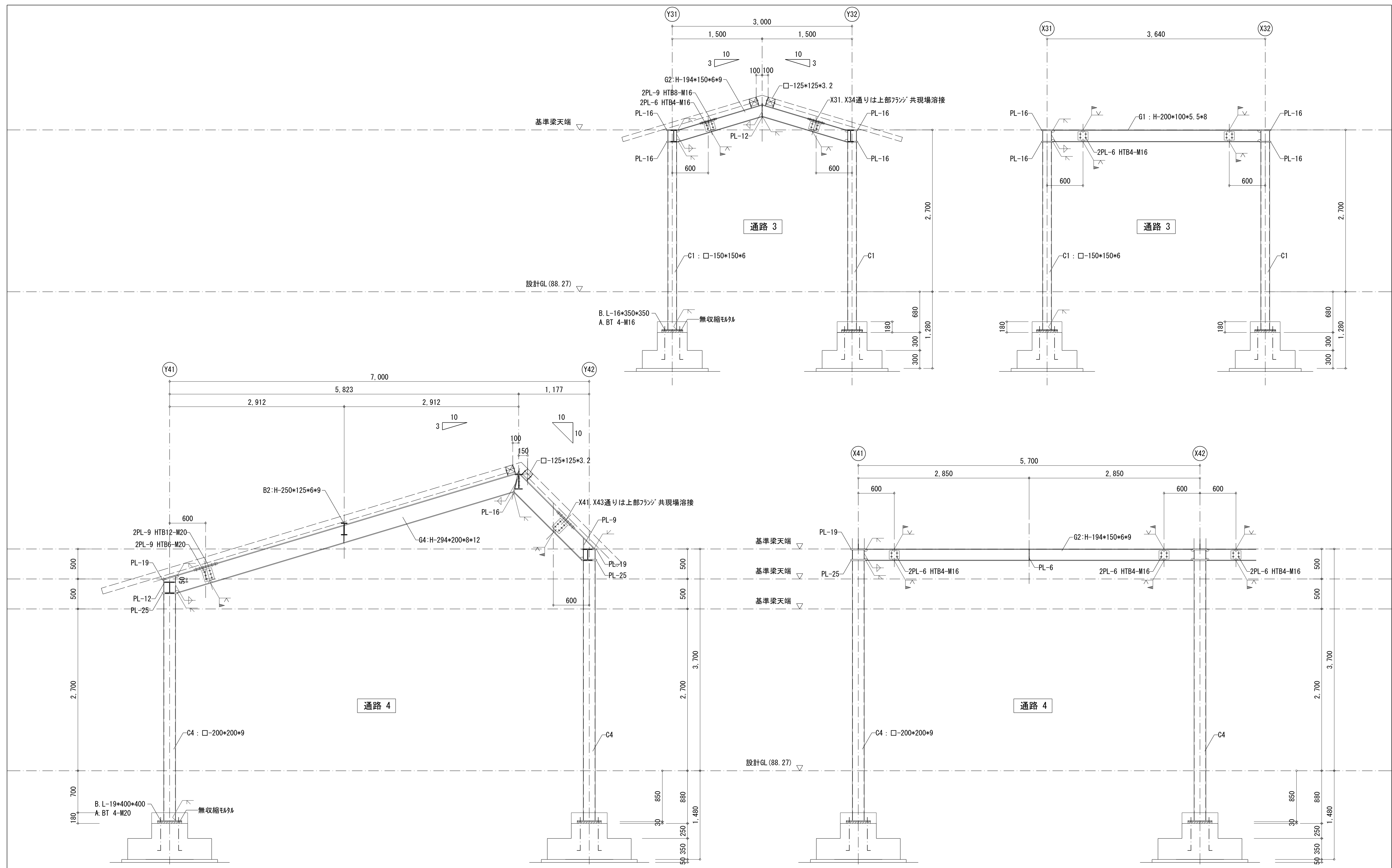



※ 通路8、9は将来工事予定

株式会社 豊建築設計事務所 滋賀県長浜市神領町696-5 TEL 0749 62 3151 FAX 0749 64 1438	工事名称	田村駅東口シェルター新築工事	SCALES	APPR'D	CHECK'D	DRWN	CHARGE	SEAL	DRAWING NO.
	図面名称	軸組図(2)	A1: 1/150	23-01-30	C 12
			A3: 1/300						

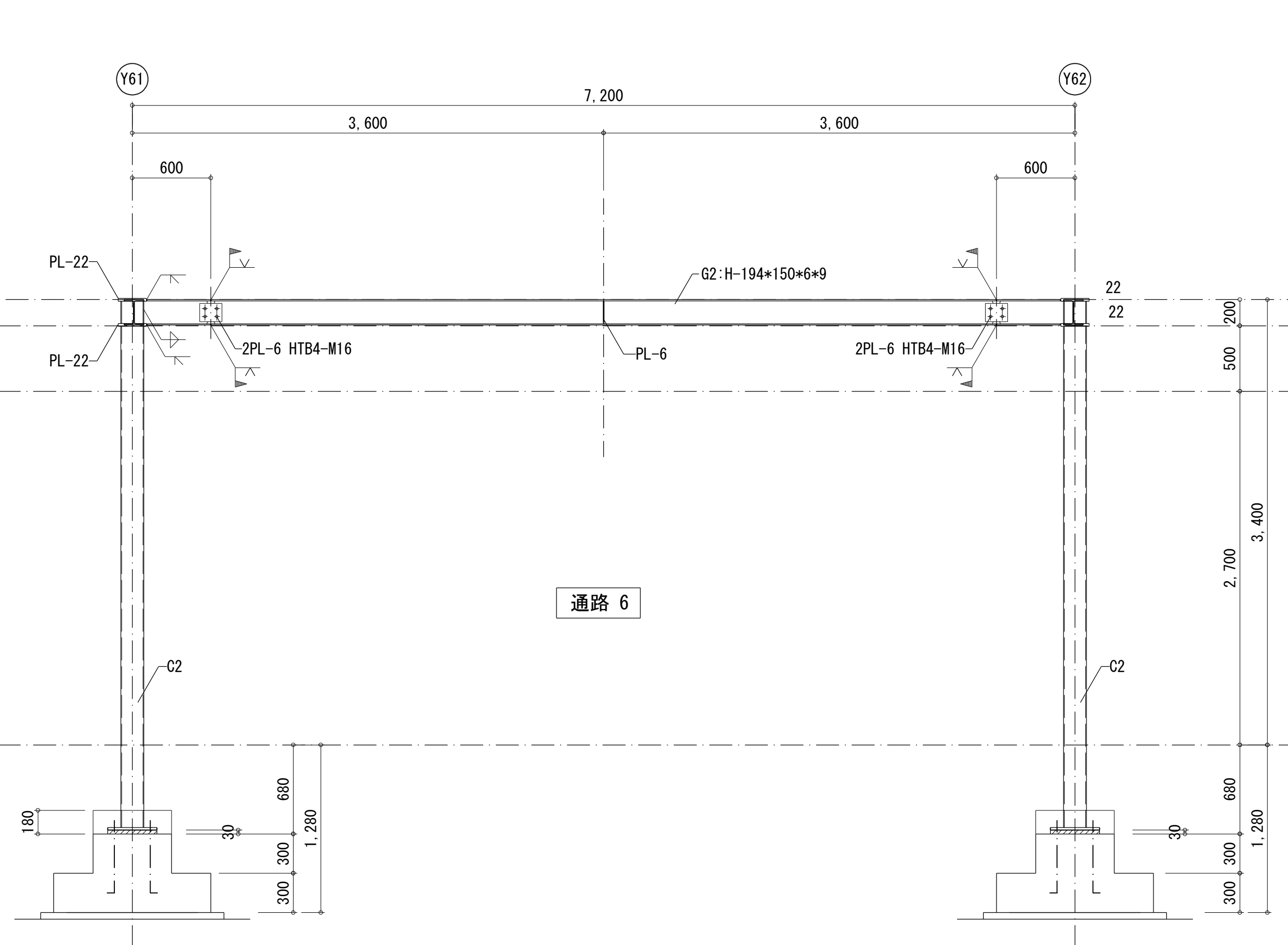
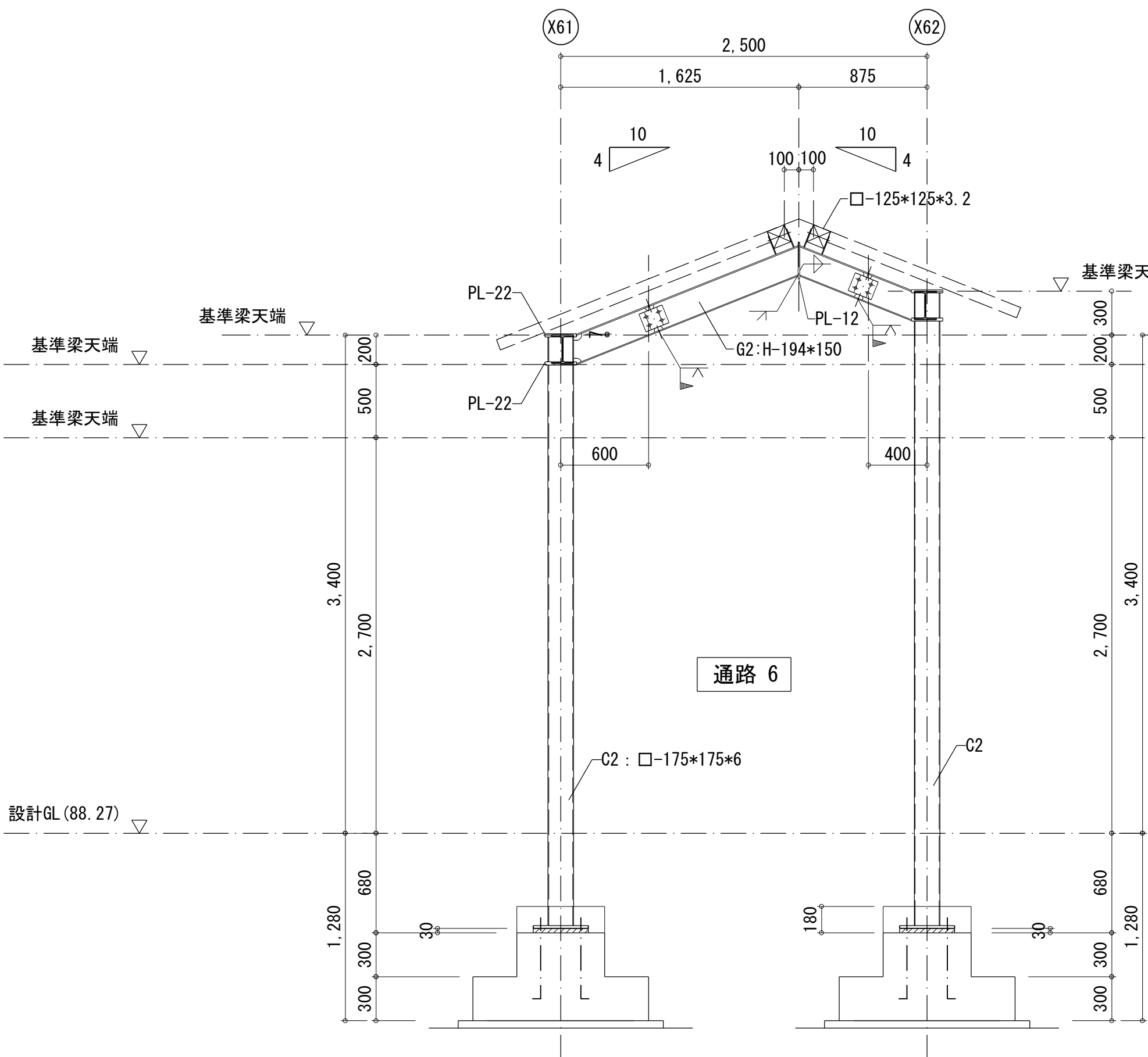
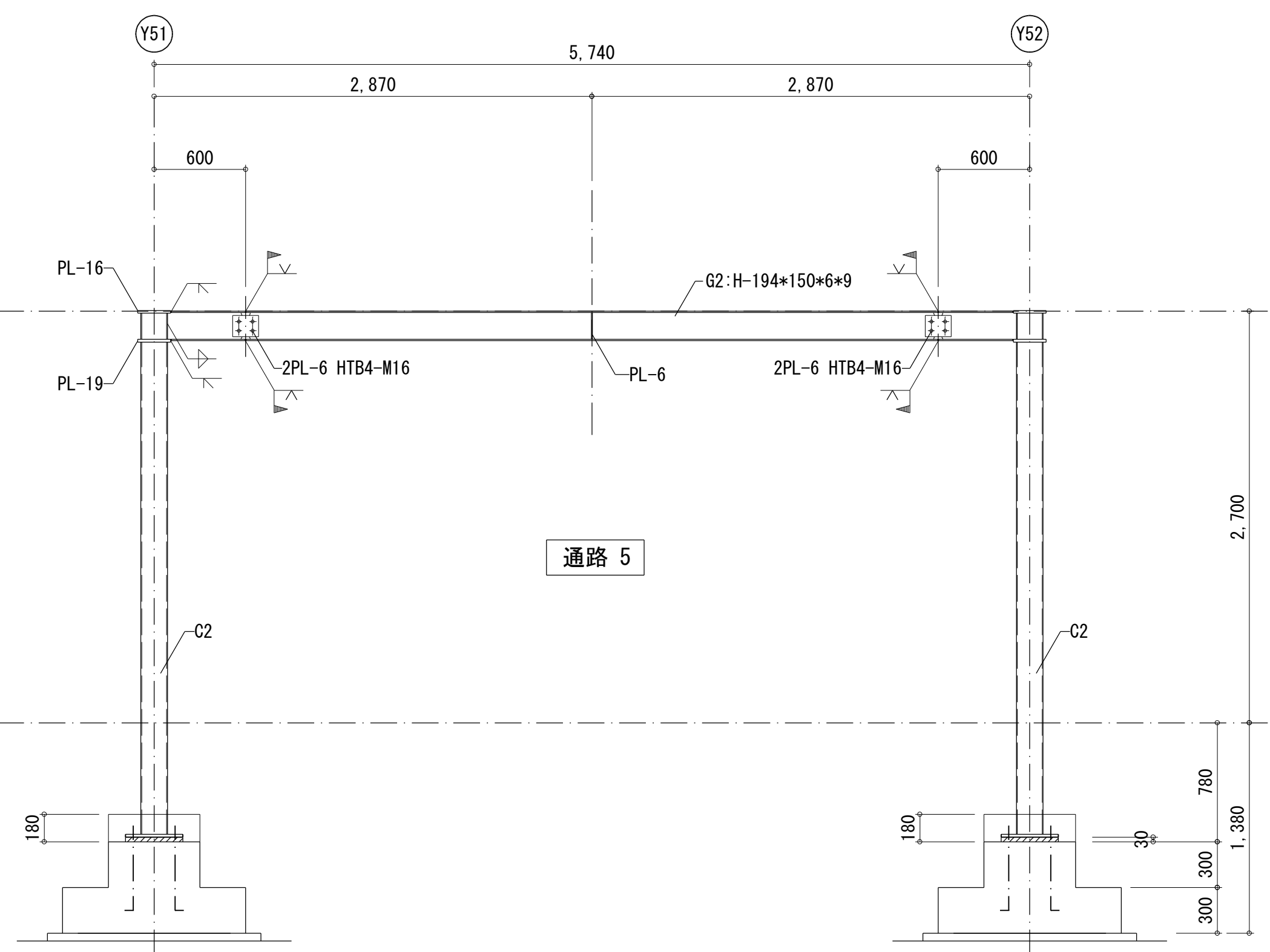
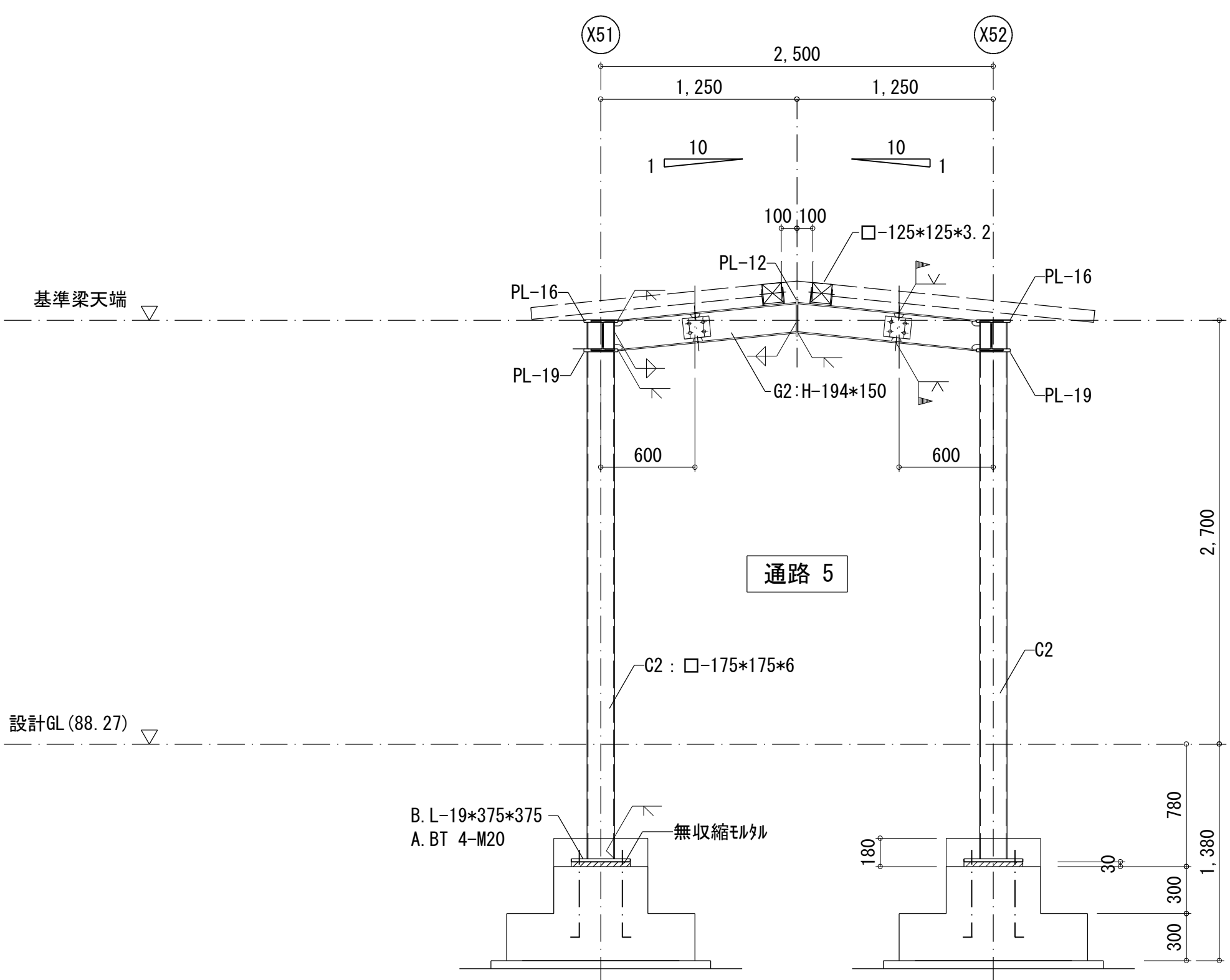



 株式会社 豊建築設計事務所 滋賀県長浜市神照町696-5 TEL 0749 62 3151 FAX 0749 64 1438	工事名称 田村駅東口シェルター新築工事 図面名称 鉄骨架構詳細図 (1) 通路1.2	SCALES A1: 1/30 A3: 1/60 APPR'D CHECK'D DRAWN 23 03:30 CHARGE SEAL DRAWING NO. C 13
	1級建築士登録 第75764 村田武夫	



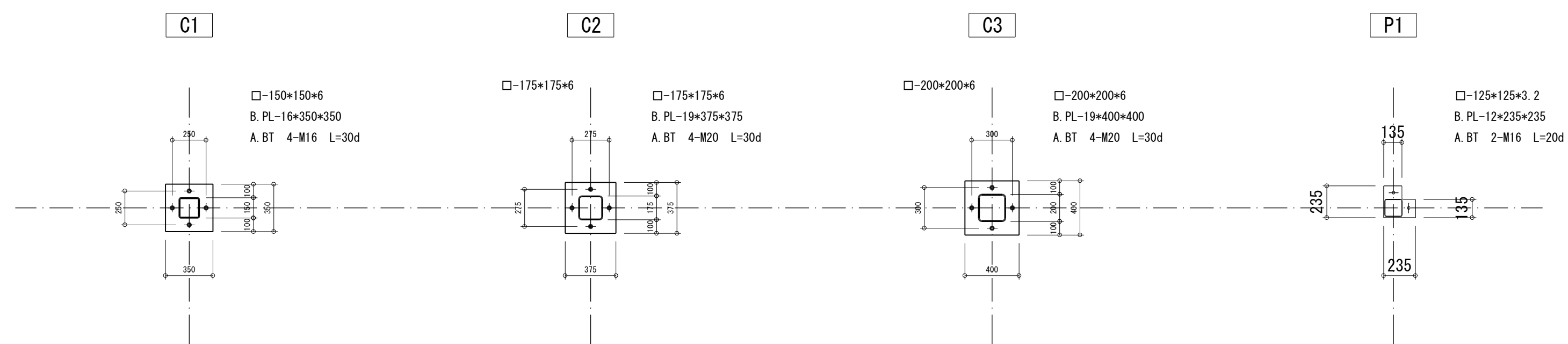
 株式会社 豊建築設計事務所		工事名称 田村駅東口シェルター新築工事 図面名称 鉄骨架構詳細図 (2) 通路3,4	SCALES A1: 1/30 A3: 1/60	APPR'D CHECK'D DRAWN 23 03:30 CHARGE	SEAL C	DRAWING NO 14
---	--	---	-----------------------------	---	-----------	------------------

滋賀県長浜市神照町696-5 TEL 0749 62 3151 FAX 0749 64 1438 1級建築士登録 第75764 村田武夫

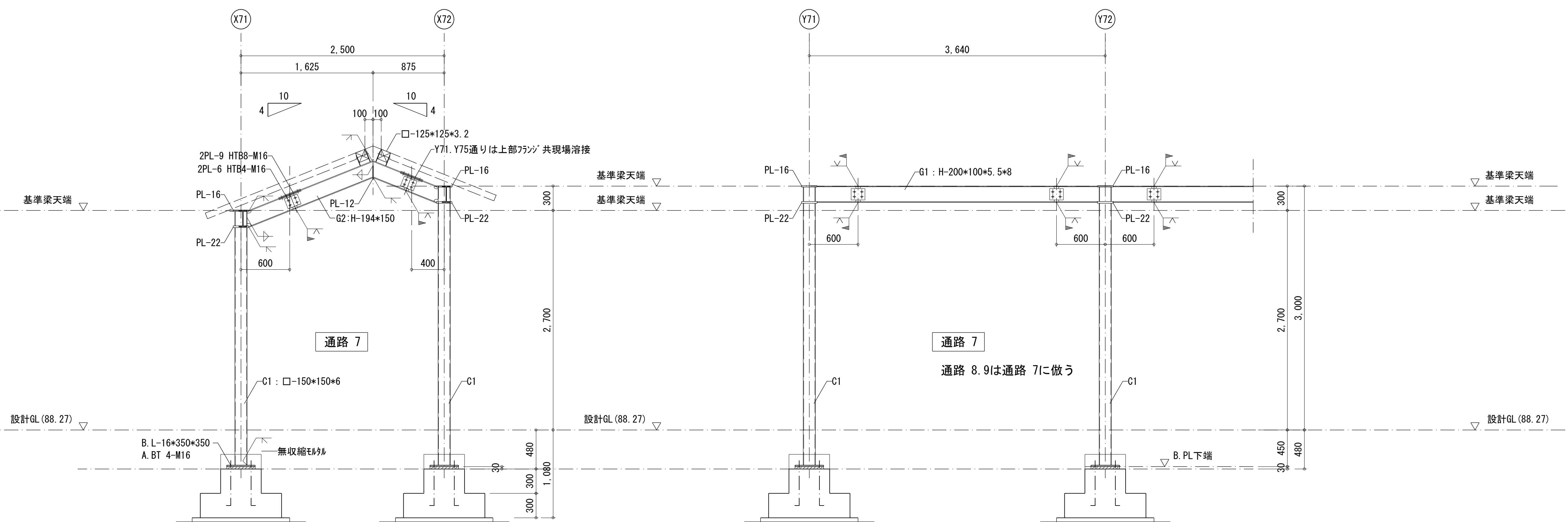


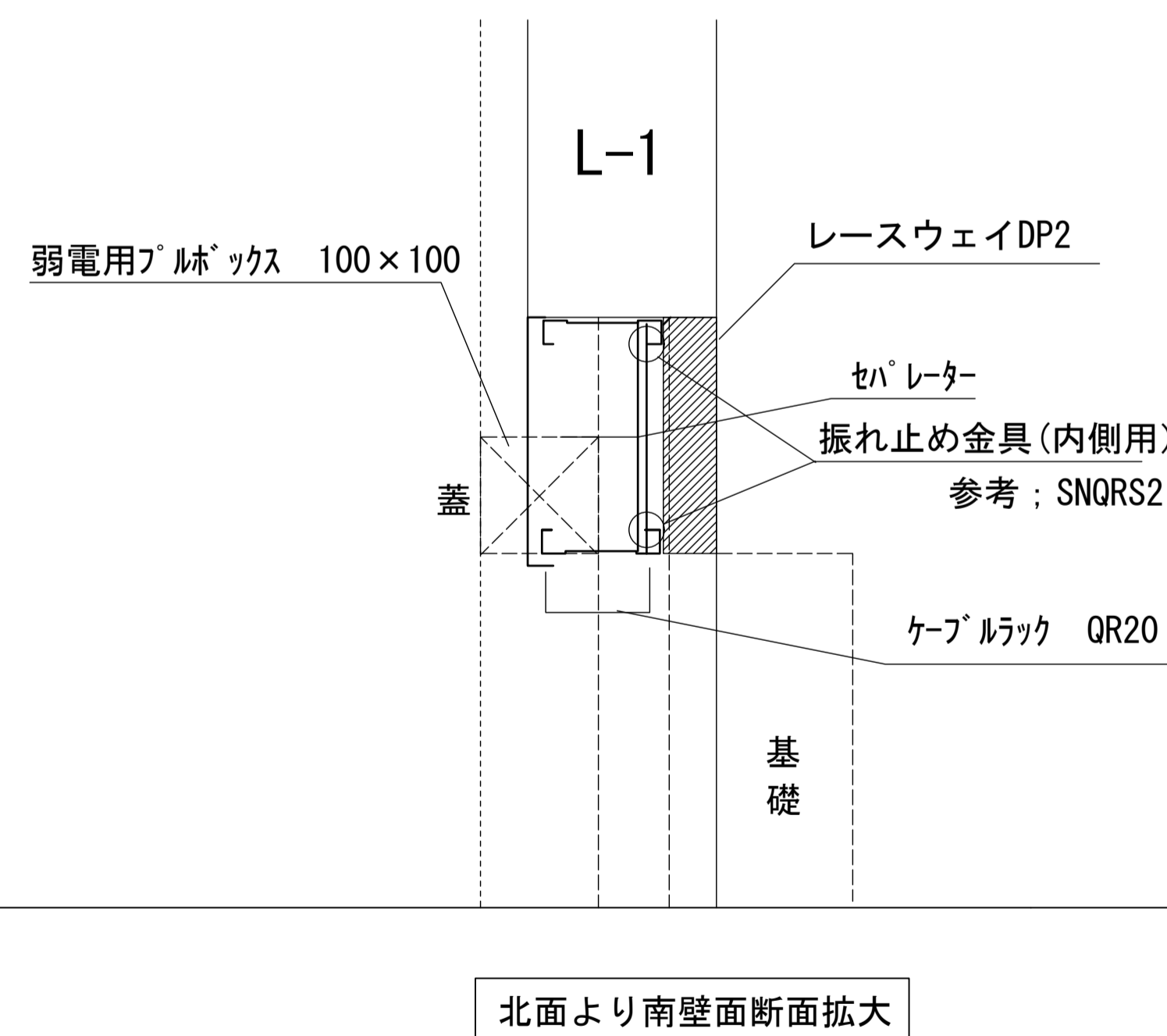
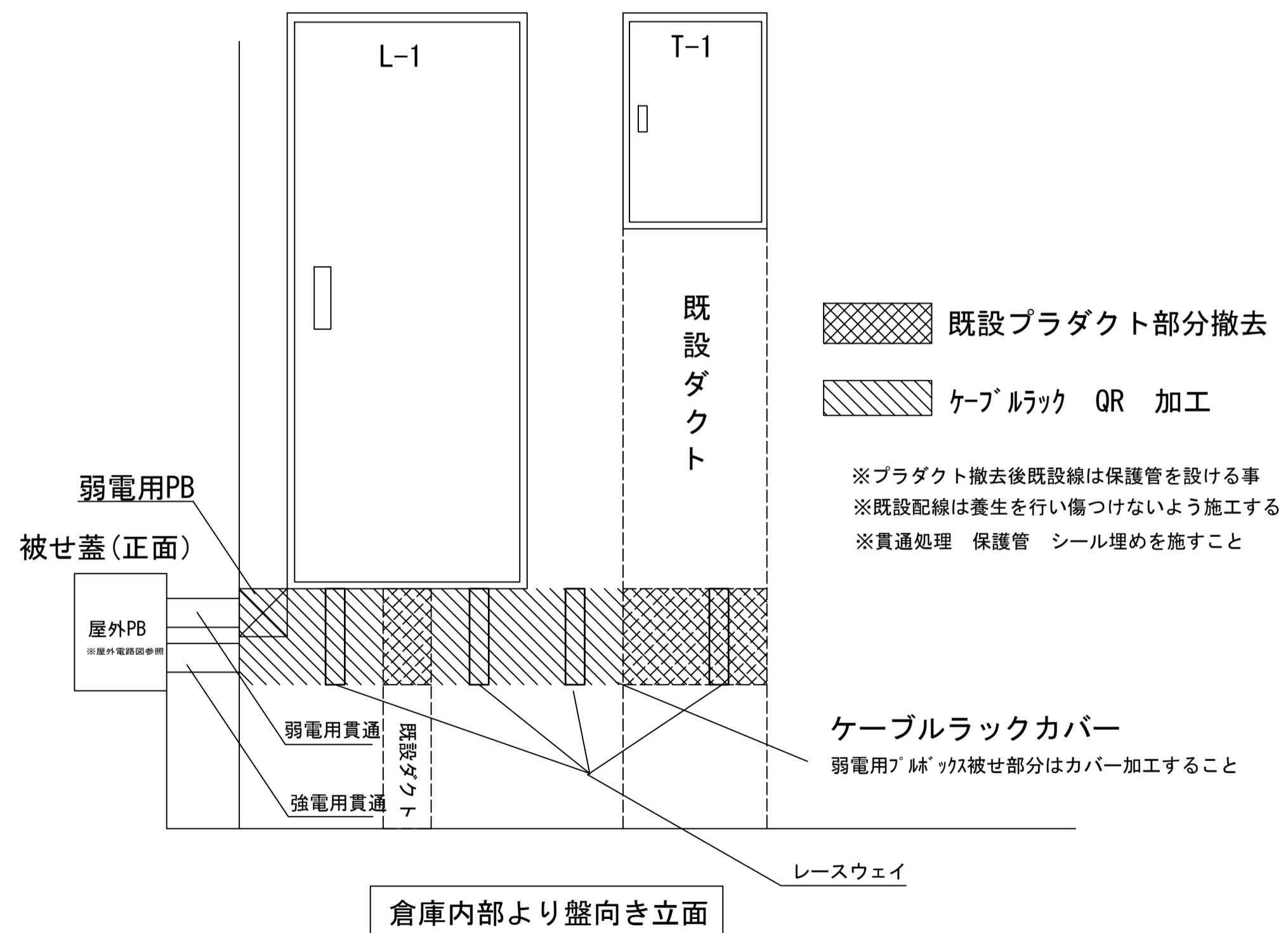
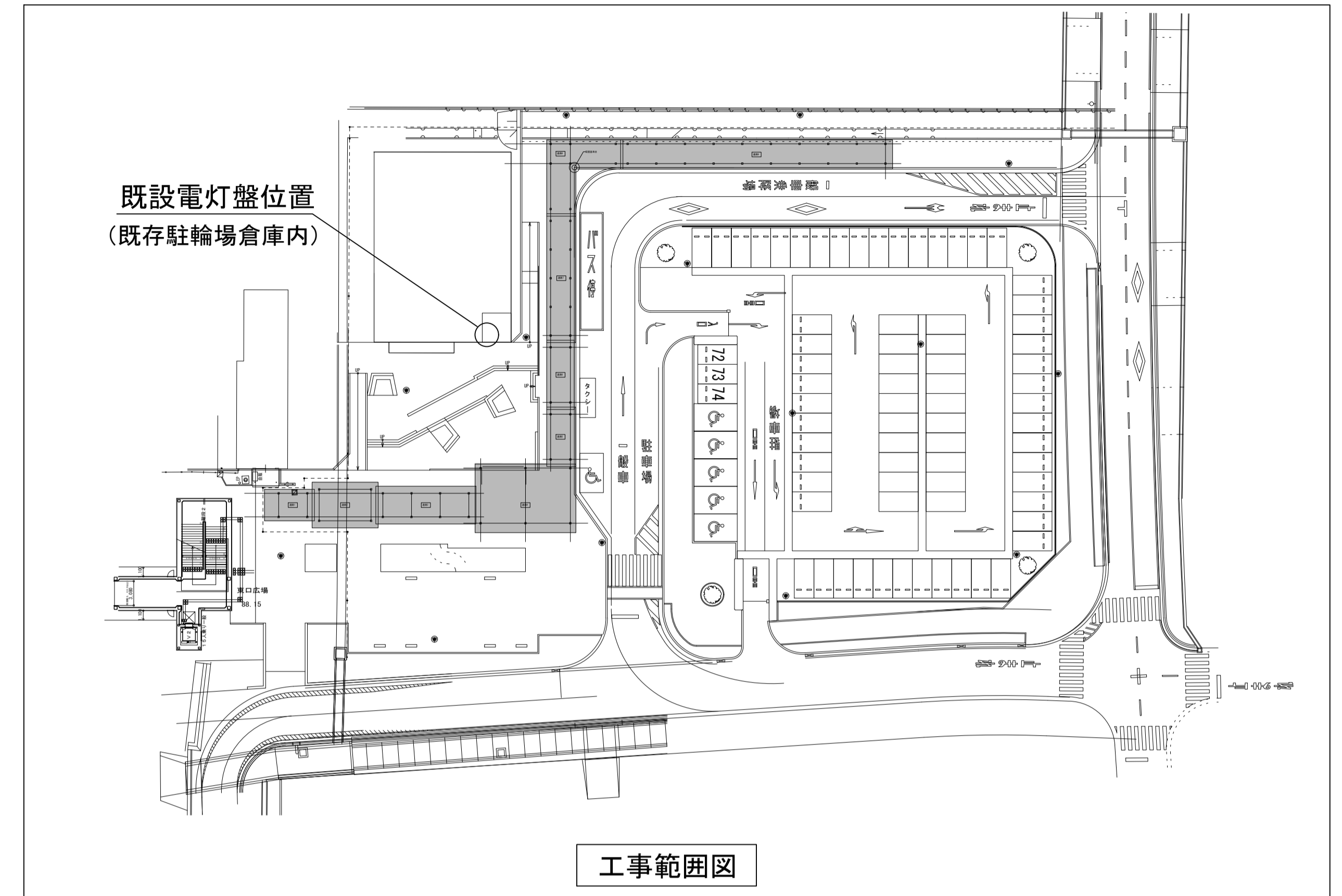
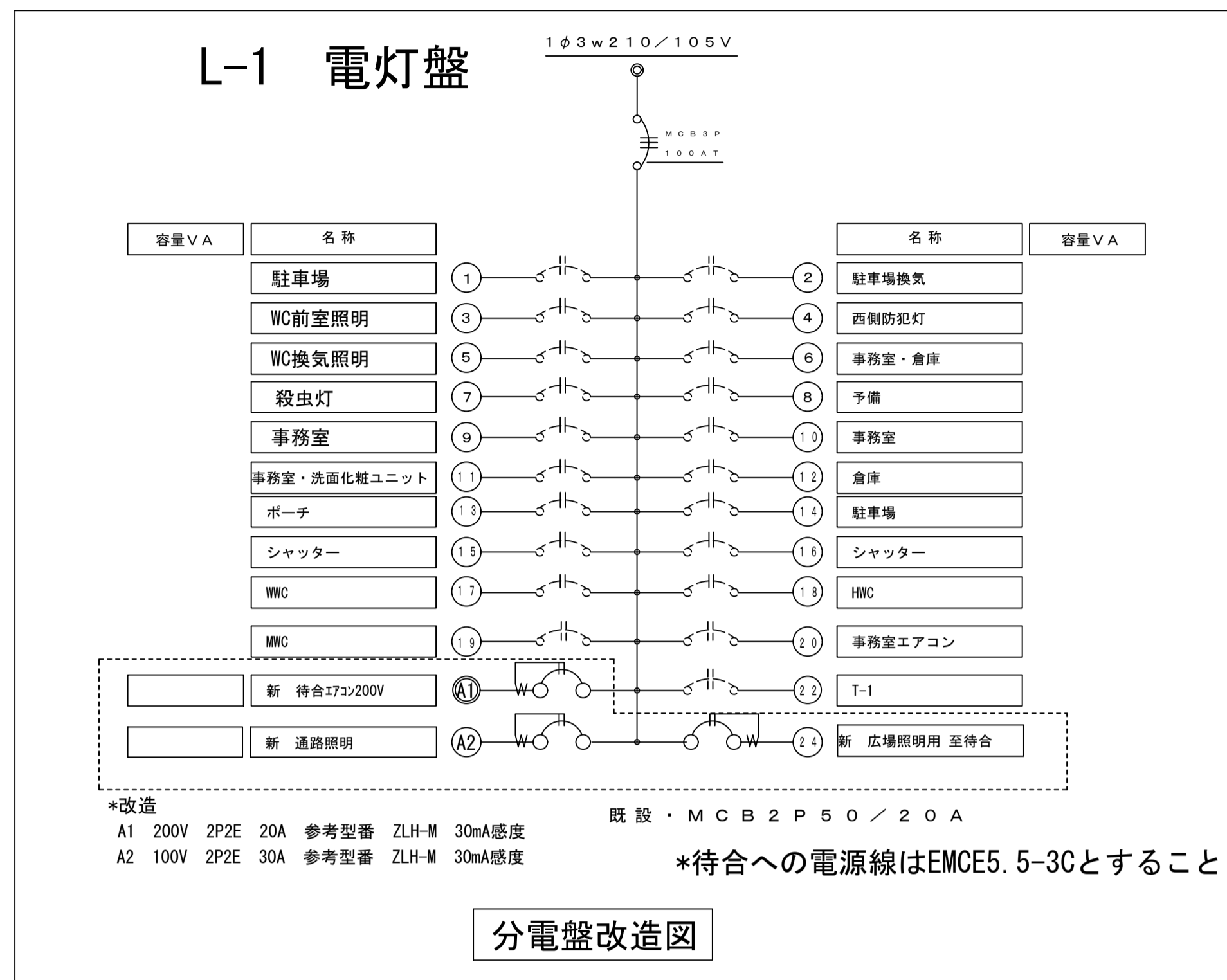

豊建築設計事務所
 株式会社
 滋賀県長浜市神照町696-5 TEL 0749 62 3151 FAX 0749 64 1438 1級建築士登録 第75764 村田武夫

SCALES	APPR'D	CHECK'D	DRAWN	CHARGE	SEAL	DRAWING NO
A1: 1/30 A3: 1/60	23 03:30	..	C	15

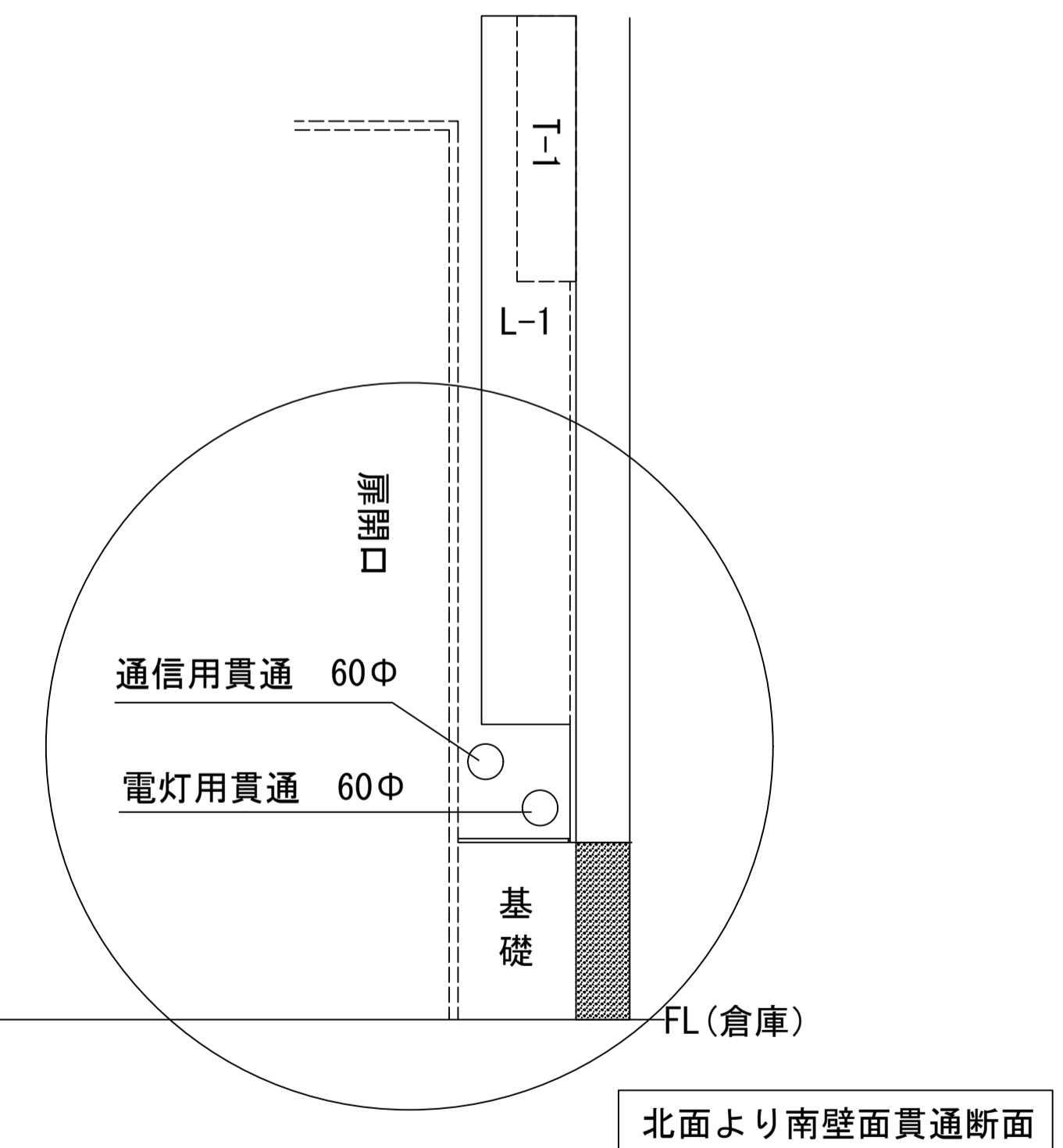


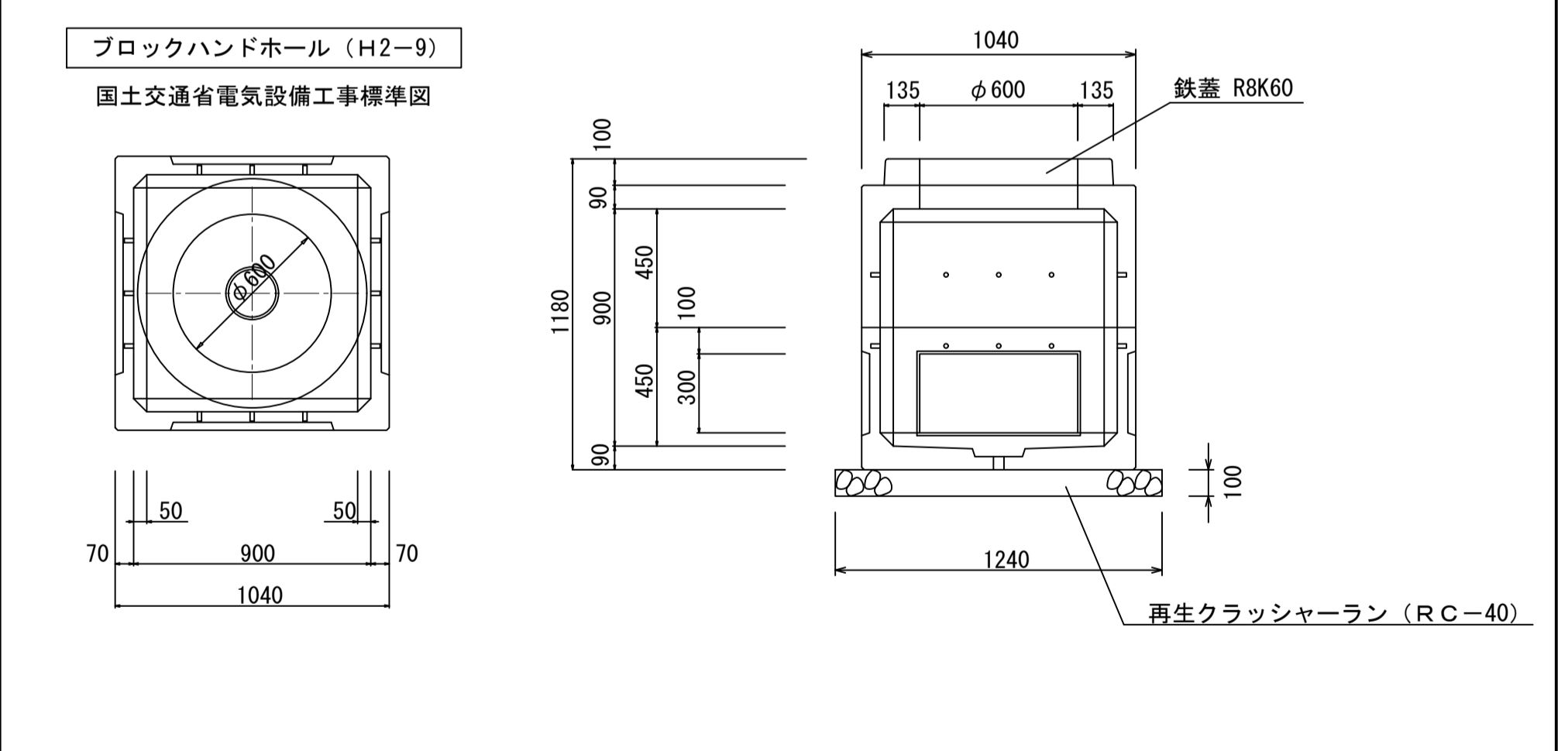
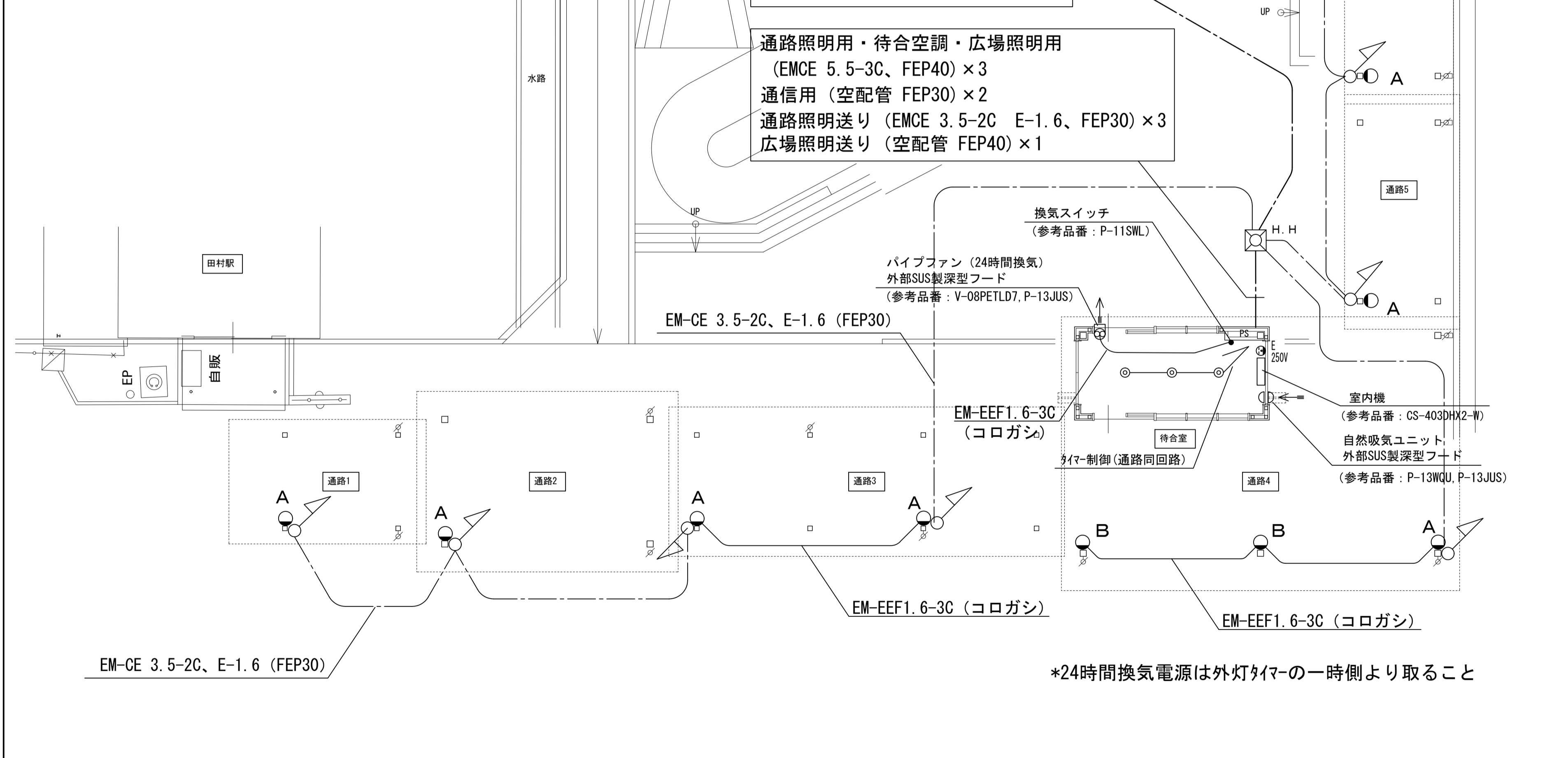
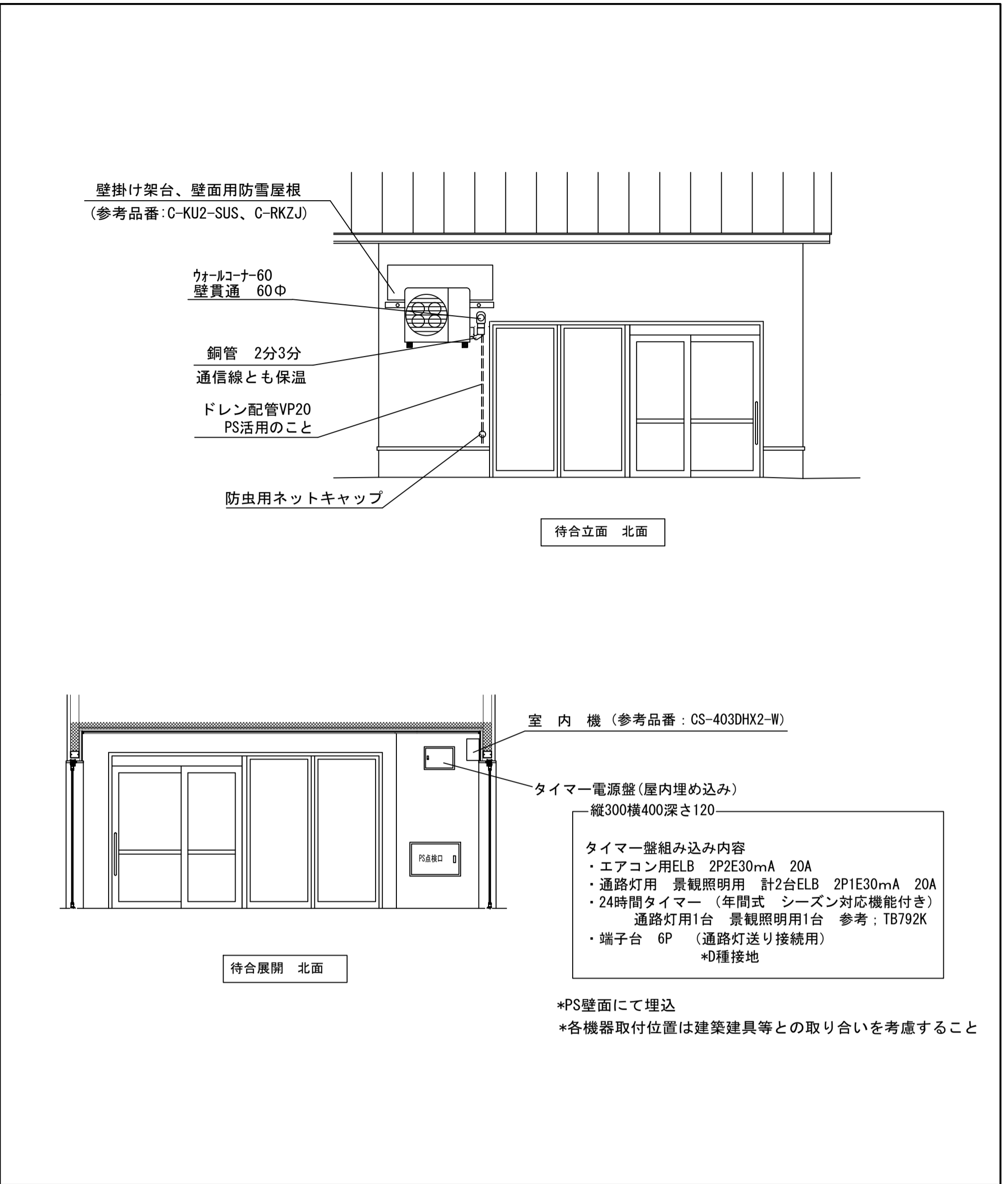
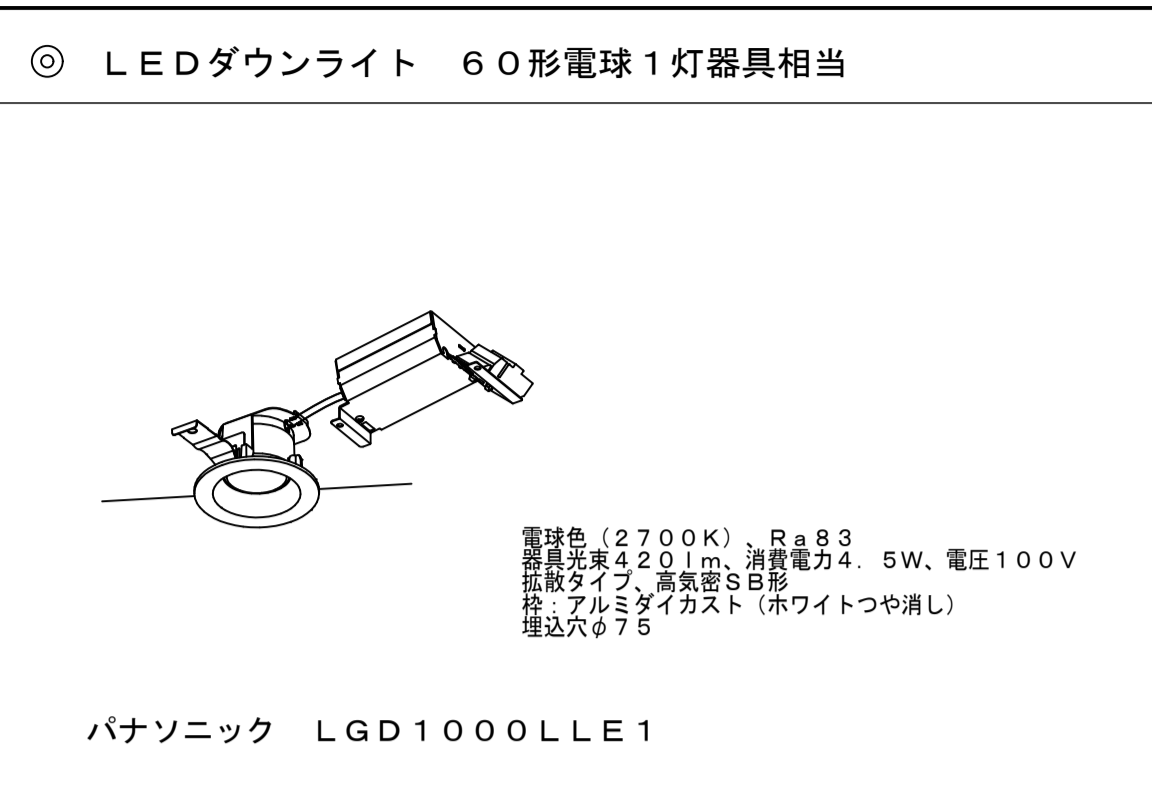
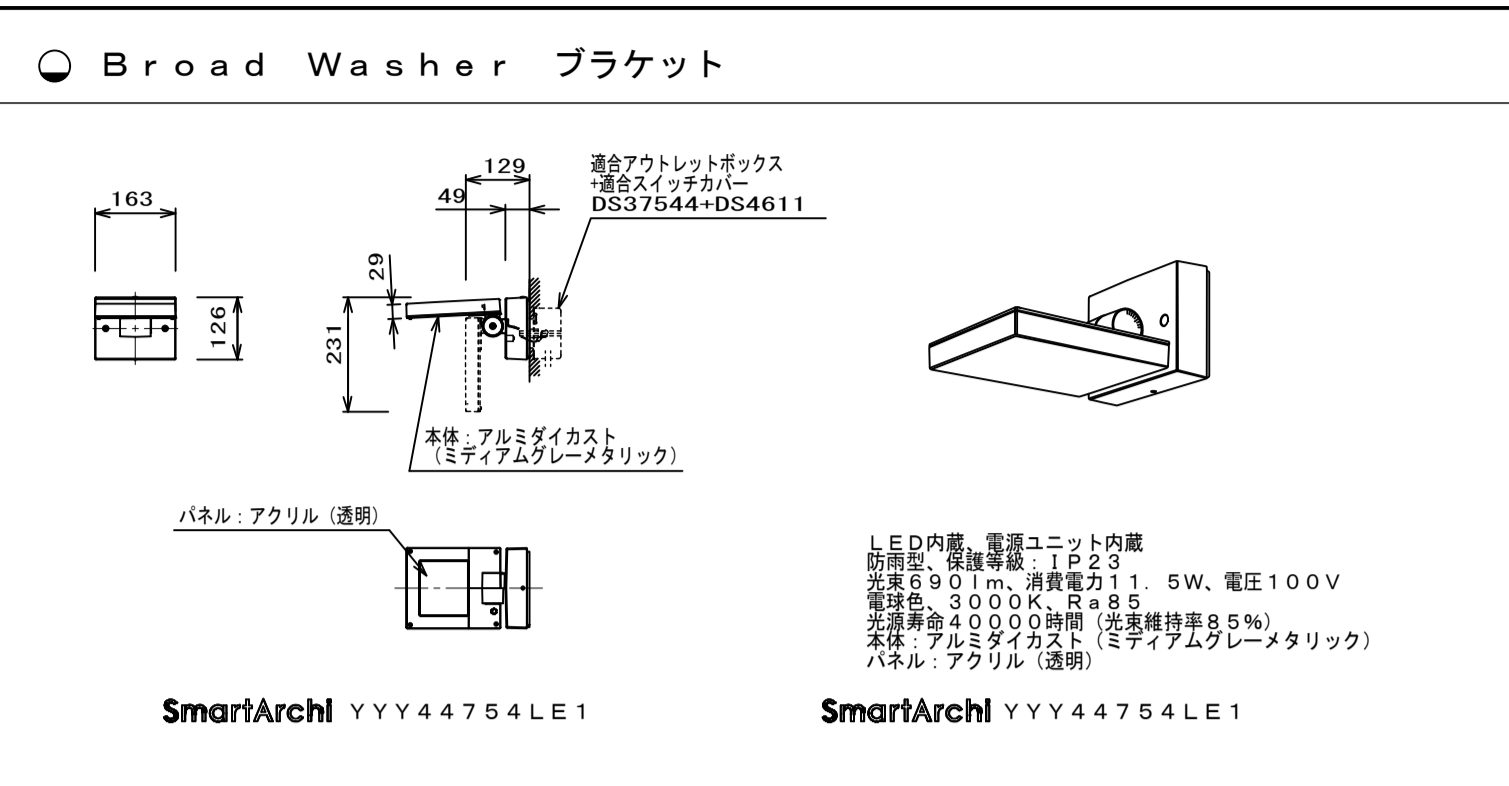
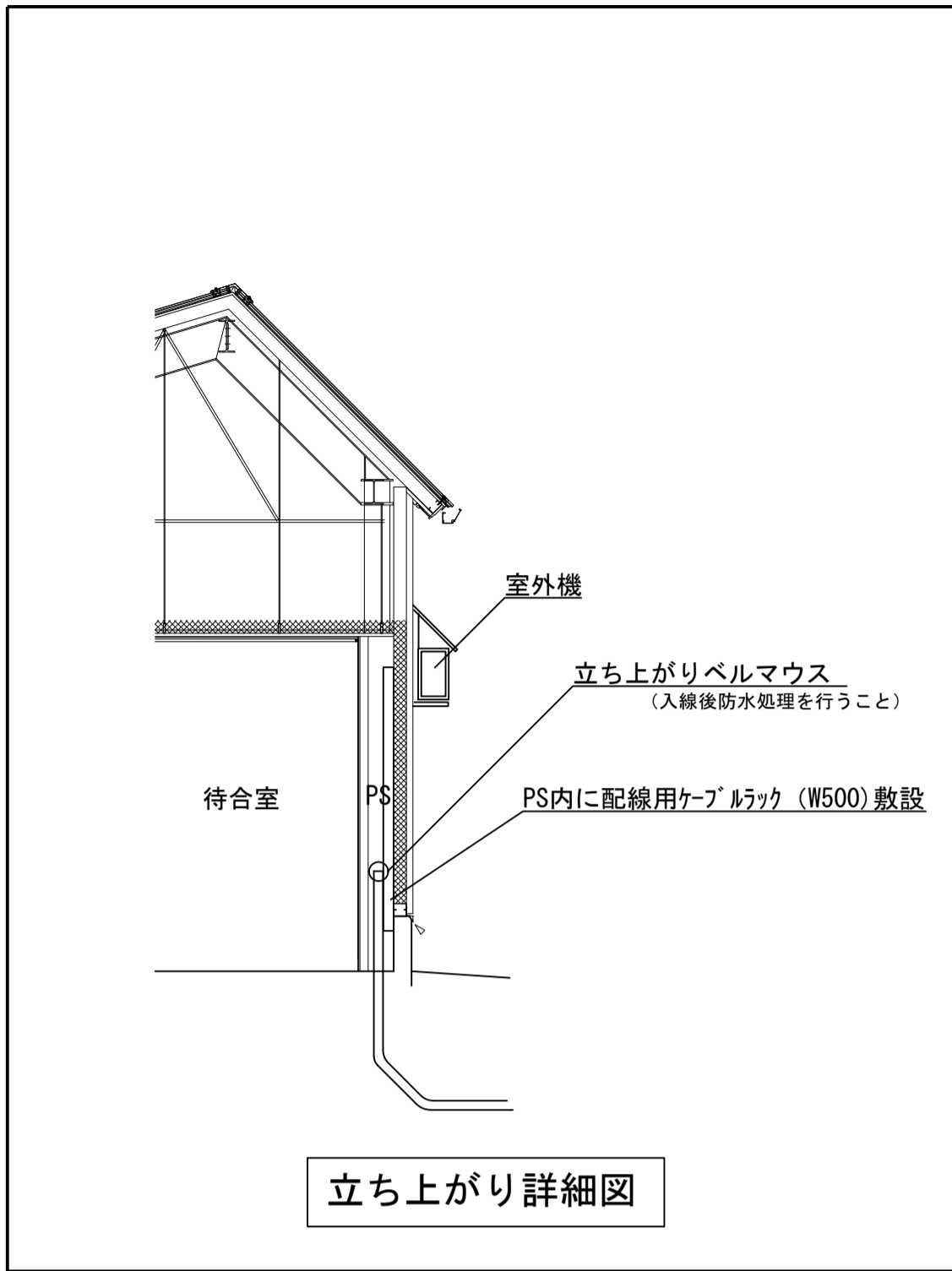
柱脚 詳細図 1/30





詳細拡大



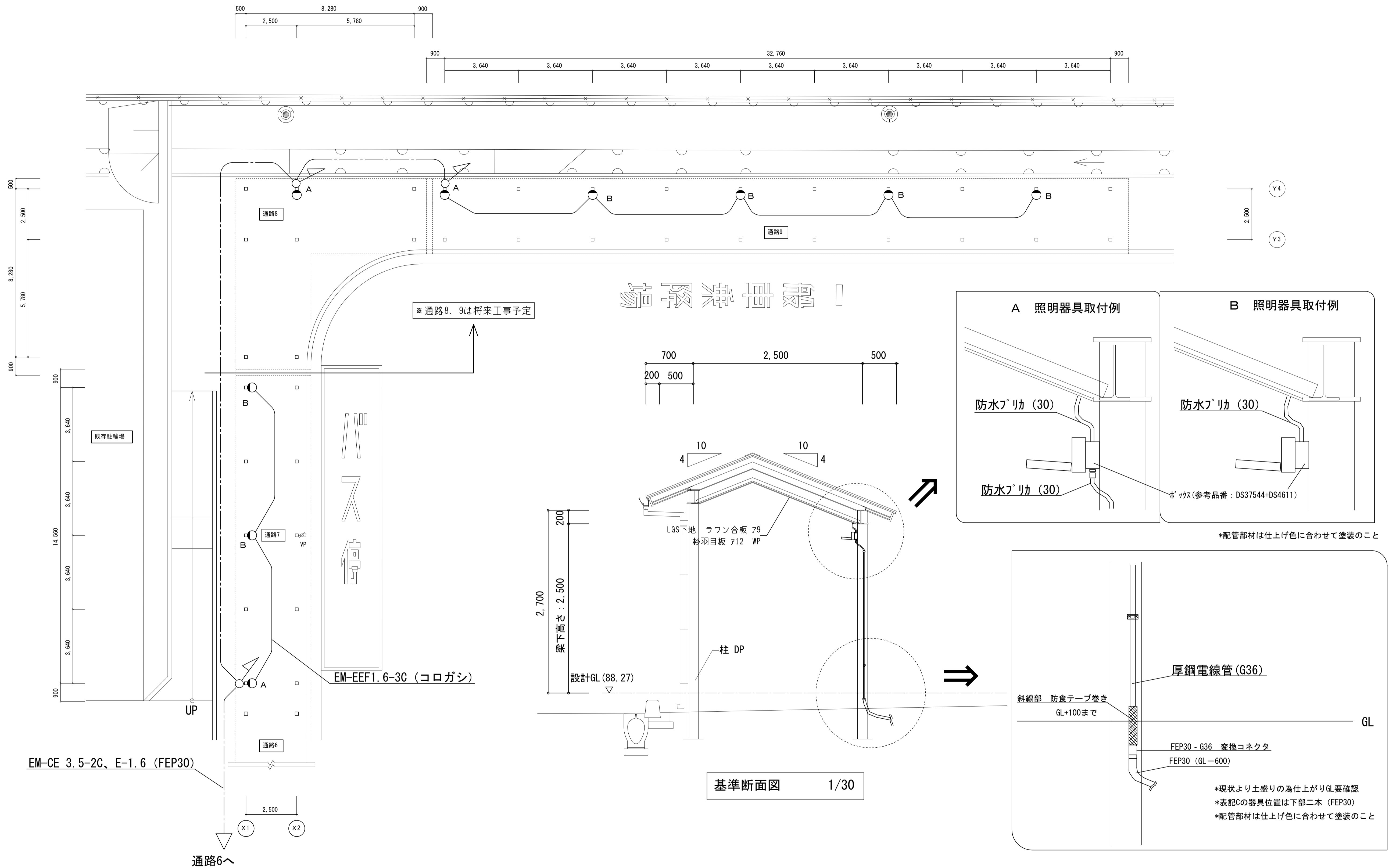


凡 例															特 記 事 項

株式会社 豊建築設計事務所
工事名称 田村駅東口シェルター新築工事
図面名称 電気設備 平面図 (1)

滋賀県長浜市神門町696-5 TEL 0749 62 3151 FAX 0749 64 1438 1級建築士登録 第75764 村田武夫

方位						
SCALE		APP'VD	CHECK'D	DRAWN	CHARGE	SEAL
A1: 1/100			00-00-00			E 3
A3: 1/200						



凡例														特記事項

・通路8、9は将来工事予定であり、今回は工事を行わない。											方位	

株式会社 豊建築設計事務所

工事名称: 田村駅東口シェルター新築工事
図面名称: 電気設備 平面図 (2)

遊覧県長浜市神明町696-5 TEL 0749 62 3151 FAX 0749 64 1438 1級建築士登録 第75764 村田武夫

SCALES	APPR'D	CHECK'D	DRAWN	CHARGE	SEAL	DRAWING NO
A1 : 1/100 A3 : 1/200			00-00-00			E 4 / 4